

文化庁委託事業

**危機的な状況にある言語・方言の実態に関する
調査研究事業（青森県）**

平成 25（2013）年 2 月

目次

はじめに 1

1. 本事業の概要 2

2. 青森県の基本情報 4

3. 青森県の震災被害と支援の状況 5

4. 青森県の方言 9

5. 被災地方言調査

5.1 八戸市・三沢市・六ヶ所村・おいらせ町 発音の特徴 11

5.2 六ヶ所村

六ヶ所村の基本概要 13

自然談話 六ヶ所・発音の特徴 15

六ヶ所・親族名称 24

六ヶ所・震災の日 25

5.3 三沢市

三沢市の基本概要 30

自然談話 三沢・農家の暮らし 32

三沢・挨拶 37

三沢・友人との会話 41

5.4 おいらせ町

おいらせ町の基本概要 50

自然談話 おいらせ・方言意識 54

おいらせ・震災の経験 62

おいらせ・震災のときのこと 88

5.5 八戸市

八戸市の基本概要 99

自然談話 八戸・挨拶 103

八戸・震災談話 107

八戸・震災後 125

6. 支援者調査

6.1 自衛隊 第九師団・お話し隊インタビュー 145

6.2 三沢基地 トモダチ作戦支援者アンケート 151

6.3 岩手沿岸部支援 精神保健福祉士インタビュー 153

6.4 心のケアチーム 活動報告聞き書きとインタビュー 155

6.5 被災地支援ボランティアアンケート 158

7. 文化としての方言・絆としての方言

7.1 方言意識

7.2 方言の活用

あとがき

はじめに

東日本大震災の被災者のみなさまに、心からお見舞い申し上げます。もうすぐ発災から2年ですが、私たちは忘れていません、いつも心に留めていることを何らかの形でお伝えしたいと考えています。

本事業は、2011年3月11日発生した東日本大震災の被災地の方言について、2011年度に東北大学方言研究センターが行った「東日本大震災において危機的な状況が危惧される方言の実態に関する予備調査 研究事業」を受け、2012年度に青森・岩手・宮城・福島・茨城各県で行われた「東日本大震災において危機的な状況が危惧される方言の実態に関する研究」の青森県に関する調査・研究を行いました。本事業の責任者は弘前学院大学文学部：今村かほる、副責任者は東奥義塾高等学校教諭：坂本幸博です。それに加えて、弘前学院大学の学生・卒業生との共同研究の成果です。

被災地の方言調査と意識調査は7月の文献調査に始まり、9月から12月に六ヶ所村・三沢市・おいらせ町・八戸市の4地点について、臨地調査を実施しました。

事業の趣旨にご賛同いただけた陸上自衛隊第九師団、岩手沿岸地域や宮城県で活動する社会福祉関係者を対象としたインタビュー、米軍三沢基地のみなさん・弘前市および弘前大学を中心とした野田村支援者のみなさん・弘前学院大学文学部と社会福祉学部の学生を対象としたアンケート調査も実施しました。みなさまのご助力があって、実現した調査研究です。

この研究を通じて、被災地の方言の記録・保存をすることとどまらず、方言を活用して、日常の生活の質を高め、また、いつ起こるかわからない次の災害に備えることに役立つことを目指しています。

弘前学院大学 文学部 准教授 今村かほる

本事業の概要

今村かほる

1. 事業の目的

東日本大震災における被災地域の方言の消滅の危機状況については、平成 23 年度文化庁委託事業報告書「東日本大震災において危機的な状況が危惧される方言の実態に関する予備調査研究」において、東北大学が調査し、報告をした。これを受けて、本事業においては、青森県の被災地域の方言の記録を開始するとともに、被災地域や避難地域で生じている方言を取り巻く現状について把握する。

2. 事業の実施体制

責任者 今村かほる（弘前学院大学文学部日本語・日本文学科准教授）
副責任者 坂本幸博（私立東奥義塾高等学校教諭）

3 調査地点

青森県太平洋沿岸の津波浸水地域
六ヶ所村（泊・尾鮫）
三沢市（塩釜）
おいらせ町（秋堂）
八戸市（市川）

4. 事業内容.

- (1) 被災地域における方言の状況に関する調査及びその分析
被災地域における方言話者たちの言語生活の実態を把握するとともに、日常生活における会話のあり方を調査する。
- (2) 被災地域における方言話者や地域住民、自治体職員等に対する意識調査及びその分析
被災地域の方言についての方言話者や地域住民、自治体職員等の意識を明らかにする。特に、被災地域における被災者と支援者との方言をめぐるコミュニケーションギャップの問題や、日本各地における避難者の方言生活上の問題を調査する。これらの調査を効率的に行うために、青森県のほか、岩手県・宮城県・福島県・茨城県を合わせた 5 県において共同で取り組む。
- (3) 調査研究結果に関する説明会等の実施
- (4) 消滅の危機に瀕していると考えられる方言の音声、映像を含めた資料の収集及び整理・分析
消えゆく恐れのある方言の記録の一環として、方言談話資料の収集を行う。被災当時の状況に関する会話を収録し、文字化する。この資料は、被災地への支援活動の一環としても役立つ。
- (5) その他、被災地域における消滅の危機に瀕していると考えられる方言の現状把握のために必要な調査、データの作成や保存継承に資するネットワークの構築
被災地域の方言の記録に本格的に取り組むために必要な基礎的作業として、被災地域の自治体における市史・町史・村史といった地域史文献を調査・入手し、方言編の

目録を整備するとともに、被災地方言についての調査資料の整理、及び調査データの作成を行う。また、方言の現状把握や保存継承に資するために東北大学が開発中の「方言震災ネット」への協力をする。

5. 事業実施

7月から	調査準備・文献調査（青森県立図書館所蔵資料）の開始
8月	自治体へ調査協力依頼
9月から12月	被災地調査実施 六ヶ所・三沢・おいらせ・八戸
11月	富山市市民プラザにて、研究報告会開催
12月から1月	被災地支援者調査実施
2月	報告書刊行
3月（予定）	仙台と東京で研究報告会開催

6. 協力機関

六ヶ所村
三沢市
おいらせ町
八戸市
陸上自衛隊第九師団

7. 研究体制

今村かほる：文献調査・臨地調査・自治体調査・支援者調査担当
坂本幸博：臨地調査担当

調査補助：弘前学院大学文学部学生 大槻奈穂美・成田未来

方言談話文字化：今村かほる

弘前学院大学文学部学生

伊藤あい・大槻奈穂美 北谷靖恵・成田未来

一戸直子・一戸美祐・植田昌也・工藤航・齋藤考貴

佐々木翠・佐藤匠・対馬康太・成田悠人

卒業生 菊池祥光

方言談話のチェックおよび共通語訳の付与：坂本幸博・今村かほる

学生 安田知紗

卒業生 菊池祥光

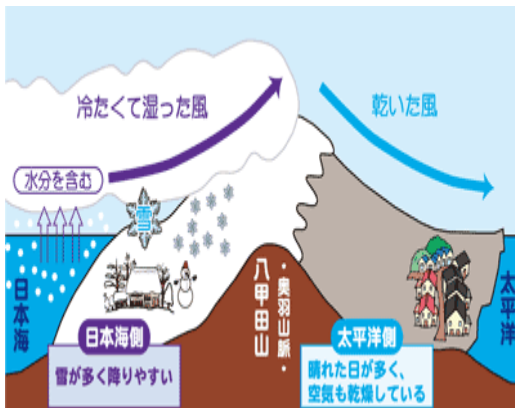
青森県の基本情報

青森県の基本情報について、主として青森県教育会と青森県HPの「私たちの青森県」を参考にまとめていく。

青森県の位置については、「北緯 40 度 12 分から 41 度 33 分、東経 139 度 30 分から 141 度 41 分の間の本州最北にあり、ニューヨーク、北京、ローマ、マドリードとほぼ同緯度」である。

青森県の気候

青森県は、三方を海に囲まれ、県の中央部に位置する奥羽山脈が県内を二分しているなど、海域や地形が複雑なことから、同じ県内でも、地域によって気候が大きく異なる。



中でも、冬季における津軽地方の大雪と、夏季における太平洋側を中心とした偏東風（ヤマセ）が代表的な違いとなっています。

冬は、冷たく湿った空気が奥羽山脈にぶつかり津軽地方に雪を降らせる一方、太平洋側は、奥羽山脈が障壁となって乾燥した晴天の日が多いのが特徴である。夏は、冷たく湿った偏東風（ヤマセ）のため、太平洋側で低温・多湿の日が多くなる。

（青森県HPによる）

県庁所在地である青森市は、平均気温 10.6℃最高 35.6℃、最低 -9.6℃で、青森市の年間降水量は 1,570.5mm、年間降雪量は 639cm、最深積雪は 130cm である。

（平成 23 年の値 出典：気象庁HP）

青森県の地域区分



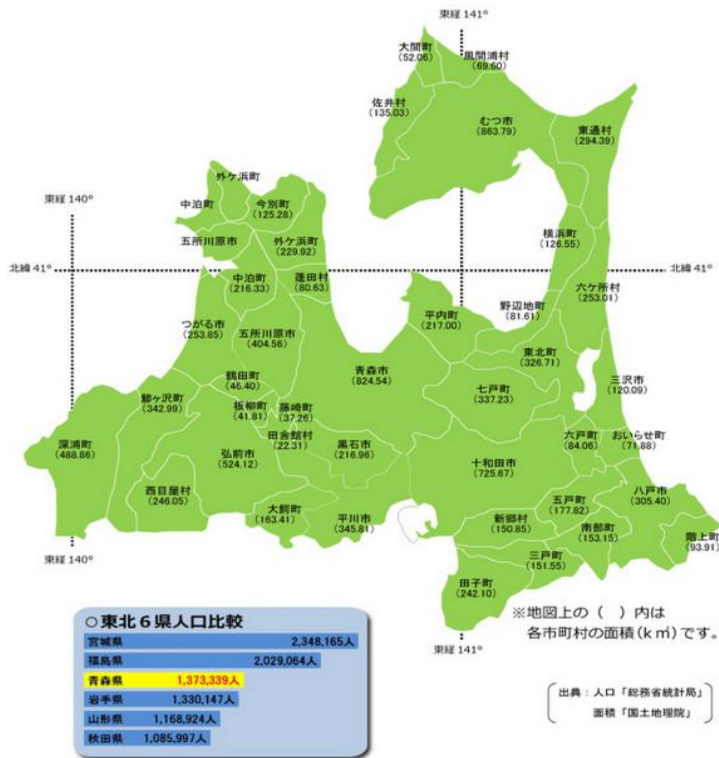
青森県は、大きく津軽地方と南部地方に分かれる。その区分は、江戸時代までの藩政による政治経済的区分であるとともに、八甲田連山による自然地理的区分もあり、長く保たれて今日に至る。現在でも、「津軽衆」と「南部衆」と称される県民気質の違いは、人々の意識の中に色濃く残っている。それはまた、方言の違いとも相まって、お互いにわからないことが当たり前であり、違っていることが当然という理解につながっている。

青森県HPの「南部と津軽」によれば、以下のように記述されている。以下、引用する。

南部と津軽の地域性の違いは、気候や地形の違いなどがありますが、この 2 つの地域が江戸時代の約 260 年間、違う藩の領地だったことも原因の一つです。南部氏と津軽氏の関係は、戦国時代末に津軽為信が独立して以来、幕末の野辺地戦争まで良好ではありませんでした。こうした藩主同士のいきさつに加え、地域性の異なる 2 つの地域が、明治維新後の廃藩置県で青森県として 1 つにまとめられたことに、両者の対立感情が根ざしているようです。

青森県の人口と面積（更新日：2012年7月1日）

青森県には、10の市と22の町、8の村の計40市町村がある。青森県の人口は、平成22年10月1日現在で、1,373,339人（国勢調査確定値）、全国第31位。また、青森県の面積は、平成23年10月1日現在で9,644.55km²で、全国第8位。



順位 市町村 人口（単位：人）

- 1 青森市 299,520
 - 2 八戸市 237,615
 - 3 弘前市 183,473
- 市町村人口ランキング
（平成22年10月1日現在）

青森県の産業

農業 主に津軽地方では米やりんごづくり、県南地方では野菜づくりや畜産業が盛ん。

特に、りんご、にんにく、ごぼうは日本一の生産量。

水産業 三方を海に囲まれ、日本海を対馬暖流が北上し、太平洋では対馬暖流から分かれて津軽海峡を通過してきた津軽暖流と、親潮（寒流）、黒潮（暖流）がぶつかり合っているため、暖流、寒流の潮で異なる様々な種類の魚が獲れる。また、周囲を陸で囲まれ、大きな時化が少ない陸奥湾では、ホタテガイの養殖が盛んに行われている。

（青森県HPによる）

参考URL

青森県 (<http://www.pref.aomori.lg.jp/k-kensei/index.html>)

気象庁 <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

（まとめ 今村かほる）

青森県の震災被害と支援の状況

0. 青森県の震災被害

青森県の震災被害は、他の被災地に対し被害状況は「軽微」と表現されることが多く、「自宅は残ったから」とか「避難所に行くほどではなかったから」とか、「何人も死んだ人なかったから」といように、被災者にもそうした意識がある。

青森県「平成23年東北地方太平洋沖地震の被害について」第57報（平成24年3月9日現在）によれば、以下のようにまとめられている。

被害総額は、134,362,819千円（判明分）である。詳しい被害状況について見てみる。

1. 被害の状況

- (1) 人的被害 死者 3名（八戸市1、三沢市2）
行方不明者 1名（八戸市1）
重症 18名（弘前市3、八戸市14、おいらせ町1）
軽症 77名（弘前市12、八戸市51、三沢市1、藤崎町4、おいらせ町2、三戸町1、五戸町5、南部町1）
- (2) 建物被害
住家被害
全壊 306棟（八戸市254、三沢市17、おいらせ町23、階上町12）
半壊 701棟（八戸市624、三沢市22、おいらせ町46、階上町9）
一部破損 835棟（八戸市711、三沢市40、七戸町3、おいらせ町73、田子町2、階上町6）

2. 避難の状況

- (1) 避難指示・勧告の状況
県内22市町村（沿岸全市町村）で発表 平成23年3月13日18時02分までに全て解除
- (2) 避難所への避難の状況
平成23年4月30日14時00分までに公共施設の避難所閉鎖

3. 災害対策本部などの設置状況

青森県 平成23年12月21日13時30分廃止
市町村 32市町村で設置 平成24年1月17日10時10分までに全て廃止



日本気象協会による津波高は、以下のように報告されている。

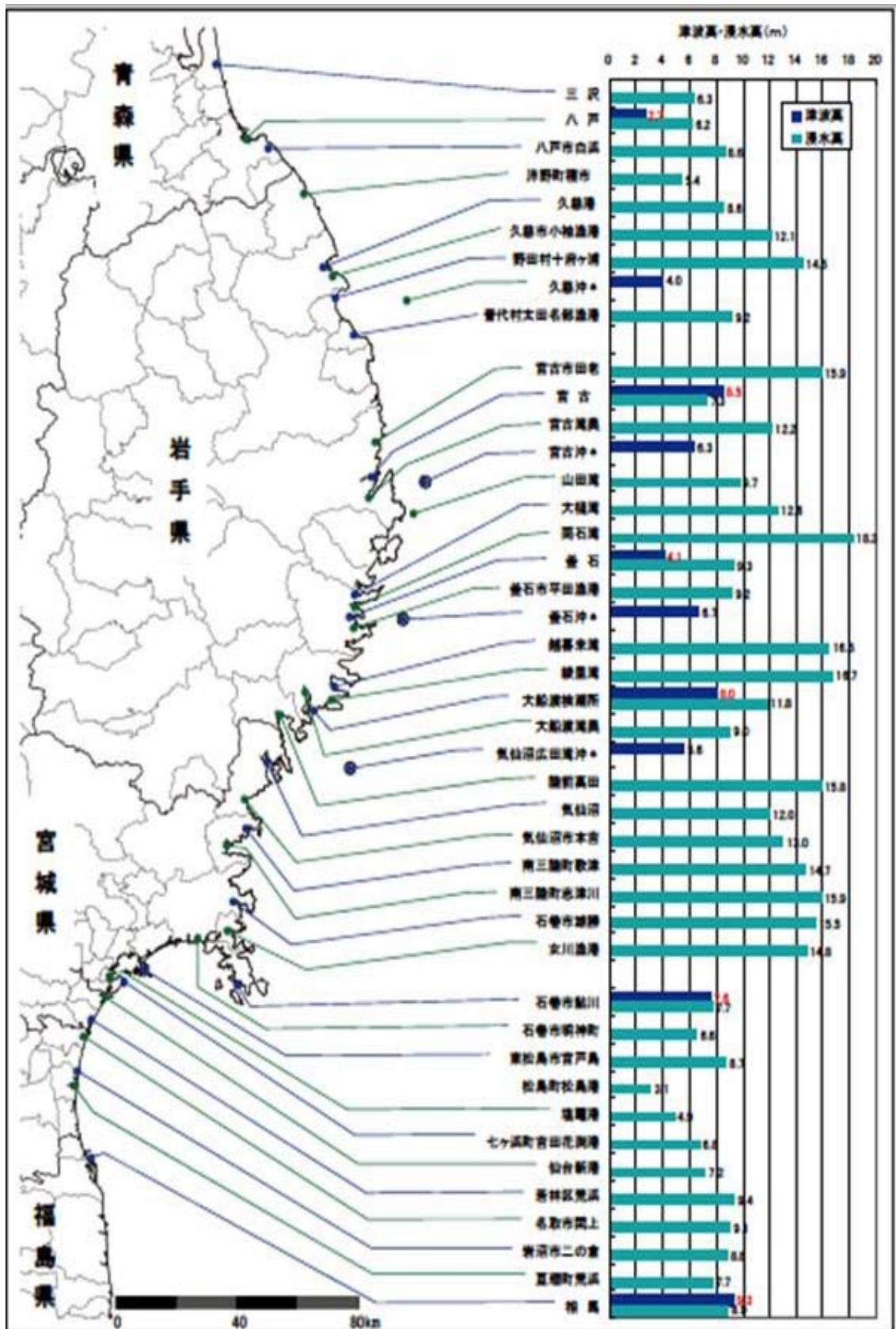


図 1.1 青森県三沢市～福島県相馬市各地の津波高・浸水深

赤字の数値はそれ以上の観測記録の途絶によりそれ以上の値の可能性を示す。

津波による浸水被害については、平成 23 年 4 月 18 日発表の国土地理院「津波による浸水範囲の面積（概略値）について（第5報）」によれば、以下のとおりであり、

	市町村	浸水面積(km)	市町村面積
青森県		24	844
	八戸市	9	305
	三沢市	6	120
	六ヶ所村	5	253
	おいらせ町	3	72
	階上町	0.5	94
岩手県		58	4946
宮城県		327	2003
福島県		112	2456
茨城県		23	1444

このような状況から、被災地である一方で、青森県は支援も同時におこなっている。青森県防災消防課の「青森県から被災県（岩手県、宮城県及び福島県）への支援の状況について」（更新日：2011年11月7日）によれば、「東北地方太平洋沖地震・本県から被災県（岩手県、宮城県及び福島県）への支援の状況」は、以下のように報告されている。

【県分】＜延べ人数＞704人、

＜支援量（人・日）＞4,651人・日

【市町村分】＜延べ人数＞1,109人、

＜支援量（人・日）＞5,613人・日



津軽・田舎館村の復興支援
田んぼアート 順風復興



被災地八戸から気仙沼の子供たちの遊び場に提供された鉄でできたツリーハウス

（まとめ：今村かほる）

参考URL

青森県 <http://www.pref.aomori.lg.jp/>

日本気象協会 http://www.jwa.or.jp/static/topics/20110407/touhokujishin2_110407.pdf

国土地理院 <http://www.gsi.go.jp/common/000059939.pdf>

青森県の方言

青森県は、既に地域区分でも述べたように、大きく津軽地方と南部地方に分かれている。その区分は、江戸時代までの藩政による政治経済的区分であるとともに、八甲田山という自然地理的にも大きな隔てによる区分もあるため、現在まで長く保たれている。明治に青森県として統合されてからも、「津軽衆」と「南部衆」と称される県民気質の違いは、県民の意識の中に色濃く残っている。

此島（1968）によれば、「南部」について、以下のように説明されている。

南部という名はもちろん岩手県盛岡に本拠のあった南部藩から来ており、本来はこの地域は糠部と称せられていた。南部氏はもともとは甲斐の国（今の山梨県）の南部という所に居住した家で、中世になって幕府の命により陸奥の糠部の地を支配するようになった。そしてはじめは三戸（今の青森県三戸郡三戸町）に居城を構えたが（室町時代には津軽をもその支配下においたことがある）、秀吉のときに盛岡に進出し、今の岩手県中北部から秋田県鹿角郡を含め青森県東半に至る地域を領地として、十萬石を認められた。南部氏の本拠が三戸から盛岡へ南下したのは注意すべき事実で、前述、北奥の文化が必ずしも単純に南から北へ一方的に進出していったとばかりは言いきれないことと関連しよう。正史には書いてなくても、南部氏の祖が鎌倉を発し太平洋に沿って海路北上して八戸から上陸したという伝承は、決して根も葉もないこととは言えない。八戸から馬淵川の流域をさかのぼって三戸に居城を築き、そこに長く住んだが、後に南下して今の岩手県の福岡に移り、さらに北上川流域の盛岡へ進出したのである。

南部弁の特徴として 同じく此島（1986）では、以下のように記述されている。

例えば「雨・雲・猫」などの一群の語のアクセントが、東京では〇〇（第一音「ア・く・ね」が高い）の型であるのに対して、北奥では概して〇〇（第二音「め・も・こ」が高い）の型になるのであるが、岩手県海岸から八戸まではほとんど東京と同じで、それから北上すると東京型・北奥型が交ざって来るのである。その交ざり方が、従来の私どもの調査では部落によってかなり違っており、下北の小田野沢のように八戸とほとんど同じところがあるかと思うと、上北の百石のように全く北奥的なところもある。百石^(註)は八戸のすぐ北、バスで三十分ぐらいのところでありながら奥入瀬川を越したとたん全く違ってしまっているのであって、南部弁の内部の複雑さをよく示す例をいえよう。言語構成要素の最も基底的なものであるアクセントにおいて、南部弁にはこういう特色があるのであるから、前にも述べたようなこの地方の開拓・殖民の歴史にこれが関係するものであろうし、なおまたとくに太平洋沿岸地帯における海路による人の動きに注意を要するものがあると思われる。

また、此島（1996）には、以下のように述べられている。

東北方言の発音の特色を、東京あたりではひとくちに「ズーズー弁」とよく言う。そうして、そういう常識では青森県の方言もそのズーズー弁の中に入るわけであるが、ズーズー弁というのは、もともとは、「十五夜」をズーゴヤ、「饅頭」をマンズー、「巡査」をザンサと発音するような癖から来たものと言われる。とすれば、これは同じ東北でも南奥（山形・宮城・福島等）によく当てはまるもので、北奥にはこういう癖はあまりない。南奥では、右のように「じゅ」がズになるだけでなく、「じ」もズで、すなわち「じゅ・ず・じ」三音がズー音に統一され、これと並んで「しゅ・す・し」三音もスに、「ちゅ・つ・ち」三音もツに合一してしまう。すなわち、共通語の九音が三

音に統合されてしまうわけであるが、北奥、少なくとも青森県ではジュ・シュ・チュは存在しており、ただ「し・す」「ち・つ」「じ・ず」はそれぞれス・ツ・ズに合体して、たとえば「獅子」も「煤(すす)」もスス、「乳」も「筒」もツツ、「雉子」も「傷」もキズというように区別がつかない。「ス・ツ・ズ」のばあいも子音[s][z]の関係で[m]が中舌的になるが、それよりもいっそう甚だしく、むしろ[i]と表音すべきものであろう。(従って、カタカナではシ・チ・ジと書いたほうがよいかも知れないが、共通語の音感ではス・ツ・ズに近いので、以下こう書く。)

このように方言で発音に区別のないばあい、共通語使用の際に混乱が起こりがちである。もっとも、現在は共通語教育が進み、青少年ほどこういう混乱は少なくなって来ているが、それでも決して皆無とは言えない。かつて平仮名の「し」と「す」の区別を、音で区別ができないので「長いスと結んだス」と言って区別したという話を聞いたことがあるが、たとえば今でも女性名に「ちや」だの「さつ」だのが少なくないのは、「つや」「さち」とあるべきを誤ったものである。

このように、比較的内部の地域差が少ないとされる津軽弁に対して、徐々に「開拓・植民」を繰り返しながら町を形作っていった南部地方は、地域差が存在することがうかがえる。

しかし、此島が「ところが、南部弁に関しては、従来研究がきわめて少な」と指摘するように、津軽弁のような体系的・記述的な研究は、残念ながらあまり行われていない。

註) 現おいらせ町

<参考文献> 此島正年(1968)『青森県の方言』津軽書房
(1996)「青森県の方言」(『北海道・東北地方の方言』国書刊行会)

南部地域の方言の記録(自治体史)

南部方言は、津軽方言に比べ体系的記述的な記録や研究が少なく、南部弁内の地域差についても、下北方言を下位区分すること以外は定説をみない。

各地の方言研究家により、数々の方言集が編まれている。

今回の調査では、青森県立図書館所蔵の各自治体の市町村史を対象として、方言に関するデータを収集した。以下に示す。

著者	タイトル	発行年	出版社
刊行推進委員会	七戸方言集(全編)	平成20年9月18日	協同印刷工業(製作 北の街社)
六ヶ所村史編纂委員会	六ヶ所村史 下巻Ⅱ	平成9年4月30日	第一法規出版株式会社(発行 六ヶ所村史刊行委員会)
青森県史編さん民俗部会	青森県史 民族編 資料下北	平成19年3月30日	川口印刷工業株式会社(発行 青森県)
青森県史編さん民俗部会	青森県史 民族編 資料南部	平成13年3月30日	株式会社ぎょうせい(発行 青森県)
倉石村史編纂委員会	倉石村史 下巻	平成元年3月31日	ヨシダ印刷株式会社(発行 倉石村)
下田町誌刊行委員会	下田町誌	昭和54年8月1日	株式会社社陵印刷(発行 下田町)
北向義美	百石町郷土史	昭和34年5月25日	株式会社精工社(発行所 北奥日日新聞社)
名川町誌編集委員会	名川町誌 第一巻 本編Ⅰ	平成5年8月31日	株式会社社陵印刷(発行 名川町)
名川町誌編集委員会	名川町誌 第二巻 本編Ⅱ	平成7年3月31日	株式会社社陵印刷(発行 名川町)
大館村誌編集委員会 編	大館村誌	昭和34年3月31日	精工印刷株式会社(発行所 八戸市)
倉石村史編纂委員会	倉石村史 上巻	昭和58年7月30日	株式会社社陵印刷(発行 倉石村)
むつ市史編さん委員会	むつ市史 民俗編	昭和61年12月30日	第一法規出版株式会社(発行 むつ市)
七戸町史刊行委員会	七戸町史	昭和57年3月31日	川口印刷工業株式会社(発行 七戸町)
三戸町史編纂委員会	三戸町史 下巻	平成9年3月28日	株式会社ぎょうせい(発行 三戸町)
南郷村誌編纂委員会	南郷村誌	平成7年6月30日	川口印刷工業株式会社(発行 南郷村)
八戸市史編纂委員会	新編 八戸市史 民俗編	平成22年3月31日	株式会社文展美術印刷(発行 八戸市)
階上町史刊行・編纂委員会	階上町史 通史編Ⅱ	平成13年2月28日	川口印刷工業株式会社(発行 階上町)
大下由宮子	私の八戸物語	昭和61年10月1日	伊吉書院(印刷・製本 シマダ印刷)
東通村史編纂委員会、東通村史編纂委員会	東通村史 民俗・民俗芸能編	平成9年3月20日	川口印刷工業株式会社(発行 東通村)

(まとめ:今村かほる)

5. 被災地方言調査

5.1 六ヶ所村

5.2 三沢市

5.3 おいらせ町

5.4 八戸市

5.1 八戸市・三沢市・六ヶ所村・おいらせ町 発音の特徴

坂本幸博

1. 南部方言音声面の特徴

八戸市・三沢市・六ヶ所村・おいらせ町は南部方言の地域に該当するので、南部方言の特徴を有している。音声面の特徴としては、特に以下の点が挙げられる。

- ①中舌母音を持つ。
- ②シ・スおよびジ・ズの対立がなく、シ・ジで発音される。
- ③カ行・タ行が非語頭において有声音で発音される。
- ④ガ行・ザ行・ダ行・バ行が非語頭において鼻濁音で発音される。

これら以外に、合拗音を有することや、セがシェやへ、ゼがジェと発音されること、ハ行の子音が両唇摩擦音になるなどの特徴を有している。音声面での特徴は津軽方言と基本的に一致しており、音声面で両者に違いが見られることはほとんどないといえる。

2. 得られた発音

それぞれの調査地点で得られた発音は以下の通りである。

	知事	地図	旗	肌	袴	鏡
八戸	tsi~zi	tsi~zi	hada	ha~da	hagama	kaŋami
三沢	tsizi	tsizi	hada	ha~da	hagama	kaNŋami
六ヶ所	tsizi	×	hada	hada	hagama	kaŋami
おいらせ	tsi~zi	tsi~zi	hada	ha~da	hagama	kaŋami

※d,zの前の~はそのd,zが鼻濁音となることを示す。

※三沢市の鏡、ŋの前のNに関しては、「3.3『袴』と『鏡』」において記述する。

3. 考察

3.1 「知事」と「地図」

まず八戸市・三沢市・六ヶ所村・おいらせ町のいずれにおいても、「ジ」と「ズ」の対立がなく、すべて「ジ」で発音されている。「シ」と「ス」および「ジ」と「ズ」の対立がないことに関しては、従来、北東北では「シ」「ジ」、南東北では「ス」「ズ」であるとされてきた。近年では、北東北においても「ス」「ズ」で発音されるという指摘もされているが、今回の調査では、従来の説のとおり北東北にみられる特徴で発音されている。

鼻濁音に関しては、八戸市・おいらせ町では発音され、三沢市・六ヶ所村においては発音されていない。八戸市・おいらせ町では男性話者であり、三沢市・六ヶ所村では女性話者であることから、男性の方が鼻濁音を強く保持し、女性の方がいわゆる「共通語化」していると指摘することもできる。

ただ、「知事」に関していえば、八戸市・おいらせ町では単に「知事」と発音されているのに対し、三沢市は現在の青森県知事の名字に続く形で「~知事」、六ヶ所村では「県知事」という形で発音されていることが影響している可能性も指摘できる。しかしながら、三沢市、六ヶ所村のいずれにおいても、「地図」ではそうした条件もなく鼻濁音が見られないので、その可能性は低いといえる。

3.2 「旗」と「肌」

すべての調査地点において非語頭の「タ」は有声化して「ダ」となり、旗は「ハダ」と発音されている。それに対して、非語頭の「ダ」は、八戸市と三沢市、おいらせ町では鼻濁音で発音されているのに対し、六ヶ所村では鼻濁音では発音されなかった。

六ヶ所村では「知事」においても鼻濁音が見られないため、この話者は鼻濁音を持っていないと指摘できる(ガ行鼻濁音は発音されている)。そうすると、「旗」と「肌」はいわゆる「同音異義語」となる。ただし、両者のアクセントは異なっているため、混同することはない。「旗」は低高のアクセントで発音され、「肌」は下降調アクセントで発音される。

3.3 「袴」と「鏡」

すべての調査地点において、非語頭のカ行の有声化およびガ行鼻濁音が存在する。三沢市ではガ行鼻濁音の前に「ン」と発音され、鼻濁音が「強調」されているように思われる。子音の鼻濁音といっても実際にはその前の母音から「鼻音化」している場合が多く、その鼻音が強調されたともいえる。

4. まとめ

「1. 南方方言音声面の特徴」で示した、「①中舌母音を持つ」「②シ・スおよびジ・ズの対立がなく、シ・ジで発音される」「③カ行・タ行が非語頭において有声音で発音される」に関しては、いずれの調査地点においてもその通りに出現している。

ただし、八戸市では「袴」を[hakama]と発音した話者も存在するため、いわゆる「共通語化」が進んでいると指摘できるかもしれない。しかし一方では、その話者は「肌」を[ha~da]と鼻濁音で発音していることから、他のさまざまな項目も含めて、よりいっそう詳しい調査が必要であるといえる。

「④ガ行・ザ行・ダ行・バ行が非語頭において鼻濁音で発音される」に関しては、ガ行鼻濁音とそれ以外のものについて、かなりの差が見られた。表では八戸市の話者は鼻濁音を保持しているが、同地点には「知事」を[tsizi]、「旗」を[hada]、「肌」を[hada]と発音し、鼻濁音を保持していない話者もいた。

近年の情報技術の発達により、今後ますます「共通語化」が進んでいくことはほぼ間違いない。そしてその「共通語化」は、地域差よりもむしろ個人差として進行していくように思われる。

5.2 六ヶ所村

六ヶ所村の基本概要

1. 位置

以下引用します。青森県六ヶ所村は東京から600km圏、下北半島の付け根に位置し南北約33km、東西約14km、253,01km²の面積を擁する自治体である。北は月山(標高419,2m)を介して東通村に接し、西は棚沢山脈(吹越烏帽子標高557,8m)と平野を経て横浜町、野辺地町に、南は小川原湖を境として東北町、三沢市に隣接しており、東は太平洋に面している。



行政区画

青森県 上北郡 北緯 南端 40度 50分 北端 41度 08分
東経 東端 141度 24分 西端 141度 14分

六ヶ所村の地域特性 www.rokkasho.jp/index.cfm/7,1252,c.html/1252/2syou

2. 交通

近くに最寄の駅がないため主な交通手段は車になる。以下、六ヶ所村ホームページ「交通アクセス」(<http://www.rokkasho.jp/index.cfm/6,293,49.html>)による。

車 青森～六ヶ所 1時間40分 八戸～六ヶ所 1時間30分

東北新幹線 東京～八戸 3時間 仙台～八戸 1時間30分

3. 地勢

253,01km²の面積のうち、16,9%が原野、16,1%が耕地、24,6%が山林、24,9%が雑種地、宅地が4,3%、放牧地1,6%、3,1%が池沼、その他が8,5%である。村内には内沼、田面木沼、市柳沼、鷹架沼、尾駈沼や、月山(4

19, 2m)、御宿山(469, 0m)、バジャ山(515, 3m)、ぼんてん山(468, 8m)、前ぼんてん山(406, 0m)、などがある。過去、土地はあまり活用されておらず、主として平坦地において牛馬の放牧地に利用されていたほか、農耕地としてわずかに利用されていた。終戦頃からの入植や昭和31年度からの北部上北開拓事業により酪農地帯を形成するようになり、昭和44年には新全国総合開発計画によるむつ小川原開発の中心となった。昭和60年には、本邦初の国家石油備蓄基地が完成し、原油460万kLが貯蔵されている。また、原子燃料サイクルの中心を担う各種施設の運転、建設が進んでおり、さらには核融合エネルギーの開発を目指す国際プロジェクトである。ITER計画関連施設として国際核融合エネルギー研究センターが開発された。

(六ヶ所村の地域特性 www.rokkasho.jp/index.cfm/7,1252,c.html/1252/2syou)

4. 戸数・人口

戸数：4639戸

人口：11097人(男：5898人 女：5199人)(平成24年12月30日)

六ヶ所村HPより

5. 産業

	就業人口(人)	構成比(%)
第一次産業	872	14.0
第二次産業	2443	39.1
第三次産業	2926	46.9
合計	6250	

農業：根菜類(ごぼう、にんじん、大根など)、いも類

畜産：乳牛

漁業：スルメイカ、サケ、シジミ、ワカサギ、ウニ、アワビ、海藻類

商工業：特産品(長いも、乳製品、イカ、サケ、ヒラメなど)の加工品の開発

(市町村ハンドブック・六ヶ所村HPより)

6. 被災状況

重傷者数：1人

浸水地域：5km²

推定浸水地域にかかる人口：3453人

推定浸水地域にかかる世帯：1349世帯

六ヶ所村HPより

<参考URL>

六ヶ所村HP (<http://www.rokkasho.jp/>) 平成25年1月25日閲覧

市町村ハンドブック

(<http://aomori-kassei.jp/wp/wp-content/uploads/data/hanndobook%20web%20keisai.pdf>)

f) 平成25年1月25日閲覧

Mapion (<http://www.mapion.co.jp/map/admi02.html>) 平成25年1月25日閲覧

まとめ：一戸美祐・工藤航

六ヶ所・発音の特徴

話者A：男性（調査時 74 歳）

001 調査者：アーノ (A ウン) ソノ ロッカショノコドバデ チョット カンカ° エデ
あの (A うん) その 六ヶ所の言葉で ちょっと 考えて

ホシンデスケドモ (A ウン) アノ カオウズス コノ マー モノアルンデスケドモ
ほしいんですけども (A うん) あの 顔映す この まあ ものがあるんですけど

(A ウン) コレワ ナンテ ハツオンシマスカ。

(A うん) これは なんて 発音しますか。

002A : ン。
うん。

003 調査者：コノ カオウズシテ コー オフロトガサ イゲバ コー アツタリ アド
この 顔を映して こう お風呂とかに いくと こう あったり 後

ココ° デモ
ここでも

コー ドッカサ コー タデカケデアツダリ スルノカナーッテワ
こう どこかに こう 立てかけてあったり するのかなと

(A ウーン) オモウンデスケド_____。

(A うーん) 思うんですけど_____。

004A : シャシンノゴトガスカ。
写真のことか。（「ゴトガ」では？）

005 調査者：イヤ アノ カオコ° トバ ウズス アノ ヒゲソツタリスドギニ
いや あの 顔を 映す あの ヒゲ剃ったりする時に

コー オフロトガサモ コーアルノワ (A ウーン) アレワ。
こう お風呂とかにも こうあるのは (A うーん) あれは。

006A : カオソリ テ。
顔剃り って。

007 調査者：モ コノ コ_____メース
もう この [絵を見せながら]ここの部分ですね(「コゴノブブンデスネ」では？)

008A : ウーン。 ミ ツー ナーン テ ユーエー。
うーん。 普通(「フツー」では?) なんていうでしょうね(「ユウデショウネ」では?)

- 009 調査者：マー ナ キョーツゴド オナジカダジデモインデスヨ。
 まあ あの(「アノ」では?) 共通語と 同じ形でもいいんですよ。
- (A ウーン) セバ ハツオンダゲデモゼン (A ケショー ケショース)
 (A うーん) じゃあ 発音だけでも (A 化粧 化粧して)
- 010A : ケショーッテスッカ ケショーッテシルノガ。
 化粧っていうか 化粧ってするのか
- 012 調査者：カ カデハジマルー アノー。
 「か」 「か」で始まる あの
- 013A : カデハジマルー (調査者 ウン) ウーン。
 「か」で始まる (調査者 うん) うーん。
- 014 調査者：カオ キョエツシタリ スルノワ。 (A ウーン)
 顔を映したり(「カオッコウツシタリ」では?) するのは。 (A うーん)
- 015A : ウーン。 ムツシー コリヤーネー。
 うーん。 難しい。 これはわからない。(「ムツシダ コリヤワガネ」では?)
- 016 調査者：アー スカ シバイマ オクサマキタラ
 あー そうですか(「ソンドスカ」では?) じゃあ今(「セバイマ」では?) 奥様来たら
- (A ウーン) ソドギニデモ ドースカ。
 (A うーん) その時にでも(「ソノドギニデモ」では?) どうですか
- 017 調査者：トイレトカー (A ウン) フロバ トガサアル。 (A ウーン ソーソー)
 トイレとか (A うん) 風呂場 とかにある。 (A うーん そうそう)
- ウン モノー デスヨネ {笑}
 うん もの ですよね {笑}
- 018A : ウーン。
 うーん。
- 019 調査者：スバデスネ。
 じゃあですね。(「セバデスネ」では?)
- 020A : カカ° ミー。
 鏡。
- 021 調査者：ウン デス ソレデス。 アノ イマモツカイ チョットシャベッテモラエマスカ。
 うん。 そうです。 それです。 あの 今もう一回 ちよとしゃべってもらえますか。
- 022A : カカ° (調査者 ウン) カカ° ミーネー。
 鏡 (調査者 うん) 鏡ね。

- 023 調査者：カカ° ミー カカ° ミ
鏡 鏡
- 024A :ミゼ カカ° ミー ミゼラガーッテ コー。
見て 鏡 見てたかって こう。
- 025 調査者：カカ° ミ ミデラガーット。 (AB ウン)
鏡 見てたかっつ。 (AB うん)
- 026A :カカ° ミ ミテラガー (調査者 ハイ) トバ。
鏡 見てたか (調査者 はい) とか(「トガ」では?)
- 027 調査者：ソレデダイジョブデス。
それで大丈夫です。
- 028A :ユーユーフーニシテ。 (調査者 ハイ ウン)
こういう風にして。 (調査者 はい うん)
- 029 調査者：ダイジョブデスネ。
大丈夫ですね。
- 030A :ウーン。
うーん。
- 031 調査者：ハイ オッケーデス。
はい。OKです。
- 032A :カカ° ミミデラガーッテ ユッテ。 (調査者 ハイ)
鏡見てたかって いって (調査者 はい)
- メルゴトワ ナインダケド (調査者 ウン ヨネ)
しゃべることは ないんだけど (調査者 うん よね)
- 033 調査者：アノー コー モンツギー ウエキタドギニ シタサハグ コレワ
あの こう 紋付 上に着た時に 下に履く これは
- 034A :ハカマ
袴
- 035 調査者：ハカマ。 (A ウン)
袴。 (A うん)
- 036 調査者：ハガマッテハシヤベネデスガ 。
「はがま」とは言わないですか。
- 037A :ハオリ ハオリハカマッテ ユー カター (調査者 ウン) マー ソーユーコトバー
羽織 羽織袴って いう かな (調査者 うん) まあ そういう言葉あるな

(調査者 ソレワ ソ ネ)
(調査者 それは そうですね)

038 調査者：ハカマッテシマスカ ソレトモ ハガマッテシマスカ。
袴っていいですか それとも 「はがま」っていいですか。

039A : ウーン マー ンー チ オラー オライツ オライッコノ
うーん まあ んー × 私 ××× ×××××

ナンドケドー ハガマッテ
なんだけど 「はがま」って。

040 調査者：ハガマッテ。 (A ウン) ハイ ヤッパリ (A ヨーワ) カデネクテ
「はがま」つと。(A うん) はい やっぱり (A ようは) 「か」じゃなくて

コー ガーッデスカンジデ (A ウーン ガーッテ)
こう 「が」っていう感じで (A うーん 「が」って)

ハガマッテス。
はがまっというんですね(「ハガマッテスデスオンネ」では?)

(A ソーソーソー) ハイ。
(A そうそうそう) はい。

041A : ワ ヤッパリ デモ ハッ カマ (調査者 ハカマデスネ) ンー。 (調査者 ハイ)
今は やっぱり でも 袴 (調査者 袴ですね) んー。 (調査者 はい)

042 調査者：スドコーノ サイジツトカニナレバ アノ タテダリスドゴモ アンデスケドモ。
じゃあ今度 祭日とかになれば あの 立てたりするところも あるんですけれども

(A ウーン) コレワ ナンテハツオンシ シャベッテマシタカ。
(A うーん) これは 何て半音し しゃべってましたか。

043B : ハダーッテイッタガ。 (A ウン)
「はだ」っていったか。 (A うん)

044 調査者：ハダ ハタデワナクテ ヤッパリ ハダーッテスデスカ。
「はだ」 旗ではなくて やっぱり 「はだ」っていうんですか。

045B : ハダダヨ コレ。(調査者 ハダ)
「はだ」だよ これ。(調査者 「はだ」)

046 調査者：チナミニ アノ ハダゲトガッテワ シャベッタリシマスカ
ちなみに あの 「旗日」とかっては(「ハダビ」では?) しゃべったりしますか。

アノ サイジツトガノゴトワ ハダ。(B ウーン)
あの 祭日とかのことは 旗 (A うーん)

- 047A : ハダ (調査者 ハダビ) ンー ハダビ ハダビ。 (調査者 ハダビ デスネ ハイ)
旗 (調査者 旗日) ん 旗日 旗日。 (調査者 旗日ですね はい)
- 048A : ダ ダ ッテユーダベナ。
「だ」 「だ」 っていうんだらうな。
- 049 調査者 : ンデスヨネ。
そうですよね。
- 050A : タサ テンコツケデ (B 笑)
「た」に 濁点をつけて (B 笑)
- 051 調査者 : ダデスモンネ。 セバアノ コーユードコワ (A ハダ) ハダ セバマダ
「だ」ですものね。 じゃああの [肌を指して] こういうところは (A 肌) 肌 じゃあまた
ハダドワチガウンデスヨネ。 (A ソーソー) ハダト (A ハダ) ハイ。 (A ハダッテ)
「はだ」とは違うんですよね。 (A そうそう) 肌と (A 肌) はい。 (A 肌って)
- 052A : ンダ _____。
そうだ そうなるんだ。
- 053 調査者 : ンデスヨネ ハイ。
そうですよね。 はい。
- 054A : カオー クログッターリセバ ジハダドワナンドガ (調査者 ウン)
顔が 黒かったりすれば 地肌とかなんとか(「ジハダドガ」では?) (調査者 うん)
ジハダガナンドガッテ (調査者 ウン デスヨネ)
地肌とかなんとか(「ジハダドガ」では?) (調査者 うん ですよ)
- 055B : ジグロダドガ。 (調査者 ジグロ) (A アツケガ)
地黒だとか。 (調査者 地黒) (A あつたか)
- 056 調査者 : ハイ。 セバデスネ _____ コシテ スワルモノアルンデスケドモ
はい。 じゃあですね その一 こうやって 座るものがあるんですけども
(A ウーン) シタサ コーシグモンデスネ。
(A うーん) 下に こう敷くものですね。
- 057B : ザブトン
座布団
- 058A : ウン ザブトン (調査者 ザブトン) ウーン。
うん 座布団 (調査者 座布団) うーん。
- 059 調査者 : ザブトンデ (A ウン) ハイ。
座布団で (A うん) はい。

- 060B : エト ナンカイイガダアル。
えーと 何か言い方ある。
- 061 調査者 : イヤ ナンモ フツノ シャベガダオ (B アーアー)
いや 何も 普通の シャベリ方を (B あーあー)
- カグニン (A ツマリ) ダイジョブデスヨ。
確認 (A つまり) 大丈夫ですよ。
- 062A : マズ ハヤグユーバ フトンッテ コーシャベッタリシタッタケドモ。(調査者 ハイ ハイ)
まず 簡単に言えば 布団って こうしゃべったりしていたけれども (調査者 はいはい)
- 063 調査者 : コトバヘネンネデー (A フトン)
「ざ」を入れないで(「ザゴトバヘネンデ」では?) (A 布団)
- 064A : ソー ザブトンテワ イワネー フトンッテ。(調査者 フトンフトン ハイ)
そう 座布団とは 言わない 布団って[言った] (調査者 布団布団 はい)
- 065B : ザブトンダヨー。
座布団だよ。
- 066 調査者 : ウン ハイ。
うん はい。
- 067A : マズ ウン ナー ウン。
まず うん なあ うん。
- 068 調査者 : ザブドンデスカ ザブドンデスカ。(A ウン)
「ざぶどん」ですか座布団ですか。(A うん)
- 069B : ザブトンッテユーノヤ (A・調査者 ウーン)
座布団っていうね (A・調査者 うーん)
- 070 調査者 : ハイ。 セバデスネ イマアノ ××サン ヤッテルンデスケドモ
はい。 じゃあですね 今あの ××さん やってるんですけども
- アオモリケンカ° ー アノー ××サンノコド ×× (B ××) (A ××)
青森県の(「~ケンノ」では?) あのー ××さんのこと(「~サンノゴト」では?)
- ツギワアノー ケン。
次はあのー 県～。
- 071A : ンー ××チジッテ (調査者 チジ) ウン (調査者・B ウン)
んー ××知事って (調査者 知事) うん (調査者・B うん)
- 072 調査者 : ××チジ (A・B ウン) デスネ。 アノー セバ アノー コーユー
××知事 (A・B うん) ですね。 あのー じゃあ あのー こういう

イマクルドギニ コー アイダンドスケド ミジトガ カイデル (A ハイ)
今来るときに こう あれなんですけれども 道とか 書いている (A はい)

コーユーノワ ナンテハツオンシマスカ コーユーモノ。 コレワ チジデナクテ。
こういうのは 何て発音しますか こういうもの。 これは 知事ではなくて。

073A : チャターシド チャタージ。
~~~~~。

074B : チガウ セ チズ。(調査者 チズ) ウン。  
違う それ 地図。(調査者 地図) うん。

075 調査者 : ハイ。 ソノドツツカ チジド チズツテセバ コー シャベルノワ。  
はい。 そのどうですか(「～ドデスカ」では?)知事と 地図といえば こう シャベるのは。

076B : アー コレオ チズツテガ イヤー イワネドオモウ。  
あー これを[地図を指して]「ちじ」ってか(「チジツテガ」では?) いや 言わないと思う。

077 調査者 : コレワ ナンテハツオン モツカイ チョット コレ。  
これは 何て発音[地図を指して] もう一回 ちょっと これ。

078B : コレ チズデショー (調査者 コレ チズ) ウーン (調査者 ハイ ハイ)  
これ 地図でしょう (調査者 これは地図) うーん (調査者 はい はい)

079 調査者 : ××サンワ。  
××さんは

080B : チジ。(調査者 チジ) ウーン (調査者 ハイ) {笑}  
知事。(調査者 知事) うーん (調査者 はい) {笑}

081 調査者 : ウーン ソー ソノ カダクルソーネ (B アー) ハイ。  
うーん そう その 仮名ですものね(「カナッコデスオンネ」では?) (B あー) はい。

082 調査者 : ウン デ ハイ。 セバデスネ アノー デンシャサ ノルドギニ アノ  
うん で はい。 じゃあですね あの 電車に 乗るときに あの

キップカルドオモンデスケドモ (B ウーン) ソレアノ ユビデ カンジョーセバ  
切符を買うと思うのですけれども (B うーん) それあの 指で 勘定すれば

タトエバ コノ ユノミダバ ユーノーミ トガツテ コー ミツツデ カンジョースド  
例えば この 湯呑であれば「ゆ・の・み」とかって こう 三つで 勘定すると

オモンデスケドモ キップゴトワ コヤツテ ユビデオレバ  
思うのですけれども 切符を(「キップゴトバ」では?) こうやって 指で折って数えれば

(A・B ウーン) ナンボニナリマスカ。

(A・B うーん) いくつになりますか。



083B : キップ テガ。 (A キッ)  
き・っ・ぷってなるか (A き・っ)

084 調査者 : ミッツデスガ。 (A・B ウーン)  
三つですか。 (A・B うーん)

085 調査者 : キップ テ トノ キップ テ フタツサナリマスカ。  
き・っ・ぷって それとも(「ソエトモ」では?) きっ・ぷって 二つになりますか。

086B : イヤ ミッツダヨ。  
いや 三つだよ。

087 調査者 : \_\_\_\_\_スカ。  
どうですか。(「ドンデスカ」では?)

088A : ウン バーハ (B ミッツデシヨ) ハヤツコトバデ キップダガラナ。(B キップ)  
うん はあ (B 三つでしょ) \_\_\_\_\_言葉で 切符だからな。(B 切符)

089 調査者 : キップ (A ウン) ハー。  
切符 (A うん) はあ。

090B : ヤッパリ キップダ。(A ウーン) キップデネンダガ。  
やっぱり 切符だ\_\_\_\_\_。(A うーん) 切符なのでないか。

091 調査者 : ハイ ハイ ダイジョブデス。  
はい はい 大丈夫です。

(B 笑) アノ アーット コ ナンカ° トバシタリスル  
(B 笑) あの えーと こう 何か(「ナンガ」では?) 飛ばしたりする

(B ウーン) アノー フーセン アルドオモンデスケドモ ソレワ フーセン  
(B うーん) あの 風船 あると思うんですけども それは ふう・せん

(A フーセン) (B ウン フーセン) フタツデスカ ソレトモ (B フセン) フセン。  
(A ふう・せん)(B うん ふう・せん) 二つですか それとも (B ふせん) ふせん。

092B : イヤ フーセンダヨ。(調査者 フーセン) ウーン。  
いや 風船だよ (調査者 ふう・せん) うーん。

093A : マー フーセンダベ フーセンテ  
まあ 風船だべ 風船って

094 調査者 : セバ フ ウ セ ン (B フーセン) テ ヨッツデスカ。(B ウーン)  
じゃあ ふ・う・せ・ん (B 風船) って 四つですか。(B うーん)

ウン フー セン トガッテワ ナラナイデスカ。  
うん ふう・せん とかっちは ならないですか。

095B : ウーン シン一 ン一 ヨッツ一  
うーん ーん 四つ

096 調査者 : ヨッツ ハイ ワガリマシタ。  
四つ はい わかりました。

## 六ヶ所・親族名称

話者A：女性（調査時 69 歳）

話者B：男性（調査時 70 歳）

001A：イエマデ イッテワ。 家まで 行ってるわ。

002B：バーサマダー アノー ドガチンサンカ° ダ ワダシラ アノ チーサイドキー  
おばあさんだ あのー / / / / さん方 私たち あの 小さい時

ヨ ヨブコトバデアダバ アノ ジッチャッテヨンダ。 オジーサンテ ヘネーデ ジッチャト。  
× 呼ぶ言葉であれば あの じっちゃって呼んだ。 おじいさんって 言えないで じっちゃって

バーサマ バーサマ (A バーワ) ババッテナ (A バーバ) バッチャットガッデ  
ばあさま ばあさま (A ばあは) ばばってな (A ばあば) ばっちゃとかって

(A       ) バーバドガッデ。 デー オヤヨ ヨブトキダバ トッチャッテンダヨ  
(A       ) ばあばとかって。 で 親をよ 呼ぶときであれば とっちゃって言うんだよ

トッチャトカ オカーサンテネガッタ。 チチオヤヨ ヨブトキワバ アーヤッテ。  
とっちゃとか お母さんってなかった。 父親をよ 呼ぶときであれば あーやって

シテ ハハワ アーメッテ。(調査者 ンーンーンー) ズーットー (調査者 ンー)  
そうして 母は あーめって。(調査者 んーんーんー) ずーっと (調査者 んー)

ナンボクライマデー ワタシラー (調査者 ンー) ハ アノー ハタチクライマデダバー  
何歳くらいまで 私たち (調査者 んー) はあ あのー 二十歳くらいまでであれば

オヤノゴドーヨ アーヤド アーメドッテ ヨンデラッタヨ。 アノ タンボサデモイゲバー  
親のことをよ あーやって あーめって 呼んでいたのよ。 あの 田んぼにでも行けば

ノヤマノスゴトスルドキワー アーヤトアーメダッタ。 ダンダンニー コドモゴコラー ダシガ  
野山の仕事をするときには あーやとあーめだった。 だんだんと / / / / / / / / / /  
※（「スゴト」の「ゴ」は鼻濁音では？）

マコ° ダシカ° ー オ ソダツジダイダバ  
孫 / / / / / 育つ時代であれば

ワタシラ ソ アノー モー ウチガラ デデッカラハー ヨンジューナンネンク° ライニナルケド  
私たち そう あの もう 家から 出てるからはあ 四十何年 ぐらいになるけど

ココガラ。 ソノジダイノ ジーサンワーチャンワ ジッチャンドバッチャダッタ。  
ここから。 その時代の じいさんばあさんは じっちゃんとばっちゃだった。

ハ ソヤッテ オヤノゴドワ アーヤドアーメッテッテ。  
はあ そうやって 親のことは あーやとあーめって言って

## 六ヶ所・震災の日

話者A：女性（調査時 69 歳）

話者B：男性（調査時 70 歳）

001A：ショーボーノヒトニ オゴラレダズ アカ° ッテクダサイッテ ニゲレッテ モ  
消防の人に 怒られたのさ 上がってくださいって 逃げなさいって もう

ナンカイサキテネンダヨー チョコチョコドー。 オラホサイッデ イッタンワ オチズイダケド  
何か先に来てないんだよ ちょこちょこと。 私たちの家へ行って 一旦は 落ち着いたけど

ヒッテゴラー コドモイルガラ オギストーブー ワー ツケデネ ヤガンエデ  
そう言ってほら 子供がいるから 大きいストーブ 私 つけてね やかんをかけて

デ ダバー アヤスグナルスケッテ マンマトイデネ タグジュンビシテ ガスダカラ  
で であれば 怪しくなるからって お米を研いでね 炊く準備して ガスだから

ナベニ コンド ハ デンキモキエダス チョットセバ ホラ モスカシタラ オベントー  
鍋に 今度 はあ 電気も消えたし ちよとすると ほら もしかしたら お弁当

オニキ° リデモ ミンナシテニキ° ロードオモッテ イッカイメ トイデ タイデ ナベッコデ  
おにぎりでも みんなで握ろうと思って 一回目 研いで 炊いて 鍋で

タイデ デ ニギッテ。 ドマノ バンニナッター クーベシテ コンダ ストーブサ  
炊いて で 握って。 土間の 晩になったら 食べて 今度 ストーブに

ホイルアケ° デネ ソゴサ オニキ° リアケ° デ デ マダ トイドイデ モスカシタラ  
アルミホイルを上げてね そこに おにぎりを上げて で また 研いでおいて もしかしたら

ホラ オベントー ナニカノタメニ スキ° ドイツショニ オトーサンニモ  
ほら お弁当 何かのために 薬と一緒に お父さんにも

ワダサネバナネドオモッデ マダ オニキ° リ ナベトイデネ。 ソノウジニ ハ  
渡さなくてはならないと思って また おにぎり 鍋砥いでね そのうちに はあ

クラグナッテ ハー アダリ ミエナグナッタンダモノ ミエルウジワ ソノガケニ  
暗くなって はあ 辺り 見えなくなったんだもの 見えるうちは その崖に

バッカシイダノ。 ソノフネド ホラ シオヒケルノ ホニ カラット コノー  
ばかり居たの。 その船と ほら 潮が引けるの ほんとに からっと この

ミナド カラ ミズイナグナッテ シテマダ タガイドゴサ アカ° ッテ  
港から 水がなくなって そうしてまた 高いところに 上がって

ワ イガネンダ。  
私は（港に）行かないんだ

ウミノソバニワ モー クルクルマワッテ ホラ ア アノ ニゲレット。  
海の側には もう くるくる回って ほら × あの 逃げなさいって。

ソーユー アノー アレガ アッデルガラ シタニワ オリデイガレナイケド ウジノホー  
そういう あの あれが あるから 下には 降りて行かないけれど 家の方

バンゲダガラ バンゲノウチニデデ  
晩だから 晩のうちに出て

バイクオヘナシタヒトダノッテ タッテ ホットンドマズ  
バイク////////人だとかは /// ほとんどまず

みんな シンセーデイスタンメーヨスゴドド。  
皆 ////////////////

アノ ガッコーワ コッチダケド ウチノホーワ タガイホーダガラ ウチノホーサ  
あの 学校は こっちだけど 家の方は 高い方だから 家の方に

カエッテキタノ シタアガッテキテ。 ダー ヨルニナッテ アルノヨー ツマンデネ。  
帰って来たの 下から上がって来て。 夜になって あるものを つまんでね。

デ ホラ ハ モ レイゾーコハ クサルシ デテ ナニガモッタベシテ イッタ  
で ほら はあ もう 冷蔵庫 (の中のものは) 腐るし といって 何か持っただろうと 行った

ガラ エス ソゴサ コー ヒロケ° テ ハ テーブルデナグシテ コジンマリシテ コスワ  
から そこに こう 広げて はあ テーブルでなくて こじんまりして ///

オボンサ ソノタベモノダシテ トモカグ ナニカクッテルベシッテ。 デ  
お盆に その食べ物出して ともかく 何か食べていましょうって。で

ローソグ ア ツケデ  
蝋燭 点けて

シテ \_\_\_\_\_ ナガナガッタンダヨ アンマリ ホーチンナイゲルッケ チッチャスキ° ダガラ。  
そうして ××× 泣かなかったんだよ あんまり //////////////// 小さすぎだから。

ソノウジニ フトンヒッパリダシテ ソゴサ ミンナ イマ ジッチョク° ライアルッタッテ  
そのうちに 布団ひっぱりだして そこに 皆 今 十畳ぐらいあると言ったって

ソゴノドゴサ ストーブヒトツツド ローソグツケデ。 ダグ ホットンド マズ イソラデタトギニ  
そののところに ストーブ一つと 蝋燭つけて 炊く ほとんど まず 急いでいた時に

タビニ デンチューワネ ポレラモ モッテッタシ ワタシワ モー ヨーイシテルカラ  
//に 懐中電灯はね // / 持ってったし 私は もう 用意してるから

ソノ デンチューワ ジブンノドコサオイデ ソヤッテ ソノヒトバンワネ オワッタ  
その 懐中電灯は 自分のところにおいて そうやって 一晩はね 終わった。

オニギリタベデ ソヤッテ。 デ オトーサン アノー ハ ケータイモツナガラナイシ  
おにぎり食べて そうやって。 で お父さん あの はあ 携帯電話も繋がらないし。

ドーモナンナイ。 シテモ イッソウダゲ イルノデナイガラ オギワモー  
どうにもならない。 そうしても 一艘だけ いるのでないから 沖はもう

ソドイデダッタッテ オギノノデンキッコタッテ フギモフイデクルシ。  
外へ出たといっても 沖の（漁船の）電気といったって 暴風も吹いてくるし。

(B \_\_\_\_\_)

(B \_\_\_\_\_)

フギッテバ ユギカ° ツケデ カゼカ° フグノヨ  
暴風といえば 雪が降って 風が吹くのよ

フギダッテ。 フブキッテネデ フギッテ。 フブギデルガラハ ソドヘワ デナイゴドニシテネ。  
暴風だって。 吹雪でなくて 「フギ」って。 ふぶいてるからには 外には でないことにしてね。

デ モー ホノ チチオヤワ モー ホラ ショコショコド ソドサデデ  
で もう その 父親は もう ほら しょこしょこと 外に出て

ミデケダリシテラッタッテ アンノ ウエイグナッテ アブネシテイグナッテ。  
見てくれたりしていたって あの 上に行くなって 危なくて行くなって。

クレシテハ イグナヨナッテナ。 デ タイシタジョーブデモネガッタッセ カゼモヒグス ハ  
暗くなったら 行くなよって。 で たいして丈夫でもなかったから 風邪もひくし はあ

デデアルグナッテイッテヨ。 \_\_\_\_\_ ナンカ オノー オバーサナグナッテ マダ アノー  
出て歩くなって行ってよ。 なんか / / / おばあさんが亡くなって まだ あの

ヒカ° アサガッタガラ  
日が 浅かったから

ナンカ イハイカ° モッテッタンダガ ワガンネーシ シタサキテイッテ  
何か 位牌を持ってたんだけども わからないし（駄目だし） 下に来て行って

ワ ワラッテラッタッタッテヨ ナーニ ホレ ナガイダッタッテ ドースルッテ  
私 笑っていたてよ 何 ほれ 長い間って どうするって

イギダクテイギデルバアイダッテ ワラッタッタッタッテダ ソーユーフーニシテ  
生きたくて生きてる間って 笑ってた そういう風にして

ヒトバン ヤッパリ アサマデ。 シテ アサニナッテ マダ コド オニキ° リツクッテバ  
一晚 やっぱり 朝まで。 そうして 朝になって また 今度 おにぎり作って

ミンナデ ヒトツズズデモ タベデクベシッテユッテワ アノ ヨフケダドゴニ  
皆で 一つつつでも 食べて食べようって行って あの 夜ふけたところに

ホラ ワー トシガスデネスケ ガスワヘネレバ ガスツグガラ ナベデワ  
ほら 私 都市ガスではないから ガスはひねれば ガスつくから 鍋では

ゴハンタイデタベダ。 デ オ オニキ° リニシテタベデラ オニキ° リノホーガイチバン  
ご飯炊いて食べた。 で × おにぎりにしてたべ食べたら おにぎりのが一番

ホラ ウメッゴイレダリ チョットシテタベデ。 シテ コ  
ほら 梅っこ入れたり ちょっとして食べて そうして こう

ドーギーモッテッテモラウネト アサモニメーツグッテ クスリイレデ  
遠くに持って行ってもらうとね 朝の前に作って 薬入れて

コンド ホガノヒトサ ハマサモデッテ コー ホラ チョコチョコ  
今度 ほかの人に 浜に持てって こう ほら ちょこちょこ

ハイッテクルフネアルッテ。 シテー コレノオヤ チチオヤカ° モッテイッテクレデネ  
入ってくる船があるって。 そうして この人の親 父親が 持って行ってきてね。

ハマサイッテ タノムド ササ ワダッタラシインダ。 オニキ° リカ° オクスリド  
浜にいつて 頼むと // 渡ったらしいんだ。 おにぎりが お薬と

オクスリノマネゴドニー イチバーン イノジノツナギメノクスリー アノー  
お薬飲まないことには 一番 命のつなぎ目の薬 あの

トドグヨードオモッデ ヒッシンダッタ ソノアサダバ。 マ ホントニ ナーッテッテ  
届けようと思って 必死だった あの朝は。 まあほんとになあって//

バンワ ネ ネットンダガ ネネンダガ デモ アノー チツチェグ ナガナイデナー  
晩は × 寝たのか 寝ないのか でも あの 小さく 横になってね

ソゴサ コー ザコネメニシテー ネデ ホレモ チョット コー シポメデ ナグサナイデネ。  
そこに こう 雑魚寝にして 寝て ほれ もうちょっと こう すぼめて なくさないでね

デモ アブラワ モー コサ コー アノ トッドギ アッテラッタガラ ホラ  
でも 油は もう ここに こう あの とっておき あったから ほら

ツギノヒモマズ サムガッタガラナー。 マッタグ クラヤミノナガデ ホトンドマズ  
次の日もまず 寒かったからなあ。 全く 暗闇の中で ほんとにまず

マジツドイニイデ ビシットシタドゴニイダガラ キルモノドガ モーフドガ カゲアッテ  
//一緒にいて びしっとしたところにいたから 着るものとか 毛布とか 掛け合って

ソーヤッテ ザコネメニシテ ゴロゴロッテ コー タデダリヨゴダリシテネー ネダッタッテ。  
そうやって 雑魚寝して ごろごろって こう 縦になったり横になったり 寝たって。

マ ネダドモ ネネドモ ツカネド ワタシラモ アサマデ オレドーセ ネネンデモ  
まあ 寝たとも 寝ないとも つかないけれども 私たちも 朝まで 私はどうせ 寝なくても

イデラッテッタッテ。 オラドロ マ イチオー アンノー エンモデッカイバッタッシヨー  
いたって。 私たちは まあ 一応 あの //////////////////////////////////

ワタシノウチワネ。 ダカラー マー オンナジドゴニ ミンナイッショニ  
私の家はね。 だから まあ 同じところに 皆一緒に

ハナレバナレデナグ ハ オンナジヒトツノヘヤデ イチヤワスゴシマシタ。  
離れ離れではなく はあ 同じ一つの部屋で 一夜は過ごしました。



## 5.3 三沢市

### 三沢市の概要

#### 1.位置

- ・ 北緯 40 度 40.5 分 統計 141 度 22.5 分  
六ヶ所村と東北町の下に位置する。東は太平洋に隣接している。



三沢市ホームページ [http://misawa.xxxxxxxx.jp/misawa\\_city\\_summary.html](http://misawa.xxxxxxxx.jp/misawa_city_summary.html)

#### 2.交通

青い森鉄道線

三沢空港

- 三沢→・新千歳空港・羽田空港・伊丹空港・福岡空港・北九州空港・長崎空港
- ・大分空港・熊本空港・宮崎空港・鹿児島空港・石垣空港・宮古空港
- ・沖縄/那覇空港・久米島空港

(三沢空港ターミナル <http://www.misawa-airport.co.jp/>) による

#### 3.地勢

地形・地勢は、東は太平洋、西は小川原湖に接し、東西 11Km、南北 25Km の長方形。海枝 57Km の広々とした平坦地が広がり、自然に恵まれており、古くから馬産地として自然と共生した生活が営まれてきた。

( <http://www.mlit.go.jp/crd/index/case/pdf/0807misawacity.pdf#search='%E4%B8%89%E6%B2%A2%E5%B8%82%E4%B8%AD%E5%B8%82%E8%A1%97%E5%9C%B0%E6%B4%BB%E6%>による)

標高 56m (<http://uub.jp/nam/saikouten.html#idx2>)

面積 (119.97k m<sup>2</sup>)

([http://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/build/H23.8\\_misawakuikimas.pdf#search=%E4%B8%89%E6%B2%A2%E5%B8%82+%E8%A1%8C%E6%94%BF%E5%8C%BA%E7%94%BB](http://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/build/H23.8_misawakuikimas.pdf#search=%E4%B8%89%E6%B2%A2%E5%B8%82+%E8%A1%8C%E6%94%BF%E5%8C%BA%E7%94%BB))

#### 4. 戸数・人口 (2012年12月末現在)

|      |         |
|------|---------|
| 市の人口 | 42,221人 |
| 男    | 20,786人 |
| 女    | 21,435人 |

世帯数 18,828世帯数

<http://www.city.misawa.lg.jp/> 2013/01/24 閲覧

#### 5. 産業

産業構造 (22.10 国勢調査) (人、%)

| 区分          | 就業人口   | 構成比  |
|-------------|--------|------|
| 第一次産業       | 1,496  | 7.8  |
| 第二次産業       | 4,014  | 21.0 |
| 第三次産業       | 13,601 | 71.2 |
| 計 (分類不能分含む) | 19,759 |      |

三沢市特産物

ほっき井、チーズロール、バラ焼き、パイカ鍋、こうじなんばん、浜ボウフウ、ナチョス、ごぼう、にんにく、長イモ、ホッキ貝、ひらめ、イカ

青森県ハンドブック

<http://aomori-kassei.jp/wp/wp-content/uploads/data/hanndobook%20web%20keisai.pdf>

2013/01/24 閲覧

#### 6. 被災状況

##### ① 人的被害

死者 2名

軽傷 1名

##### ② 建物被害

住宅被害 被害金額 70,537千円

全壊 17棟

半壊 22棟

一部破損 40棟

非住宅被害 被害金額 78,142千円

全壊 79棟

半壊 25棟

<http://www.bousai.pref.aomori.jp/saigai/20110311jisin/higai20120309-0900.pdf> 2013/01/24 閲覧

##### ③ 被害額 (平成23年11月17日現在 三沢市総務課まとめ)

総額 78億3,511万1千円

[www.city.misawa.lg.jp/index.cfm/12.../20120328-143054.pdf](http://www.city.misawa.lg.jp/index.cfm/12.../20120328-143054.pdf)

2013/01/24 閲覧

まとめ：一戸尚子・植田昌也・成田悠人

### 三沢・農家の暮らし

話者A：女性（調査時 78 歳）

話者B：女性（調査時 72 歳）

001A：イッショケンメー コヤッテ ヌイダンダモノ (B ナー)  
一所懸命 こうやって 抜いたんだもの (B なー)

002B：イギデグタメニ ナンーノ スコ° ドモ シニヤーネモナー  
生きていくために 何の 仕事でも しなくてはならないものな

(A ナンデモ ヤッタヨナー) ウン。

(A 何でも やったよな) うん。

003A：ドガタサモ ヤッタス ンー。  
土方（建築）仕事も やったし ン。

004B：ナンデモナー ヤンニヤーナンネ ホントニ。  
何でもな やらなくてはならない 本当に。

005A：~~~~ オドゴダチ ミンナ トーキョーノホサ ハダラグニイッテ  
で 男たち 皆 東京の方に 働きにいて

(B オナコ° ドデセ カヘンデナ) コンド オナゴド ウジニイテ

(B 女たちでさ 稼いでね) 今度 女たち 家において

チカイショッテ アルッテ バイクノッテ コダ タンボサ  
機械背負って 歩いて バイクに乗って 今度 田んぼに

クスリカゲルニイグノ。  
農薬を散布しに行くの。

006B：タウエド (A イヤー) イヌー イネガリスカ コネーダモンナ。  
田植えと (A いやー) 稲 稲刈りしか 来ないんだものな。

007A：ホンニ ヨグ ヤッタモンダナ。 イマ カンカ° エレバ ホンニ  
本当によく やったもんだな。 今 考えれば 本当に

ダスケ コウナッタエガ {笑}

だから こうなった[年をとって体が悪くなったというニュアンス] {笑}

(B イマダラ キケバリデヤスケナー)

(B 今だったら 機械だけでやるからな)

008B：ムガスー フトイノガネバ ヤラエネガッタッ ー (A ンー)  
昔 人が動かないと できなかつた (A ンー)

- 009A : ナンデーモ テー バッカシヤッタダモノ。  
何でも 手 だけでやったんだもの。
- 010A : イマノヒトンド ンデモ ラグダヨナ キカイデバリヤルンダモノ  
今の人たち それでも 楽だよな 機械ばかりでやるんだもの
- (B ラグダベ キカイダダモノ)  
(B 楽でしょ 機械なんだから)
- 011B : ナニヤルツタッテ (A ン) キカイベダツケナー。  
何をやるといっても (A ん) 機械でしょうからね。
- 012B : ナニヤルツテモ ダイゴンホリ イチバン ユルグネーナ  
何をやるといっても 大根掘りが 一番 大変だな
- 013A : ダイゴンワ ユルグネベ (B ダイコン)  
大根は 大変でしょう (B 大根)
- 014B : デモ アレデモホラ クカイデヤルスケナ コドサ ナーンニノ  
でも あれでもほら 機械でやるからな // // //
- 015A : キカイデ コームクセガ。  
機械で こう掘り返してか。
- 016B : キカイデ ムクテ コー  
機械で 掘り返して こう
- 017A : ー。ヒダラ  
// // //
- 018B : ハツパ (A ヒダラ) キラサツテナ (A ウン)  
葉っぱ (A ///) 切れてね (A うん)
- 019A : ダラシ ラグダベ。  
大変 楽でしょ。
- 020B : ン デ アノウシロサ コッタ ミニコンサ  
ん で あの後ろに こんな // //
- コーイレルノ (A ウンウン) ダスケナ ラグダデー。  
こう入れるの (A うんうん) だからな 楽だよ。
- 021A : ン  
ん 大変 楽だ。
- 022B : サンジガ サンジハンデバ オギデグベ  
[午前]三時か 三時半になれば 起きていくでしょ

023A : イヤー マー  
いやー 真[暗い]

024B : キョネンダッダケ タ (A クレーヨ) テデヤッテツギナ  
去年だったかな 田んぼ (A 暗いよ) 手でやった時な

コドス エデモ ヨンジ。  
今年は それでも [午前]四時。

025A : ヨンジッテモ クライ (B ヨンジッテモ マックレ)  
四時でも 暗い (B 四時でも 真っ暗)

026A : クライワ (B イナ) コネダ ヨンジニ デダッケ マックレガッタモン。  
暗いわ (B ねえ) この間 [午前]四時に 出たら 真っ暗だったもの。

027A : ゴジコ° ロナバナー アシャシャプタ  
[午前]五時頃だったらな //////////////

028B : アカ° ッテクンデー マッカニ  
上がって来るんだ 真っ赤に

029AB : {笑}  
{笑}

030B : キレンダゴドー  
綺麗なこと

031A : {笑} コーヤッデ オカ° ミタグナル (B ホンニナー)  
{笑} こうやって 拝みたくなる (B ほんとになあ)  
(※「オガミ」の「ガ」は鼻濁音では?)

032B : マッ オッキグ アカ° ッテクル ゴンジゴロッテバ ハ (A ウンー)  
真 大きく 上がってくる [午前]五時頃になれば はあ (A うん)

033A : イマモー ハー ゼンーゼン ナンーニモヤレナイ  
今はもう はあ 全然 なんにもやれない

033B : クッテグタメニ ナッタラコドモ シニャーネーデー  
食べていくために どんなことでも しなくてはならないんだ

034A : マダ コノヒトドバ ワガイガラ ホラ ナンーデモ マダヤッテルノ。  
まだ この人たちは 若いから ほら 何でも まだ[仕事]やってるの。

(B ワゲータッテ)  
(B 若いといっても[もう若くない])

035B : ハー デモー ナナジュースギダモノネー ハン イジニネングデー。  
はあ でも 七十歳過ぎたものね はあ 一、二年ぐらいだよ[仕事ができるのも]

バッチャ (A デモカ) ライネンモ  
おばあちゃん (A でも稼げる) 来年もっていう。

036A : デモカヘゲル  
でも稼げる

037B : ナーニニ ハー  
いやいや[そんなことはありません] はあ

038B : シニグリデカヘンデ {笑} シニグリデカヘンダー。  
死に物狂いで稼いで {笑} 死に物狂いで稼いだ。

039A : ホラ コノジーチャン イヤ バーバンダ (写真を指して)  
ほら このじいちゃん いや ばあちゃんだ

ナーニヤッタラデー オモッデ ミデラゴッタ。 {笑}  
何をやってるのかと 思って 見てるよ {笑}

040B : ンダデー (B 笑) ミデランデ アラー  
そうだね (B 笑) 見てるよ あら

ヤー コレ イズトッタ シャスンヨ  
やあ これ いつ撮った 写真よ

ハチジュデー トッタンダー  
八十歳で 撮ったんだ

041A : ハチジュッサイデ トッタノ  
八十歳で 撮ったの

042B : ハーイ ンー ンー ヤイアンバダゴト  
はあ うん ン やあ いい塩梅なこと

043B : オドゴブリースト ダンダスケナー  
男ぶりがいい人 なんだからね

キレイニトラサッテラ オラホノヤヅ  
綺麗に撮れているね 私の方の奴[私の旦那]

(A ンダスケ) シャシントッタゴダネーダスケ ダーッツモ ワガンネ  
(A そうだから) 写真撮ったことないから 全然 駄目だ

044A : レ ハチジュッサイデ トッタノ。  
これ 八十歳で 撮ったの。

シレーキ ヒヤクショサキテトッテケタノ。(B イマナ)  
市で 市役所に来て撮ってくれたの (B 今な)

045B : ハチジュッサイデバ トッ トッテケンダモノ。  
八十歳になれば × 撮ってくれるんだもの。

046A : ナンモ ハ ハナスモ ネグナッタナ。{笑}  
何も はあ 話すことも なくなったな。{笑}

047B : ハブシナ サベッタッペヤー。(A 笑)  
はあ みんな[全部] しゃべったでしょ。(A 笑)

048B : ナー {笑}  
なあ {笑}

049B : ハ ミンナ サベッタ ナニサベッタダガスラネーヤ オラー。  
はあ みんな[全部] しゃべった 何をしゃべったかわからないよ 私は。

050A : オラホモ。 {笑}  
私もそうだ。

### 三沢・挨拶

話者A：女性（調査時 78 歳）

話者B：女性（調査時 35 歳）

001 調査者：オトモダチニ アッタトキ ナンテ アイサツ シマスカ？  
お友達に あったとき なんて 挨拶 しますか？

002A : オハヨウゴザイマス ッテ  
おはようございます って。

003 調査者：ヒル オトモダチガ イエノマエヲ トオッタトキトカワ ナンテ アイサツ  
昼、お友達が 家の前を 通ったときとかは なんて 挨拶

シマスカ？  
しますか？

004A : ヒルワ コウ…アッタトキハ、ワー シバラクダネー ッテ  
昼は、こう 会った時は わー、しばらくだね って

ナニ ヤッデ キタノー ッテ。 ハッハッハ。  
何 やって 来たの って。ははは。

シバラグ イデ ヤンネガッタナー ッテ。 ハッハッハ。  
しばらく 居て やらなかったね って。ははは。

005 調査者：タトエバ ワーシバラグダネー ッテ イワレタラ ナンテ カエシマスカ？  
例えば ワーシバラグダネー って 言われたら なんて 返しますか？

006A : ワーシバラグダネー ッテ コッチモイイカエスノ。  
わー、しばらくだねー って、こっちも言い返すの。

イママデ ナニヤッデハッタノー？ ッテ ハッハッハ  
いままで、何やってたの って。ははは。

007 調査者：ユウガタ ダッターラ？  
夕方 だったら？

008A : ユウガタハ…ベツニ…ベツニ  
夕方は、別に、別に、

ユウガタハ…イヤ、イエニ キタリナンカ スレバネ、ホラ、ネ。  
夕方は、 いや 家に 来たり何か すればね、ほら、ね。

コンバンワ トカ。 オバンデゴザイマス トハイウンダヨ  
こんばんは とか おぼんでございます とはいうんだよ、



ココノヒトワネ。コノヘンノヒトワネ。  
この人はね。 この辺の人はね。

009 調査者：オバンデゴザイマス？  
おばんでございます？

010A : オバンデゴザイマス ッテ  
おばんでございます ッテ。

011 調査者：オバンデゴザイマス ッテ イワレタラ ナンテ ヘンジ スルンデスカ？  
オバンデゴザイマス ッテ 言われたら なんて 返事 するんですか？

012A : ハ〜イ ッテ イッテデテイグノ。 ハッハッハ  
は〜い て、いって出ていくの。ははは。

013 調査者：ソノアトワ ドンナフウニ ナリマスカ？  
そのあとは どんな風に なりますか？

014A : ソノアト…ソノアト？  
その後、その後？

ソノアトワナ〜…マアイロイロ、ナンカ コウ…オハナシ…  
その後はなー、 まあいろいろ、何か、 こう、お話

015 調査者： ハ〜イ ッテ デテイッテ カオヲ アワセタトキ  
は〜い ッテ 出て行って 顔を 合わせたとき

オバンデゴザイマス ッテ イイマスカ？  
オバンデゴザイマス ッテ 言いますか？

016A : ハイ  
はい。

017 調査者：グアイガ ワルイヒトノ ヨウスヲ ミニイクトキ ドノヨウニ  
具合が 悪い人の 様子を 見に行くとき どのように

イキマスカ？  
いきますか？

018A : グアイ ワルクテ ネットルンダッテ？ ッテ  
具合 悪くて 寝てるんだって？ ッテ

ドウシデダ？ ッテ イグヨウニ  
どうしてた？ ッテ、行くように

019 調査者：ソノヒトノ オウチニ ハイルトキハ？  
その人の お家に 入るときは？

020A : ハイルトキ、 ゴメンクダサ〜イ ッテ ハイル ハイリマス  
入るとき ごめんください っ、 入る、 入ります。

021 調査者 : ソノアトワ？  
その後は？

022A : ドウシテマスカ〜？ ッテ  
どうしてですか っ。

023 調査者 : ドウシテマスカ〜？ デスカ？  
どうしてですか〜？ ですか？

024A : ア、 ドウシテラ〜？ ッテ イウ。  
あ、 どうしてら〜？ っ、 いう。

ドウシテラ〜？アベッコ ヨグナッダガ〜？ ッテ ハッハッハ  
どうしてら〜？具合 よくなったか？ っ。ハッハッハ

025 調査者 : ゴメンクダサイ ヲ イタカ〜？ トカ イダガ〜？ ッテ イウ  
ごめんください を イタカ〜？ とか イダガ〜？ っ、 言う

イイカタワ アリマスカ？  
言い方は ありますか？

026A : ハイハイハイ、アリマス。 イルガ〜？ ッテ クルヨウニ ハッハッハ  
はいはい。 あります。 居るか〜？ っ、 来るように、ははは。

027B : イダヨー トカ イダドー トカ ワタシワ イワナイデスケド  
居たよ〜 とか 居たぜ とか、 私は いわないですけど。

029 調査者 : イタトー ？  
いたと〜 ？

030B : イダ イルカ〜 ッテ イワネ？  
居た 居るか っ、 いわない？

イダド〜 ッテ オトコノヒトガ ヨクイウ  
居たぜ っ、 男の人が よくいう。

イダドカー イマスカー？  
？ 居ますか〜？

031 調査者 : ッテイウノガ？  
っ、 っていうのが？

032B : イトコトカ ナカガヨイ カンジノ ヒトタチガ  
いとことか、 仲がよい 感じの 人たちが。

- 033 調査者：オトコノヒトダト ソウイウ フウニ？  
男の人だと そういう ふうに？
- 034B : ウン。ヨク カッテグチカラ ホンケノ オジイチャントカガ  
うん。 よく 勝手口から 本家の おじちゃんとかが  
  
イダドー ッテ ヨク  
居たぜ って よく。
- 035 調査者：カッテグチニ ハイレルクライ シタシイヒト ダッタラ？  
勝手口に 入れるくらい 親しい人 だったら？  
  
ゲンカン ジャナクテ？  
玄関 じゃなくて？
- 036B : ハイッテ クルコトモ アリマスネ  
入って くることも ありますね。
- 037 調査者：××サンワ イダドー ッテイウノワ イイマスカ？  
××さんは イダドー っっていうのは 言いますか？
- 038A : ウン。 イウカモシレナイ  
うん。 いうかもしれない。
- 039 調査者：ホントーニ ナカイイヒト ダッタラ？  
本当に 仲いいひと だったら？
- 040A : ウン  
うん。
- 041 調査者：ワカリマシタ。アリガトウゴザイマス。  
わかりました。ありがとうございます。

### 三沢・友人との会話

話し手

話者A：女性（調査時 75 歳）

話者B：女性（調査時 72 歳）

- 001 調査者：ヒサシブリニコー オウチノソトデアッタ アイサツノシカタ。  
久しぶりにお家の外であった、挨拶の仕方を。
- 002A : コノゴロイツツモ アッテルスケ。  
このごろはいつも 会ってるな。
- 003B : ハ コノゴロンナア アッテンダヨ。  
このごろは 会ってるね。
- 004 調査者：イツデモイイデス。ヨクシタシクアウヒトノオハナシデモイーノデ。  
いつでもいいです。よく親しく会う人のお話でもいいので。
- 005B : イヤイヤイヤ。  
いやいやいや。
- 006A : ヤー イマナーニヤッテラッケーッテユー ユードヨ コノヌギドギ  
いやー 今何やってるのかって 言う。 この暑いときに  
  
ナーニヤッテラッキヤッテ。  
何やってるのって。
- 007B : ワタシ ホラ ダイゴンドガナンドガッテ ヤネッテスケナ ヤッタルス.....  
私 ほら 大根とかいろいろ あげるっていうかね あげたとか。
- 008A : ダイゴンアラルニイッテキタッデ コツツガユーノ  
大根を洗いに行ってきたって こっちが言うの  
  
コノアツツイノニッテ{笑}  
こんなに暑いのにって{笑}
- 009B : ナス コネンダ ナスモラッテッテキタ ナスモッテッテケ。 ナス  
なすをこの間 なすをもらってきた なす持っていきなさい。なす  
モラッテナ ..... ヤギナススタルナ .....クッタノアレ。  
もらってたな 焼きナスしたな 食べたのあれ
- 010A : オイシイヨナ アノナガーイナスノ。  
おいしいよね あの長いなす。
- 011B : デモナ ワガイノンドカンネーノ。  
でも 若い人たちは食べないの。

- 012A : ターベネ タベネ\_\_\_\_\_ オメ イッポン オ キーノ\_\_\_\_\_ イッポン  
 食べない 食べない あんた、一本 大きいなすを
- イッポン トツテクレバ モー タクサンダ。  
 一本 とってくれば もう 十分だ。
- 013B : アレー コンナニナゲガベー ンダスケ。  
 あれ こんなに長いでしょう だから
- 014A : デモ アレ オイシーヨ ヤワラカクテ イッパイナツテラヨ マダ。  
 でも あれ おいしいよ やわらくて。 まだ、いっぱいなってるよ。
- ウン トツテテ タベデ。  
 とって行って 食べて。
- 015B : ハイ。 モラッテイギマス。  
 はい。 もらっていきます。
- 016A : コーヤッデ シャベツテレバイーンダベ。  
 こうやって 話せばいいのでしょ。
- 017 調査者 : ハイ。  
 はい。
- 018AB : {笑}  
 {笑}
- 019B : ンダモンナ、ダイコンモラッテキタスケ ダイゴンアルガッタツケ  
 でも 大根もらってきたから 「大根あるのか？」って言ったら
- ネエツテ。 イッポンケデクジェツテ ヨゲキネツテ。  
 「ない」って。 一本あげるよ \_\_\_\_\_ (?)
- 020AB : {笑}
- 021A : ミンナ ホラ アルノオ ケダリモラッダリ アリアルガコリアルガッテ  
 みんな ほら あるのを あげたりもらったり あれあるかこれあるかって
- テモラッテタバタリ アゲダリシテルンダ。  
 もらったり食べたり あげたりしている。
- 022B : ミッタニ ッタニ ハナス スノーテナー。セゲンバナスモ、  
 めったに 話をしなくてな。 世間話も、
- スラネベガスヨー ナンーモ スラン。  
 知らなくて、 なんも 知らん。

- 023A : ナンモ セゲンバナスマスラナイノ。ドコニモ デ デナイガラ。  
なんも 世間話も知らないの。 どこにも、出て歩かないから。
- 024B : ドッゴサモ デデガネンダモンノー。スラネンダオ。  
どこにも 出ていけないから、知らないの。
- 025A : ロージクラブノヒトドダバ ホラ ヒョッチュー デデアルッテ、ナンデモ  
老人クラブの人とは しょっちゅう 出て歩いて、なんでも  
シッ オボエデルケド モー ドゴイモ デナイガラ ナーンモ ワガンネ。  
覚えてるけど もう どこも 出ないから なんも わかんね。
- 026 調査者 : ムカシ コノアタリデスト オアマツリトカワ アッタンデスカ ジモトニ。  
昔 このあたりですと、お祭りはあったんですか 地元。
- 027A : ジモトワナイネ。 ミサワ マチサイカネバ。  
地元はないね。 三沢まで町までいかないと。
- 028 調査者 : フーン。 コドモノコロ ミサワニイッタリトカ。  
ふん。子どもの頃、三沢に行くことはありましたか。
- 029A : ウン。ソーソーソー。  
うん。そうそうそう。
- 030 調査者 : ドーヤッテイッタカトユーハナシオ チョット フタリデシテモラッテモイー  
デスカ。  
どうやって行ったのかというのを ちょっと 二人で話してもらってもいい  
ですか。
- 031B : ネ。  
ね。
- 032A : アー、ムガストヤステ イッテ オオムガスワ モー バスガ  
あー、昔どうやって 行って・・・ 結構前は もう バスが  
デデカラダヨナ。 オマジリニネアルイタノワ。  
出てからだね。 お祭りに歩いたのわ。
- 033B : メッタニ、 オマズリサ イガネエベヤー。  
めったに、 お祭りには 行かない。
- 034AB : イマワモーイカナイナー。  
今はもう、行かないなあ。
- 035B : イカネエ。 マズリ バアチャン マズリ ミヌエイグガー。  
行かない。 「ばあちゃん、祭り、見に行くか。

ヒーデグエーッテイッタ。ダッ タラ ヌグイツグ。(?) オラダッケ  
乗せてくよ。」って言った。\_\_\_\_\_ 「私は

イガネーッテイッテバイガネ。  
行かないってば、行かない。」っていう。

036A : イマモー ツカレデダメダノ。ナンーモ ハン ミッタグネ。  
今はもう 疲れて駄目だ。 なんも 見たくない。

037B : ツカレル ツカネ \_\_\_\_\_ アツツ \_\_\_\_\_  
疲れる 疲れる 暑いから。

038A : アツツガベス ホレ。  
暑いから ほれ。

039B : アルッテゲネノー。  
歩いて行けないね。

040A : ホッカイドーサ イッテモ モー ナンカ コーキテ ミデモモ ツカレデ  
北海道に 行っても もう なんか こう来て 見てても 疲れる

ツカレデ サイゴマデミダツガネ。 ドービスアフッテハットー (?)  
疲れて 最後まで見た気がしない。 \_\_\_\_\_

041B : ダッテ タオ タオレルッテ コノヌグイ。  
だって、 倒れてしまうって この暑いときに。

042A : ダガラ ハット コサ モハ ダメダ エッコ イチバンイーッテ。  
(?)

043 調査者 : コドモノコロワ ドンナアソビオシマシタカ。  
子どものころは どんな遊びをしましたか。

044A : イヤー。  
いやー。

045B : アソビッタテ ナンモネーベナ。  
遊びといっても 何もないね。

046A : コノヒノアソビタッタッテ カグレンボシタリ  
子どものときの遊びといっても、かくれんぼしたり

カグレンボドオニゴツコド イッショガ。 イヤ イッショデネーナ。 {笑}  
かくれんぼと鬼ごっここと・・・一緒か? いや、一緒ではないか。 {笑}

047B : ワラシサ イッショデニーンダ \_\_\_\_\_ ナー。  
童は 一緒ではないんだ。 そうだよな。

- 048A : イッショデネンダモノ。  
一緒じゃねんだもの。
- 049B : オラ アツターニイデ ガッコーオワッタツグダバナ  
私は 暑い日に 学校が終わってすぐなら  
  
エーガミニイッタツキャ ナー。  
映画を観に行ったな。
- 050A : アーアー。エーガモミニイッタケド (B アッタベ)  
あー。 映画も観に行ったけど (B あったベ)
- 051B : ダガラナ オランドワ ホラ カヒンディルバー キンツァイ  
だから 私たちは ほら \_\_\_\_\_  
  
ツグイガイネアベー。  
\_\_\_\_\_
- 052A : ウンウンウンウン。  
うんうんうんうん。
- 053B : ヒルメニアメフレルバ ハレルジノディガネノ。  
昼間に雨降れば、 晴れ (?)
- 054A : ウン。  
うん。
- 055B : ゴゴカラノアメ ハレネーツテユッタ ゴゴカラアメフルバナ  
午後から雨が、晴れないって言った。 午後から雨降れば  
  
エガミニイクノー ヒデモナー ミデラ ソラ ネーノナ。  
映画観に行くの。 それでもな (?)
- 056A : ハレンダガ ハデンダガ ドッ \_\_\_\_\_  
晴れるのか、晴れないのか って。
- 057B : ハレンダガッテ チョッコ ソドミデナ ホンノホンノ ホンダッタンダ  
晴れるのかって ちょっと 外を見て、 \_\_\_\_\_  
  
オラントアー。  
\_\_\_\_\_。
- 058A : タダ タダ タダ タダナ。  
ただ ただ ただ ただな。
- 059B : タンダ タンダ カシェガネバナイノ  
ただ ただ 稼がなければならぬの



- 060A : ガッコサモ イカネーデ ハタライダンドモン。  
学校にも 行かないで 働いたたんだもん。
- 061B : フフフフ。  
ふふふふ。
- 062A : \_\_\_\_\_ イマダラナ ミンナ ガッコサ イグンダ。  
今だと みんな 学校に 行くんだな。
- 063B : エーガミニイグ \_\_\_\_\_  
映画観に行く・・・。
- 064A : ダガラ ナマエモ カゲナイノ。  
だから、名前も 書けないの。
- 065B : ヨーヤグ ケデナ。  
ようやく 書いてな
- 066AB : {笑}。  
{笑}
- 067B : イマダッキャ オットナ トシ ナンボダッケッテモ。  
今だと // // 年 何才だったっけ。
- 068A : シー ダメダネ。  
うーん。だめだね。
- 069B : ポーットニ (B ウン) デデコネ。  
すぐに (B うん) 出てこない。(?)
- 070A : ナンネンマデ ダッテ イエバ。  
何年生まれだって、 言えば。
- 071B : ホイダバ インダヨ。  
そうだったら、いいんだよ。
- 072A : シヤント シヤベラサルンダ \_\_\_\_\_  
ちゃんと 話さないと。
- 073B : \_\_\_\_\_ ガッピダバナ シヤベラサルツタッテナ ハ トスッテイエバ (B トスハ)  
話さないと言ったって 年っていえば (B 年は)
- アレア ナンボダッタツケ。(B アレー)  
あれ いくらだっけ。(B あれー)
- 074A : イヤ ホラ キノーノ キノ オットイノガ。ケローカイ。  
いや ほら 昨日の おとといの。 敬老会。

- 075B : オーオー オベントー モライタイ。  
 おーおー お弁当 もらいに。
- 076A : ケローカイハ アーノ アラー ソグリヤノ アノー ×××××ド  
 敬老会は あの あら そぐりやの あのー ×××××さんと  
 ハチジッサイ イガ ヒタ。  
 80歳 いた
- 077B : ワカンネーヨ オラー。  
 わかんないよ わたし。
- 078A : ツイデラヨ シタッテ ハチジッサイサ。  
 ついてたよ。そうして 80歳に。
- 079B : アー アレサ ツイデヤンダワイ。  
 あー あれに ついているんだ。
- 080A : ダッテアノヒト ナナネンマデ ヤッテグッテユッタダヨナ。  
 だってあの人 7年生まれだって 言っていたんだよ。
- 081A : ヘバ ラインダトオモッテ イダッタダヨ ワ。  
 なら 来年だと思っていたんだよー、私は。
- 082B : ナンガツ ウマエダダベナ。  
 何月に 生まれなんだろうね。
- 083A : イヤー。  
 いやー。
- 084B : アノフト ツタイ ナン ナルンダベナ  
 あの人 一体 何(歳)になるんだろうね  
 ナンネンモアッテカラクタンデア アノフタナ。  
 何年もあってから来たんだよ あの人は。
- 085A : イヤ ホンダゴッタヨ ヒトワ。 (B ホンダヨ) ウンウン。  
 いや 本当にそうだよ 人は (B そうだよ) うんうん
- 086B : オラモハ ゴンジュン ゴンジュンナンニン ダガヤ。  
 私も 50 50何年 とかだよ。
- 087A : アーアーアーアー タイナル。  
 あーあーあーあー たいへんだ。
- 088B : ダハンテー (B ウンウン) アレ アノ イマノ ソレゴソ コーゴーサマ  
 だからね、(B うんうん) あの 今のそれこそ、皇后様

コーゴーサマ ダンダガノ (B ウンウンウンウンウン) オナジ トシダモ。  
皇后様、 だっけかな (B うんうんうんうんうん) 同じ 年なの。

(B エー) アノフト (B シー) アノフト トーガダッタベ。  
(B えー) あの人 (B んー) あの人 十日だったでしょ。

089A : ウン。  
うん。

090B : ワ イツカ。  
私、五日。

091A : {笑} ハーアー。  
{笑}ハーアー。

092B : ×××ノ ×××ワ ホノ ××ワ ババ アレナッタッタ アレー。  
×××の ××は あの ××は お婆さん あれいたよね あれ

アノババ ナンタッタッテ ナメー。 {笑} (A イヤー)  
あのばば なんていう 名前だったっけ。 {笑} (A いやー)

093A : ドワスレスシカナ ビュート サベルトネーナ (B : サベラサル)  
ど忘れした、 ずっと しゃべっているから。 (B しゃべらさる)

094B : リハビリサ イッテズーモンナ。  
リハビリに 行っているものね

095A : ダレヨ。  
誰。

096B : ××××ヨ。  
××××よ。

097A : ×××ノ。  
×××の。

098B : ×××ノ ババヨ。  
×××の 婆だよ。

099A : ××× ババガ。  
×××の婆か。

100B : ウン イヤイ イググジセツテネアツピヤー。  
うん、いやー 息切れするって言うでしょ。

101A : アー アノ。  
あーあの。

- 102B : イッシュカンニ ナカ \_\_\_\_\_。(B ウンウンウン)  
一週間に なんか (B うんうんうん)
- 103A : ダイ デイ サービスサ。  
 デイサービスに。
- 104B : デイサービス サ。  
 デイサービス さ。
- 105A : ウンウンウン。  
 うんうんうん。
- 106A : コエッテ オランドイ シャベラヘダノミンナ コイサ アエダベ。  
 これって、私たちが話しているのをみんな これに あれでしょ。  
  
(B \_\_\_\_\_)
- 107B : ホイッテ コダ アドガラ ヤベーヤ。  
 なら、これは後からやばいな。
- 108C : アドガラキーデ マダカイデ アリガトーゴザイマス。  
 後から聞いて、 またかいて、ありがとうございます。
- 109A : {笑}  
 {笑}
- 110C : タスカリマシタ。  
 助かりました。

## 5.4 おいらせ町

### おいらせ町の概要

#### 1. 位置



北緯 40 度 35 分 57.1 秒 東経 141 度 23 分 52.1 秒

(緯経は、おいらせ町まちなか情報センター)

参考 URL (<http://watchizu.gsi.go.jp/index.html>) (2013/01/24 閲覧)

三沢市と八戸市の間。三沢市、六戸町、五戸町、八戸市に隣接。  
行政区画面積については、「青森県市町村ハンドブック」を参照した。

「青森県市町村ハンドブック」によれば

行政区画面積 (平成 23 年 10 月 1 日現在) 71.88 平方キロメートル

URL(<http://aomori-kassei.jp/handbook/>)

#### 2. 交通

自動車による移動の場合、

三沢空港から：20 分

青い森鉄道三沢駅から：15 分

JR 八戸駅から：25 分

八戸 JCT (ジャンクション) から

※下田百石 IC～八戸 JCT 間 18.4km : 20 分

(<http://www.town.oirase.aomori.jp/oirase/item.asp?g=2&c=108&i=10036>) (2013/01/24 閲覧)

### 3. 地勢

#### (1) 地勢

本地域は青森県の東南部に位置し、県都・青森市から 80～90km 圏に。また、本地域の北には三沢市、西には六戸町、南には八戸市と五戸町が隣接している。本地域は西から東の太平洋に向かって傾斜した台地からなり、その台地の南に十和田湖を源流とする奥入瀬川が流れ、太平洋に注いでいる。

#### (2) 気候

本地域の気候は、夏には偏東風（ヤマセ）と呼ばれる太平洋からの冷たい風が吹き、冬には気温は低いものの降雪量は少なく、青森県内でも最も雪が少ない地域となっています。

昭和 46 年から平成 12 年までの実績を見ると、本地域の南に隣接する八戸市の月平均気温は年平均で 10.0 度と札幌市の 8.5 度よりわずかに高い状況です。日照時間は通年で東京・福岡より長く、降水量は東京・福岡より少なくなっています。

おいらせ町ホームページ「おいらせ町の紹介」（2013/1/24 閲覧）より引用  
(<http://www.town.oirase.aomori.jp/oirase/item.asp?g=2&c=104&i=10027> )

### 4. 人口

世帯数 9522、人口 25,073 人、平成二十三年三月末（住基）

「青森県市町村ハンドブック」 <http://aomori-kassei.jp/handbook/> (2013/01/24 閲覧)

### 5. 産業

産業構造（平成 22 年 10 月国勢調査）（人、％）

| 区分         | 就業人口   | 構成比  |
|------------|--------|------|
| 第一次産業      | 1,208  | 10.4 |
| 第二次産業      | 3,435  | 29.5 |
| 第三次産業      | 7,008  | 60.1 |
| 計(分類不能分含む) | 11,838 |      |

「青森県市町村ハンドブック」(<http://aomori-kassei.jp/handbook/>) (2013/01/24 閲覧)

### 6. 被災状況

「おいらせ町被災状況資料」（2013/01/24 閲覧）から引用

([http://www.town.oirase.aomori.jp/files/c11519\\_3537187034.pdf#search='%E3%81%8A%E3%81%84%E3%82%89%E3%81%9B%E7%94%BA+%E8%A2%AB%E7%81%BD%E7%8A%B6%E6%B3%81](http://www.town.oirase.aomori.jp/files/c11519_3537187034.pdf#search='%E3%81%8A%E3%81%84%E3%82%89%E3%81%9B%E7%94%BA+%E8%A2%AB%E7%81%BD%E7%8A%B6%E6%B3%81))

- ① 発生日時：3月11日（金）14時46分頃
- ② 震源及び規模：三陸沖（北緯38.1度、東経142.9度、牡鹿半島の東南東130km付近）深さ 約24km、マグニチュード9.0（推定値）
- ③ おいらせ町の最大震度：震度5強

#### ① 津波の状況

第1波 15時22分 - 0.8m

最大波 16時57分 4. 2m以上

② 津波の高さ

八戸 6. 2m (気象庁の推定)

百石漁港 7. 2m (八戸工業大学 佐々木教授の調査結果)

深沢 8. 8m (〃)

被害状況

① 人的被害 重傷者1名、軽傷者2名

② 住家・非住家被害

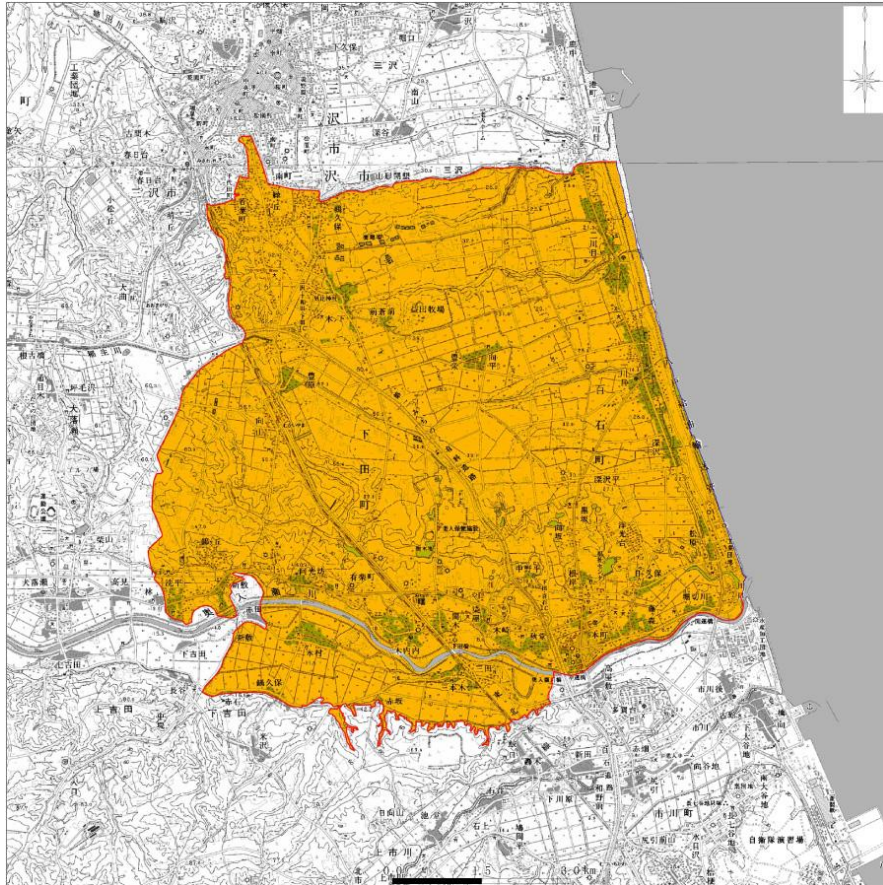
| 区分  | り災程度  | 一川目 | 二川目 | 川口 | 堀切川 | 明神下 | 深沢 | その他 | 計   |
|-----|-------|-----|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|
| 住家  | 全壊    | 6   | 4   | 16 |     |     |    |     | 26  |
|     | 大規模半壊 | 2   | 7   | 5  | 1   |     |    |     | 15  |
|     | 半壊    | 13  | 10  | 12 | 2   |     |    |     | 37  |
|     | 一部損壊  | 10  | 3   | 5  | 24  |     |    | 32  | 74  |
|     | 計     | 31  | 24  | 38 | 27  | 0   | 0  | 32  | 152 |
| 非住家 | 全壊    | 26  | 21  | 32 | 4   |     |    |     | 83  |
|     | 半壊    | 8   | 1   | 1  | 1   |     |    |     | 11  |
|     | 床上浸水  | 16  | 11  | 4  | 8   | 1   | 1  |     | 41  |
|     | 床下浸水  | 2   | 4   | 4  | 3   | 3   |    |     | 16  |
|     | 一部損壊  | 1   | 1   | 0  | 1   |     |    |     | 3   |
|     | 計     | 53  | 38  | 41 | 17  | 4   | 1  | 0   | 154 |

(単位：千円)

| 項目       | 被害額       |
|----------|-----------|
| 住家       | 200,410   |
| 非住家      | 29,899    |
| 農地・農業用施設 | 116,320   |
| 漁業関連     | 457,944   |
| 畜産関連     | 165,921   |
| 商工業関連    | 845,225   |
| 公共下水道    | 38,452    |
| 農業集落排水   | 6,240     |
| 観光施設     | 3,400     |
| 道路       | 33,558    |
| 公園       | 9,600     |
| 消防防災施設   | 2,700     |
| 学校施設     | 3,915     |
| 合計       | 1,913,584 |

「おいらせ町被災状況資料」URL

( [http://www.town.oirase.aomori.jp/files/c11519\\_3537187034.pdf#search='%E3%81%8A%E3%81%84%E3%82%89%E3%81%9B%E7%94%BA+%E8%A2%AB%E7%81%BD%E7%8A%B6%E6%B3%81](http://www.town.oirase.aomori.jp/files/c11519_3537187034.pdf#search='%E3%81%8A%E3%81%84%E3%82%89%E3%81%9B%E7%94%BA+%E8%A2%AB%E7%81%BD%E7%8A%B6%E6%B3%81) )



<http://www.chiseki.go.jp/map/shichouson.php?s2=%90%C2%90X&s3=%82%A8%82%A2%82%E7%82%B9%92%AC> (国土交通省 地籍調査 Web サイト「おいらせ町 (2013/01/24 閲覧)」)

浸水地域の地図 (PDFファイル)

<http://www.stat.go.jp/info/shinsai/pdf/sinsui02.pdf#search='%E9%9D%92%E6%A3%AE%E7%9C%8C+%E6%B5%B8%E6%B0%B4%E5%9C%B0%E5%9F%9F+%E7%B7%8F%E5%8B%99%E7%9C%81%E7%B5%B1%E8%A8%88%E5%B1%80'>

まとめ：佐藤匠



## おいらせ・方言意識

話し手

話者 A：男性（調査時 75 歳）

話者 B：男性（調査時 76 歳）

話者 C：男性（調査時 55 歳）

001T：アノ タトエバイマ  
あの 例えば今

ジモトノホーゲンッテイウモノガデスネ コノシンサイガ アッタカラ サッキ  
地元の方言っていうものですね この震災が あったから さっき

アノ チョット カソニナリツツアルトカッテイウフーニ イッテルンデスケド、  
あの ちょっと 過疎になりつつあるとかっていう風に 言っているんですけど、

ソーイウコトガ ゲーインデ ソノホーゲンガ ナクナッテイクッテイウコトガ  
そういうことが 原因で その方言が なくなっていくっていうことが

ナルベク ナイヨーニショートイウコトデ ソノホーゲンオ ホゾンスルトカ  
なるべく ないようにしようということで その方言を 保存するとか

ケイショーシテイクトカッテイウコトオ コー トリクミオ シエンシタイト  
継承していくとかっていうことを こう 取り組みを 支援したいと

イウフーニ ブンカチャーワ カンガエテルンデスケドモ ソーイウ ナンカ  
いう風に 文化庁は 考えているんですけども そういう なんか

ソノ クニノカンガエトカ ブンカチャーノカンガエトカ ワタシナドガ  
その 国の考えとか 文化庁の考えとか 私などが

コーシテ トリクムトイウコトニツイテワ コー ナンカコー ドンナフーニ  
こうして 取り組むということについては こう なんかこう どんな風に

オカンジニナリマスカ。  
お感じになりますか。

ドンドンヤレトカ ナンカイロンナ ゴイケンガアルト オモウンデスケド。  
どんどんやれとか なんかいろんな ご意見があると 思うんですけど。

002C：ワダシデギニワ シンサイダカラ ヒツヨーダトガ ナントカッテイウヨリワ  
私的には 震災だから 必要だとか なんとかっていうよりは  
ソレワモー ヘイジョーノ カンガエガタノナカデ ホゾントイウノワ  
それはもう 平常の 考え方の中で 保存というのは

アルベキダトオモイマス。 シンサイデ エー ホーゲンガ ジャマニナッデ  
あるべきだと思います。 震災で えー 方言が 邪魔になって

フッコーガ ススマナイトカッテイウ カンガエガタワ マッタク ベツダト  
復興が 進まないとかっていう 考え方は まったく 別だと

オモイマス。 ソレゴソ ミナサンイッダヨーニ ガクジュツケンキュートイウ  
思います。 それこそ みなさん言ったように 学術研究という

ブブンデ ヒツヨーセイワ ワダシモ アッタ アルベキダド オモウシ、  
部分で 必要性は 私も あった あるべきだと 思うし、

ノゴスコトバモ アルベキダナト トイウオモイワアリマス。  
残す言葉も あるべきだなと という思いはあります。

003T: B サンワ ドーデスカ。  
Bさんは どうですか。

004B: ワダシワ ゴーリシュギシャダガラ ベズニ アエテ ナント ソノチイギニ  
私は 合理主義者だから 別に あえて なんと その地域に

ホーゲンオ ノゴシテイグベギダトイウ カンガエガタニワ ナラナイデス。  
方言を 残していくべきだという 考え方には ならないです。

シゼンニ キエデグガラト オモッデマス。 タダ アノー サマザマ アノー  
自然に 消えていくからと思っています。 ただ あのー 様々 あのー

ヤッパリ ノゴシ ノゴシテ コーイウコドバガ アッタダトイウヨーナ  
やっぱり × 残して こういう言葉が あったんだというような

ソーイウノワ オダガイニ コー ケイショーシテイグノガ タイセツデ  
そういうのは お互いに こう 継承していくのが 大切に

ナイガナト オモッテマス。 イヤ ホントニ オモシロイデスヨ ホーゲンワ  
ないかなと と思っています。 いや 本当に 面白いですよ 方言は

アレッコレ ウジノカガド イジバン しゃべ イマホーゲンノ  
あれっこれ うちの妻と 一番 しゃべ 今方言の

ハナシシタガラ ダライッパイ カイデイッタライガベツテ イッタッタケドモ  
話したから そしたらいっぱい 書いていったらいいよって 言っていたけども

ヒツヨーガ アルンダガネンダガ ワガンネーノサ カイデッタッテ アリヤ  
必要が あるのかないのか わからないのに 書いていったって ありゃ

コーイウコドバマデ ユンベモ オモイダスタケド コーイウコドバモ  
こういう言葉まで タベも 思い出したけど こういう言葉も

オモシロガッタッキヤッテ ハナシシチャットンデスヨ イッパイ マドメデ  
面白かったよねって 話していたんですよ いっぱい まとめて

コゴラデ コノヘンデ ツカッテルコドバオデスネ ヤッデケバ  
ここら辺で この辺で 使っている言葉をですね やっていけば

オモシロイコトダヨッテ。  
面白いことだよって。

005C: マー ソレラシー シリョーッテンダガ キロク マドメデルカタモ ジッサイ  
まあ それらしい 資料っていうのか 記録 まとめている方も 実際

アルヨーデスヨ。  
あるようですよ。

006T: ソーナンデスカ。ヤー ワタシ ゴショーカイイタダキタイデス ゼヒ  
そうなんですか。やー 私 ご紹介いただきたいです ゼひ

オアイシテミタイデス。  
お会いしてみたいです。

007C: ウーン マチノ コーホータントーシャ ナンカモ サガノボレバ ソーイウ  
うーん 町の 広報担当者 なんかも さかのぼれば そういう

トクシューオ コーホーシニ ケイサイシタコドモ アリマスシ。  
特集を 広報誌に 掲載したことも ありますし。

008T: ゼヒ ミセテイタダキタイデス。  
ぜひ 見せていただきたいです。

009C: アー コレワモー シモダジダイワ ケッコー フルイジダイデ エー  
あー これはもう 下田時代は 結構 古い時代で えー

ガクムカチョーガ タンドーノドギ エー ヤッテマシタシ マタモモイシデモ  
学務課長が 担当の時 えー やってましたし また百石でも

ウジノホーノ X3 ホサガ コーホータントー シチャドギニ  
うちの方の X3 補佐が 広報担当 していた時に

モモイシコーホーデモ ケーサイシテイダトイウ ハナシオキイテマス。  
百石広報でも 掲載していたという 話を聞いています。

アルイワ ソレイガイデモ コベツニ ソレゾレケンキューシテ アルテイド  
あるいは それ以外でも 個別に それぞれ研究して ある程度

サッシニ マドメデイルカタモ アリマス。  
冊子に まとめている方も あります。

010T: アラ ソーデスカ ワタシゼヒ ジャーソレ アノ ミセテイタダキタイデス。  
あら そうですか 私ぜひ じゃあそれ あの 見せていただきたいです。

ソーデスカー。  
そうですかー。

011C: ワシモアノー X4 サンガ ホンソンアダリデノ フルイコドバ マドメデ  
私もあるー X4 さんが 本村辺りでの 古い言葉 まとめて

サッシニシテイルンダヨ ンデ モモイシデモ ソーイウフーニ  
冊子にしているんだよ それで 百石でも そういう風に

ツグッテルヒト アルンダソーダケドネ ダゲドモ ソーイウンタ シリョーガ  
作っている人 あるんだそうだけどね けども そういうような 資料が

(B ヤレデレバ アルテイド イッパイ ダシテグル。) ドッカデ ダレカガ  
(B やれていれば ある程度 いっぱい 出してくる。) どこかで 誰かが

モーマドメデアルド オモウンダケド タマタマ ワダシワ チョット  
もうまとめてあると 思うんだけど たまたま 私は ちょっと

ハナシダゲデ モッテナインデ アレナンデスケドモ。  
話だけで 持っていないので あれなんですけども。

012B: コンナノ イロイロ コッタノモアルベッテ コッタノカイデダッタッテ  
こんなの いろいろ こんなのもあるだろうと こんなのを書いていたって

ナニモ ソーイウノデネーダ。  
なにも そういうのではないんだ。

013C: アノー ワダシネ ヤッパリ ホーゲンノナガデ ジブンノナカデワネ  
あの一 私ね やっぱり 方言の中で 自分の中ではね

トクベツナ コー キッカゲッテイウガ オモイガ ヤッパリ エー アエテ  
特別な こう きっかけっていうか 思いが やっぱり えー あえて

シューセイシル ヒツヨーナイナト オモッタノガ、 コーコーノドギニ  
修正する 必要ないかと 思ったのが、 高校の時に

モモイシコーコーデ ハジメデノ コーカンリ्यूーガクセーセイドオヤッデ  
百石高校で 初めての 交換留学生制度をやって

オーストラリアガラ アー ムカエイレタンデスヨ。 ホンドギニ ワダシ  
オーストラリアから あー 迎え入れたんですよ。 その時に 私

アノー セイトノダイヒョートシテ エーマー アイサズ スルゴドニナッテ  
あの一 生徒代表として えーまあ 挨拶 することになって

ソノナガニ チョットアノ ホントニ テキセツカドーカワ ベツトシテ  
その中に ちょっとあの 本当に 適切かどうかは 別として

マー チョーナイアルイデ マヨッダラソンバニイル トシヨリドサ メッパラ  
まあ 町内歩いて 迷ったら側にいる 年寄り達に めっばら

ウシロツパラ カンバラ シンバラ イワユル トーザイナンポグノ  
うしろつばら かんばら しんばら いわゆる 東西南北の

ホーコーノゴドナンデスヨ。 メッパラ ミナミニイッタラ ドッチャ  
方向のことなんですよ。 めっばら 南に行ったら どっちに

イカサンダガ ソーイウンタノネ トシヨリンドダバ トーザイナンポググッテ  
行くのか そうというようなのね 年寄り達だと 東西南北って

イウノワ メッパラ ウシロツパラ カンバラ シンバラッテ ヘタホーガ  
いうのは めっばら うしろつばら かんばら しんばらって 言った方が

ツタワルガラッテイウノオ チョット ワダシ アイサツノナガデ フレテ  
伝わるからっていうのを ちょっと 私 挨拶の中で 触れて

エー イチバンサイショノ リューガクセーニネ オシエダコドバ  
えー 一番最初の 留学生にね 教えた言葉

ダツタンデスヨ。  
だったんですよ。

014T: メッパラガ ミナミデスカ。  
めっばらが 南ですか。

015C: ウン マエ (T アー マエ) ハラッズーノワ ホーガク  
うん 前 (T あー 前) はらっていうのは 方角

(T ハー ホーガクオ ハラッテイウンデスネ ウシロツパラッテイウノワ)  
(T はあ 方角を はらっていうんですね うしろつばらっていうのは)

ウシロツパラワ キタ シンバラ ヒガシ カンバラ ニシ  
うしろつばらは 北 しんばら 東 かんばら 西

016B: ヨグ オボエデルナ。  
よく 覚えているな。

017T: ミナミガ マエニナルンデスカ。(C ウンウン)  
南が 前になるんですか。(C うんうん)

018C: メ ッテヘッダラ (T ミナミナンデスカ) ウンウン  
め っていったら (T 南なんですか) うんうん

019T: ナンデナンデスカネ。  
なんでなんですかね。

020C: アノ ウチタデルドギ ゲンカンオ フツーワ ミナミムゲデ マズ ツクルノガ  
あの 家建てる時 玄関を 普通は 南向けて まず 作るのが

フツードスヨネ。 ダケドモ ワダシノ ナマエノ ユライノアル ゴノヘノ  
普通ですよ。 けども 私の 名前の 由来のある 五戸の

フルイ キタムギッテイウ シューラグワ ゲンカン ミンナ  
古い きたむきっていう 集落は 玄関 みんな

キタムイデルンダソーデス ワダシワ ソコドワマッダグ カンケーナイケド  
北向いているんだそうです 私は そことはまったく 関係ないけど

ウン デモ オオカタ コノヘンノ チイキブンカワ ゼンブミナミニ  
うん でも おおかた この辺の 地域文化は 全部南に

ゲンカンオハイチシタ ツクリニナッデルノ。 サイキンワ アー  
玄関を配置した 作りになっているの。 最近 は あー

ドーロジジョーデ ダンチナンガワ ベツダゲド ダカラ アーマエ ウシロ  
道路事情で だんちなんかは べつだけど だかた あー前 後ろ

カミテシモテ メッパラ ウシロppラ シンパラ カンパラッテイウ  
上手下手 めっぱら うしろppら しんぱら かんぱらっていう

トーザイナンポグ ダゲオ コドバオ リューガクセーニ ハナシシタラ  
東西南北 だけを 言葉を 留学生に 話したら

ウン ッテコー イッテクレダケドモ ツガエダガドーガ ワガンナイケド  
うん ってこう 行ってくれたけども 使えたかどうか わかんないけど

マー ソーイウ キッカゲガアッデ ワダシテギニワ アエテ エー  
まあ そういう きっかけがあって 私的には あえて えー

ホーゲンオ シューセイシナイデ イママデズーット ヤグバニイデモ  
方言を 修正しないで いままでずっと 役場にも

マッタグ ソノマンマデ イズニナッダラ コドバ ナオスンダガッデ  
まったく そのまんまで いつになったら 言葉 直すんだとかって

ヒヤカサレデルケドモネ ドーキューセーナンカニワ。 デモ ワダシワー  
冷やかされているけどもね 同級生なんかには。 でも 私は

コノマンマデ イグツモリデイマス。  
このままで いくつもりでいます。

021B: ハデ ミナサン ドーオモッデルガ ワガンネーケドモ ワガイ ジョセー  
はて みなさん どう思っているか わからないけども 若い 女性

アダリワ ホーゲンマルダシシテレバ ナンダッキャアリヤ  
あたりは 方言丸出しにしていれば なんなんだあれ

イロゲネーヤズダナー コドバ イナガグセーナーットイウヨーナ  
色気ないやつだな 言葉 田舎くさいなというような

ドンダスカ ソーイウカンジニ ナルンデネーベガ。  
どうですか そういう感じに なるんでないかな。

022A: アッタデスネー イマワダイブ  
あったですねー 今はだいぶ

023B: ナンダッキャ アッタラコドバ ゼエノコドバ ゼエゴッデ イナガッズーノワ  
なんなんだ あんな言葉 ゼエの言葉 ゼエ語って 田舎ってというのは

ゼエゴッテ ゼエゴ コドバツガッテ アレ イロツケネーヤズダナ  
ゼエ語って ゼエ語 言葉使って あれ 色気ないやつだな

ワゲークセニッテイッテ コー  
若いくせにって言って こう

024A: イマワ ヒカグテギニ ソーイウノ ナグナッダネ。  
今は 比較的になんか そういうの なくなったね。

025B: マー ソーイウコドバ ツカワナグナッテンデスカ ダカラ ソーイウナ アレモ  
まあそういう言葉 使わなくなっているんですか だからそういうようなあれも

アッダガラ ワダシワ シゼンニ トータサレテ イクンデナイガド。  
あったから 私は 自然に / / / されて いくのでないかと。

026C: マー ジッサイ ワダシノ ケイケンノ ナガデイッデモ ワゲモノノゴロ  
まあ 実際 私の 経験の 中でいっても 若い頃

トーキョーサ アソビイッデ エー ムゴーニイル トモダチガ  
東京に 遊びにいて えー 向こうにいる 友達が

コノマンマデ シャベッタラ シゼント ミノマワリガライナグナッデ  
このままで 話したら 自然と 身の回りからいなくなって

キョリオガレデネ ワダシノ コドバガ ヒジョーニ ハズカシート  
距離置かれてね 私の 言葉が 非常に 恥ずかしいと

オモッタンドロー。  
思ったんだろう。

027A: ソーガネー カエッデ ヨッテクルンジャナイデスカ。  
そうかなあ かえって 寄ってくるんじゃないですか。

028C: イヤイヤイヤ トモダジワネ マワリワ トーキョーノヒトワ ナンモベズニ  
いやいやいや 友達はね 周りには 東京の人は なんにも別に

ドゴノイナガノモノガ イダガッテイウグレーデ ナンモキニモシナイ  
どこの田舎の者が いたのかっていうくらいで なんにも気にもしない

キニシテモ ソノテードダ。 ムシサレルホーガ ムシロ セギノヤマ  
気にしても その程度だ。 無視される方が むしろ 関の山

ダローケドモ デモ ヤッパリ ドッチトイウト トカイニイッダラ  
だろうけども でも やっぱり どっちかというと 都会に行ったら

ホーゲンワ ケムタガラレルダローナ。  
方言は 煙たがられるだろうな。



## おいらせ・震災の経験

話し手

話者 A: 男性 (調査時 75 歳)

話者 B: 男性 (調査時 76 歳)

話者 C: 男性 (調査時 55 歳)

001A: ヒサイキロクワネ (B ウン) タイヘン ダイジナモノ  
被災記録はね (B うん) 大変 大事なもの

002B: カイデ カイデマシタ ワタシ ゼンブノキロク  
× 書いていました 私 全部の記録

003A: アー コレワネ、 コレワヤッパリ マジニ チャント コーイウノ マジノ  
あー これはね、 これはやっぱり 町に ちゃんと こういうの 町の

タントウシャ シッドクヨーニ シテオカネト。  
担当者 知っておくように しておかないと。

004B: ワダシノ タイケンダカラ マジワ ドーダッタカ ワガンネーケド  
私の 体験だから 町は どうだったか わからないけど

005A: イヤ コレニモトズイテ コンゴ ドーイウゴト シナキャイカンツツノガ  
いや これに基づいて 今後 どういうこと しなきゃいけないというのが

ワガルトオモウンダヨネ (B ウン) ダイタイ サイガイニアッダ ヒトダチワ  
わかると思うんだよね (B うん) だいたい 災害にあった 人達は

ソーイウフーナ アノアレ モッテルトオモウンダヨネ ソレガ ワダシ アノ  
そういう風な あのあれ 持っていると思うんだよね それが 私 あの

マジノ サイガイフッコーノネ タイサクカイギナンカデワ ヒジョーニアマイ  
町の 災害復興のね 対策会議なんかでは 非常に甘い

オモッテルワケデスヨ。  
思っているわけですよ。

006B: ワダシワ ジッターケンダカラ ジブンデタイケンシタコトダカラ  
私は 実体験だから 自分で体験したことだから

007A: タトエバホレ デンキガネ (B デンキワ) ナンニジモ (B ウン)  
例えばほら 電気がね (B 電気は) 何日も (B うん)

008B: イッカゲツカガルッタガ (A ウン) フッキュースルマデ  
一ヶ月かかるって言っていたか (A うん) 復旧するまで

009C: アノトギ アノー X1 サンノ アドシマツスルニ エー ホントワ X1 サンモ  
あの時 あのー X1 さんの 後始末するのに えー 本当は X1 さんも

ブダ ミンナ \_\_\_\_\_ マズ シンダブダモ ハー ガレギノナガデ  
豚 みんな \_\_\_\_\_ まず 死んだ豚も もう 瓦礫の中で

チンブレテ ハーギーギー ネットルノモ ロープカゲデ ヒッパリダシテ  
潰れて もうぎーぎー 寝ているのも ロープかけて 引っ張り出して

デ、マー ソーイッダノ ハーミンナ シマツシネバネガッタワゲダ。  
で、まあ そういったの もうみんな 始末しないとイケなかったわけだ。

ンデ ハジノヘノ イジガンニ ソノカセイジュツコージョーガアルワゲ  
それで八戸の / / / に その火葬 / / / 工場があるわけ

ソゴサモッテッデ シマツシネバネガッタケドモ モウハー デンキミナ  
そこに持って行って 始末しないとイケなかったけど もう 電気がみんな

イッタイガトジワトマッタデショ ンデ トーホクデンリョクデ ウー  
ー帯が土地は止まったでしょう そして 東北電力で うー

フッキュースルニ マズ ソノコージョーチタイノラインガラ サギニミデケデ  
復旧するのに まず その工場地帯のラインから 先に見てくれて

ンデマー タマタマ カセイジョーノドゴモ ミッガメ ア シンサイガラ  
それでまあたまたま 火葬場の所も 三日目 あ 震災から

カゾエレバイズカメニ ヤッド ウーデンキノフッキューガ ソノラインダケガ  
数えれば五日目に やっと うー電気の復旧が そのラインだけが

アー デキダワケダ、 ホレデ X1 サンノジンダブダ オシッ！イマキケエ  
あー 出来たわけで、 それで X1 さんの死んだ豚 おしっ！今機械

スイッチイレデ エーアーコージョーキケエウゴクガ チェックスルガラッデ  
スイッチ入れて えーあー工場の機械が動くか チェックするからって

エー コージョーチャーガ スイッチイレダッキャウゴイデ ンデ スグ  
えー 工場長が スイッチ入れたら動いて それですぐ

モッデコイッテイウ レンラクハイッデ ホイデ クバレダノ。(B ウン)  
持ってこいっていう 連絡が入って それで 配れたの。(B うん)

ホレガ デンキガ アー トマッタママダバ、 ハーヤマサアナホッデ  
それが 電気が あー 止まったままだと、 もう山に穴掘って

コーテーイギノショリトオナジョーニ エー シードオカゲデ セッカイカゲデ  
口蹄疫の処理と同じように えー シートをかけて 石灰かけて

エー ヤグザイカゲデ ツジカブヘデッテイウンタ ショリヲスグダンドリシデ  
えー 薬剤かけて 土被せてっていうような 処理をすぐ段取りして

アッダノ。 ンデタマタマ ウートーホクデンリョクノ ソノフッキューコッテ  
あったの。 それでたまたま うー東北電力の その復旧///

マズカセイジョーニ モッデイゲダガラヨガッタケドモ タダ ウーイジニジニ  
まず火葬場に 持っていったから良かったけども ただ うー 一日に

ミンナシマツヘネガッタドコデ エーツギノヒモアドガラモ ヤッパリミンナノ  
みんな始末出来なかったから えー次の日も後からも やっぱりみんなの

ドコサナガサレテ チラバッテマッテルドコデ ケッコー ボーファーリンナガモ  
所に流されて 散らばってしまっているの 結構 防風林の中も

アズメデアルイダシ、(B ボーファーリンノナガニモイダッタナ) ウン カワサモ  
集めて歩いたし、 (B 防風林の中にもいたな) うん 川にも

ナガサレデ エー オグノホーマデ イッテラノモアッダシ  
流されて えー 奥の方まで いるのもあったし

010A: ソノブダヲ アツメルヒトダジワ ドナタガヤツタンデスカ。  
その豚を 集める人達は どなたがやったのですか。

011C: イヤマズ ボランティアアデ フタガメノ チョーナイカイノヒトンドガ ウーマズ  
いやまず ボランティアで 二上の 町内会の人達が うーまず

イチバンサイショニ シゲデケダワゲダ ンデエー X1 サンノシリョーデ  
一番最初に ///くれたわけだ それでえー X1 さんの///で

ツギアエル シリョーガイシャノヒトダチトガ アルイワオー ヨートンノ  
付き合える ///会社の人達が あるいはおー 養豚の

ナガマノヒトドガ ア ソーイウヒトンドガ イッペ アズマッテキテ  
仲間の人達が あ そういう人達が いっぱい 集まってきて

トージヤッテゲタノ ガレギノテッキョノドギワ ベイグンノボランティアノ  
当時やってくれたの 瓦礫の撤去の時は 米軍のボランティアの

ヒトダジガ ヤッデケダノ。  
人達が やってくれたの。

012B: アレド ソレカラハマ ウミノアミ ウミノアミモ スンゲーガッタ。  
あれど それから浜 海の網 海の網も 凄かった。

013C: ウン イチバンヤッパリ タヨリニナッダノワ ベイグンダ。 ニホンジンガ  
うん 一番やっぱり 頼りになったのは 米軍だ。 日本人が

イトンノハンダブダバ ロープカゲデ ヒッパリダスニヤッドノオ  
ー-tonの///豚を ロープかけて 引っ張り出すのにやっとのを

フトリシテ ビリッドヒッパリダスنداガラ ソノグレー タイリョクテキナ  
一人で ビリっと引っ張り出すのだから そのぐらい 体力的な

ウン モノスゴイ チカラガアル。  
うん ものすごい 力がある。

014B: タイリョクガスゲー アノアミモ ゼンブタナッデマッテダヨ ソノカワリ  
体力が凄い あの網も 全部持ち上げてしまっていたよ その代わり

リョウカイエネデ バンバンドヤルンダ。  
了解を得ないで ばんばんとやるんだよ。

015C: ウンウン アレハサギニ ツカウノガツカワネノガト シマツハスケド  
うんうん あれは先に 使うのか使わないのかと 始末はするけど

ハツカワネド シンピンデモ マデコレトレバツガエルノ ホレデモ ハー  
もう使わないと 新品でも ///取れば使えるの それでも もう

シマツスルタメニ ジカンネーガラ ハーモウ ブッタギレト オーワタワタト  
始末するために 時間ないから もう ぶった切れと おーわたわたと

シマツシテ  
始末して

016B: サムクテタイヘンダッタデ ソレデモ イッシューカングライ キタッダナー  
寒くて大変だったよ それでも 一週間ぐらい 来ていたなあ

アメリカ  
アメリカ

017C: アノーネ ノベデイエバ イツカナンダケドモ ニンズーテキニワ ゴヒャクニン  
あのね のべで言えば 五日なのだけれども 人数的には 五百人

イジョー キチャッダ (B ウン)  
以上 来ていた (B うん)

018B: ソレデスゴイ タスカッタッテ イッテマシタヨ アノヒトダジ。  
それで凄い 助かったって 言っていましたよ あの友達。

019C: イヤー ベイグンノトモダチ \_\_\_\_\_ サマサマダ ホンドニ アノアダリダバサ  
いやー 米軍の 友達 \_\_\_\_\_ さまさまだ 本当に あの辺りだと

デイサトンベタノンデ モウハー ミンナ ヒサイシャミンナ イッショダッタ  
////////頼んで もう みんな 被災者みんな 一緒だった

ワゲダ、 ヘンバハー タノメルヒトワヨ シンセキドカトモダチドカ ソレゾレ  
わけだ、 そうすれば 頼める人はね 親戚とか友達とか それぞれ

ソーイウヒトンドアレバ ソレデイーンダローケドモ マッタグ ヒトリッコデ  
そういう人達がいれば それでいいのだろうけども 全く 一人っ子で

イルヒトンドワヨ ダレガサタヨリニ ナンネバネガラ ソーイウヒトンドノ  
いる人達はね 誰かに頼りに ならないといけないから そういう人達の

アヘンドガ ヒジョーニトージ マチトシテモ カダイデアッダノ。(B ウン)  
対応が 非常に当時 町としても 課題であったの。(B うん)

ダカラ ソノカンドガイマ ポーサイアンゼンシジリツオ マダアラタニ  
だから その///が今 防災安全支持率を また新たに

ソシキオツクッデ タイオーシテイルケドモ トージワモー ショクイン  
組織を作って 対応しているけれども 当時はもう 職員

ソウドーインノナカデ デキルゴトワ ショクインモミンナ デハッダシ、  
総動員の中で 出来ることは 職員もみんな 出たし、

アルイワ ボランティアノヒトンドモツノッテ イロンナテツダイオ アッチャ  
あるいは ボランティアの人達も募って いろんな手伝いを あっちに

イッテケロ コッチャイッテケロツテイウフーニ オネガイシタシ (B ウン)  
行って下さいこっちに行って下さいという風に お願いしたし (B うん)

020B: マー イイキョークンニ ナッタンダベナ。(C ウン)  
まー いい教訓に なったのだろうな。(C うん)

021A: イイキョークンニ ナッダナー。  
いい教訓に なったなあ。

022C: アレワモーニドト イギデルウチニ アーイウサイガイサ イキアイダクネーナ  
あれはもう二度と 生きているうちに あーいう災害に いきあいたくないな

トオモッダナ。 ワダシワネ ダイニハノツナミガ アガッテキダトギニ  
と思ったな。 私はね 第二派の津波が 上がってきた時に

チョウドオー ゴジチョットマエダッタンダヨ。 ンデココノサンガイガ ウジノ  
丁度 おー 五時ちょっと前だったんだよ。 それでこの三階が うちの

ワダシノキンムバシヨダッタドゴデ (A ウン) タイキメイレイカガッテタケドモ  
私の勤務場所だったので (A うん) 待機命令がかかっていたけれども

キブンテンカンニ タバコスイニチョコット ドデノホーマデ サンポシナガラ  
気分転換に 煙草吸いにちょっと 土手の方まで 散歩しながら

ヨースミニ キブンテンカンノツモリデイッダラ タマタマカワオ ツナミガ  
様子を見に 気分転換のつもりで行ったら たまたま川を 津波が

ソージオスルッテイウバメンサ ハジメデデクワシテ、 ヤーアノブキミナ  
増潮するという場面に 初めて出くわして、 やーあの不気味な

ナンナンダベナ キューニ バシャバシャバシャツツーンダガ トンデモネー  
なんなんだろうね 急に ばしゃばしゃばしゃっていうのかな とんでもない

ソノイジョーナオドデ ソージオシデクル アノツナミガサ カワサジセイシタ  
その異常な音で 増潮してくる あの津波が 川に///した

キダノゴミダノ ソーイウンタノオマゼアゲデ コーミンナイッショニ  
木とかゴミとか そういうような物を混ぜあげて こうみんな一緒に

ガーット アガッテクルワゲ  
が一っと あがってくわけ

023B: フゾーノ タガラ タガシオトチガウンダヨ。  
普通の × 高潮とは違うんだよ。

024C: ウン ンデエー オイラセガワノテイボート ハジノヘガワノテイボー  
うん それでえー 奥入瀬川の堤防と 八戸川の堤防

キョリテギニワ ンー ヒャクメーターッテイエバ オオゲサダケドモ  
距離的には ンー 百メートルっていえば 大げさだけれども

シジハジジューメーターグライノ カワハバガ テイボーハバガ アンダケドモ、  
七、八十メートルぐらいの 川幅が 堤防幅が あるのだけれども、

ソレ イッキニイッシュンデ ガーットコー ソージョージデキタワゲ  
それ いっきに一瞬で が一っところ 増潮してきたわけ

アー アノゴミマギアゲナガラ ンデ ジッサイワホンドギ サーモンパッグ  
あー あのゴミ巻き上げながら それで 実際はその時 //////////////

コエデ キナミノサイソウチノ アダリマデ ソンドギノゴミガアガッテルガラ  
越えて ///の//////の 辺りまで その時のゴミが上がっているから

オソラグ ガッペイマエノ ムガシノ ショーワサンジューネンダイノ  
おそらく 合併前の 昔の 昭和三十年代の

チリジシンノドギワ ドンダッタガ。  
チリ地震の時は どうだったのだろうか。

025B: ソノドギワ オレ ワダシガ イダッタガラ (C ウン)  
その時は 俺 私が いたから (C ウン)

- 026C: イヤ ホンドキワ (B ホンドキモ スゴガッタンダヨ) ウン ホンドキワ  
 いや その時は (B その時も 凄かったんだよ) うん その時は
- シモダガワニ イエー ソノツナミノ ソジョーノキログツウノガ (B ウン)  
 下田川に いえー その津波の 増潮の記録というものが (B うん)
- アードンダカズノガ ハッキリイッデ ネーワゲヨ ダカラコンカイワ  
 あーどうだったのかが はっきりいって ないわけだよ だから今回は
- ハンズメデ キナミノホームデ エーツナミノ ソジョーガアッダッテイウノ  
 初めて / / /の方まで えー津波の 増潮があったというの
- カクニンシタワゲダ。  
 確認したわけだ。
- 027B: アノートージワ マダギョコーモナンモ セイビスアレデ ナガッタガラ  
 あのー当時は まだ漁港も何も 整備されて いなかったから
- テイボーモ アレダッタガラ オソロシガッタヨ。 カワヲソジョーシタ  
 堤防も あれだったから 恐ろしかったよ。 川を増潮した
- ツナ ツナミガ セマッデクル (A ンーンー) アンドキ ウチノマエマデ  
 × 津波が 迫って来る (A んーんー) あの時 家の前まで
- キタッダガラ ウジノヤシキノマエマデ キタッダガラ イマトゼンゼン  
 来ていたから 私の屋敷の前まで 来ていたから 今と全然
- キボガチガウナー チリジシンノツナミド  
 規模が違うなあ チリ地震の津波と
- 028C: ンデー X1 サンノ オーバーサンガ ワーショツチュウ イッデラッタトギニ  
 んでー X1 さんの おばあさんが 私しょっちゅう 行っていた時に
- エー オヘデケダッタノガ ウー ショーワハチネンノ ツナミノトギリ  
 えー 教えてくれていたのが うー 昭和八年の 津波の時は
- コンカイノ ツナミトオナジグレー フタガミノオガノ キワマデ  
 今回の 津波と同じぐらい 二上の丘の 際まで
- アガッデキタラシーンダヨ。(B ヒグガッタモン ズット) ウン トコロガ  
 上がって来たらしいんだよ。(B 低かったもん ずっと) うん ところが
- ボーフーリンガナクテ ボーチャーテイモナフテ ソノグレーダガラ  
 防風林がなくて 防潮堤もなくて そのぐらいだから
- コンカイワ ボーフーリンモアッデ ボーチャーテイモアッデモ ソノグレー  
 今回は 防風林もあって 防潮堤もあっても そのぐらい

キテ ヒガイデハッテルガラ ヤッパコンカイノヒガイ ナルホド  
来て 被害が出ているから やっぱり今回の被害 なるほど

オッキガッタモンダッテ。  
大きかったもんだよ。

029B: マンズ ソーテイガイダッテイウノガ ウマグネッテイウンダケドモ  
本当に 想定外だというのが うまくないというのだけれども

ヨソーシナカッタ。  
予想しなかった。

030C: ウン ダレモソーゾーヘネノサ。(B ダレモ ヨソウシナガッタ) ウン  
うん 誰も想像しないのさ。(B 誰も 予想しなかった) うん

キノーマデ ソーイウケイケンネーノガ カンガエデルモンダモノ ホレ  
昨日まで そういう経験ないのが 考えているものだもの ほら

ケンノレンチューダッテ ヤグバノショクインダッデ ケイケンガネーノサ  
県の連中だっテ 役場の職員だっテ 経験がないのさ

センネンニイッケーノ サイガイオ ソーテーシタ ケイカクツクレッテ  
千年に一回の 災害を 想定した 計画を作れと

ヘッタッデ ヒカクシヨーガネガンベ。  
言ったって 比較しようがないでしょう。

ダカラ マー ソレワソレトシテ コレカラノコドワ サマザマ ケントーモ  
だから まー それはそれとして これからのことは 様々 検討も

タイサクモ カンガエテイカネバネーノワ タシカナンダケドモ ヤッパリ  
対策も 考えていかないといけないのは 確かなのだけれども やっぱり

ウー サンテンイチイチッテイウ トージヲフリカエレバ ダレシモガ  
うー 三・一という 当時を振り返れば 誰しもが

アー ホントニ ミンナ ソーテーガイダノヨ。  
あー 本当に みんな 想定外なのよ。

031B: アソゴノ アレ マズガナンボッテ オイラセガワ チョットシガ ツイデネーナ  
あそこの あれ 松がいくらかって 奥入瀬川 ちょっとしか ついてない

ナンヘクタールダガシカ ヒガイネーッテラケドモ スゴイヨー ミンナ  
何ヘクタールくらいしか 被害ないって言ってるけど 凄いや みんな

シンデシマッテラ。  
死んでしまっている。



032A: ウジノ カイガンモ ホトンド シンダヨ。(B ウン ゼーンブ シンデ)  
私の所の 海岸も ほとんど 死んだよ。(B うん 全部 死んで)

アノタガイマジモ  
あの高い松も

033B: サイショワネ イギルンダガド オモッテラッタダケド、 ダンダンニ  
最初はね 生きるのかと 思っていたんだけど、 段々に

(A ウン ソー ダンダンニ) ヒガタツウチニ カレデシマッテ ウジモネー  
(A うん そう 段々に) 日が経つうちに 枯れてしまって うちもね

マー ケッコウ \_\_\_\_\_ ケッコウ コレグライノモアルケド マダ  
まあ 結構 \_\_\_\_\_ 結構 これぐらいのもあるけど まだ

キンネーデ イッポンイタケド ゼーンブ シンデシマッダノ。 オンコト  
切らないで 一本あったけど 全部 死んでしまった。 //と

アオキド イギデルノワ オンコトアオギグライダヨ、 マズドマズド  
//と 生きているのは //と//と//ぐらいだよ、 松と松と

アドゼーンブ シンデシマッデ ダンダンニ ヒニチガタツシダイニ  
あと全部 死んでしまって 段々に 日にちが経つしだいに

コウ メガデルケドモ ハルサギ メガデルケドモ マダ ガーット カレテ  
こう 芽が出るけれど 春先 芽が出るけれど また がーっと 枯れて

ダカラ ソートー  
だから そうとう

034C: センセイ ユーチューブデ オイラセノ ツナミズウノ ミダゴトアリマスガ  
先生 ユーチューブで 奥入瀬の 津波というの 見たことありますか

アレガ ダイイッパノドギノ トーコーダソーデス。  
あれが 第一波の時の 投稿だそうです。

035B: ニハノホー ツヨガッタッテネ。  
二波の方 強かったってね。

036C: ウン (B ニハノホーガ ツヨガッタソーデスネ) アノ ダイイッパノドキワ  
うん (B 二波の方が 強かったそうですね) あの 第一波の時は

アソゴノ ユーチューブデミル ウー ギョコーノテイボーオ ツナミ  
あそこの ユーチューブで見る うー 漁港の堤防を 津波

コエデナイガラ ダイニハノトキワ アレオ イチメートルイジョー コエデ  
越えてないから 第二波の時は あれを 一メートル以上 越えて

キテルノ インデウジラノ ヤクバショグインモ ミョージンヤマノヒナンジョニ  
来ているの んでうちの 役場職員も 明神山の 避難所に

ショグリョーオ ハイタツニイッテ タマタマ ウー トーシ マイクロバス  
食糧を 配達に行つて たまたま うー 当時 マイクロバス

ウンテンシテ ショクインナンニンカト ショグリョーツンデ エーギョコーノ  
運転して 職員何人かと 食糧積んで えー漁港の

ケンドーオイッデ ミョージンヤマダバ ジカンテキニ サイタンダトオモツテ  
県道を行つて 明神山だと 時間的に 最短だと思つて

イッタソーダ。 トコロガ ソノダイニハノ ツナミガ クルトイウノデ トーシ  
行つたそうだ。 ところが その第二波の 津波が 来るといふので 当時

チイキセイビカデ モー ツーコードメシテ エー クルクルマオ ミンナ  
地域整備課で もう 通行止めして えー 来る車を みんな

カエレト ジブンダジモ モーイザトイウトキワ ニゲルタイセイ トトノエテ  
帰れと 自分達も もういざという時は 逃げる態勢 整えて

エンジンカゲテ クルマオヨーイシナガラ ギリギリマデ ソーイウフーニシテ  
エンジンかけて 車を用意しながら ぎりぎりまで そういう風にして

コーツーセイリシテイタミタイダノネ ダケドモ ソレガウン イチメートルノ  
交通整理していたみたいなのね けども それがうん 一メートルの

オーツナミガ カブサッタノオ ミエタソーダ ソレオヒッシデ ユータンシテ  
大津波が 被さつたのを 見えたそうだ それを必死で ユータンして

エー マイクロバスデ モモイシショーガッコーノホーニ ムガッダワイイヤ  
えー マイクロバスで 百石小学校の方に 向かつたはいいが

ウシロガラ ツナミガオシヨセデクル、 フト ワキミダラ マドノワギガラ  
後ろから 津波が押し寄せてくる、 ふと わき見たら 窓のわきから

ソーゾスル ツナミガ アー テイボーカラアフレデ フジャモノアタリノ  
増潮する 津波が あー 堤防からあふれて ///の辺りの

ハダケサ ノーチサコー アフレデクル イッポー マイクロバスノテレビニワ  
畑に 農地にこう あふれてくる いっぽう マイクロバスのテレビには

カマイシノ ギョセンドカ オオガタトラッグガ ナガサレデルバメンガ  
釜石の 漁船とか 大型トラックが 流されている場面が

テレビデ ホーエイサレデル、 ハー ソーイウンタノオ テレビモウシロガラモ  
テレビで 放映されている、 もう そういうのを テレビも後ろからも

ツナミニオワレ ワギガラモ コーモー アフレデルノオミダドギニ  
津波に追われ わきからも こうもう あふれているのを見た時に

マイクロバスノッデタ ヒトダチガ アーモーコレワ カクゴキメネバ  
マイクロバス乗っていた 人達が あーもうこれは 覚悟決めないと

マネガナッデ、 ソーイウジョーキョーノナカデ ヒナンジョニムガッデ  
いけないかなって、 そういう状況の中で 避難所に向かって

カエッデキデ ヤットヒッシデ マー ナンノガレデ ンデ ミョージンヤマサ  
帰って来て やっと必死で まー 難逃れて んで 明神山に

ショグリョークバッターテ。  
食糧配ったって。

037B: イチバンノ アレダッタノ リューツーガ トダエダコトデスヨネ。 ダカラ  
一番の あれだったの 流通が 途絶えたことですね。 だから

モノカウニモ ショクリョーカウニモ ミサワダノ トワダシサイッテ  
物買うのにも 食糧買うのにも 三沢とか 十和田市に行って

カッテキデクレタリ サシイレシテクレダヒトモイダネ ソレガラ モノガ  
買ってきてくれたり 差し入れしてくれた人もいたね それから 物が

ブッカガ モノスゴク ギョーシャガダサナイ アリマセントイウコトデ マー  
物価が もの凄く 業者が出さない ありませんということで まー

ダイクサントタノンデモ ミゴミツゲラレダー ミゴミツケデ  
大工さんと頼んでも 見込みつけられたー 見込みつけて

ブッシモダサネバマイッテコトデ フロノオンドモ アレデサ ボイラートカ  
物資も出さないといけないってことで 風呂の温度もあれでさ ボイラーとか

ヤッテダケドモ ゼンゼン ダメニナッデ ソレモシナモノガ  
やっていたけれども 全然 駄目になって それも品物が

ナイズーワケデスヨ ソノ リューツーガモーホトンド トダエテシマッタッテ  
ないというわけですよ その 流通がもうほとんど 途絶えてしまったって

イウヨーナコトガ チョット コマルンデスネー。  
というようなことが ちょっと 困るんですねー。

038T: B サンワ イマワアノ ドチラニオスマイナンデスカ。 アノ ゴジタクノホーニ  
Bさんは 今はあの どちらにお住まいなんですか。 あの ご自宅の方に

モドラレタンデスカ。  
戻られたんですか。

039B: アノ ソーデスネ、 ハイ イヤ ウジタデルッタッテ アドナンネンモ  
あの そうですね、 はい いや 家建てるっていったって 後何年も

イギネーモノ ソレゴソ イッセンマンダノ ナンゼンマンツテ カカルデシヨ  
生きないもの それこそ 一千万とか 何千万って かかるでしょ

ヤッパリ  
やっぱり

040T: アノサッキ ヒナンジョニフタババンツテ オッシャッタンドスケド オウチニ  
あのさっき 避難所に二晩って おっしゃったんですけど お家に

スメルヨーニ (B イヤ スメネガッタカラ) スメルヨーニナルニワ ドノグライ  
住めるように (B いや 住めなかったから) 住めるようになるには どのぐらい

カカッタンドスカ。  
かかったんですか。

041B: スメルニー ニガイワイガッタンドスヨ ニガイニネドマリシテ シタワゼンゼン  
住めるにー 二階は良かったんですよ 二階に寝泊まりして 下は全然

ホレ タダミドカアレドカ ゼンゼンダメニナッタガラ コメダドモゼンブダメ  
ほら 畳とかあれとか 全然ダメになったから 米とかも全部ダメ

デンキキグガダメデシヨ ミズツケバゼンブダメデスネ カナリゲンキンモ  
電気器具がダメでしょ 水つけば全部だめですね かなり現金も

イタダキマシタケドモ ケッコウ アノ カネモカカリマシタ。 イッカイ  
頂きましたけれども 結構 あの 金もかかりました。 一階

ヤリナオシオテ マダニカイヤリナオシタ。  
やり直して また二階やり直した。

042A: アー ヤッパリ ヒサイシタヒトダチノ ハナシッテイウノワ キイトカナキャ  
あー やっぱり 被災した人達の 話っていうのは 聞いておかないと

イカンネー、 ツクズク ソーオモウネ。  
いけないね、 つくづく そう思うね。

043C: オラー ジブンノシンセギダケドモヤ インズガニイルノガ イタデデ  
私 自分の親戚だけでも // // //に居るのが 家建てて

サンネンメデ ツナミニ ウー マズブッコワサレテ、 ンデ エー イドコワ  
三年目で 津波に うー まずぶっ壊されて、 んで えー 従兄弟は

ウー コドモガ チョットコー チテキショーガイガアツテ ソレオ ウー  
うー 子どもが ちょっとこう 知的障害があって それを うー

カイホーシナガラ オカーサンニゲルニ エー サガシデルウジニ  
介抱しながら お母さん逃げるのに えー 探しているうちに

ミエナグナッター。 ホイデ パニックニナリナガラ ツナミニ タダカレデ  
見えなくなったー。 それで パニックになりながら 津波に 叩かれて

エー モマレデ タマタマ ツナミノイギオイガイフテ ジブンガ エー  
えー 揉まれて たまたま 津波の勢いがよくて 自分が えー

ブルックブルベイサ タダキツケラレタノガ イギオイヨグ トビコエタガラ  
ブロック × 塀に 叩きつけられたのが 勢いよく 飛び越えたから

エー イギデイダト。 ホレ スコシヨエーバ ハー ブルックベイノ ナガニ  
えー 生きていたと。 ほら 少し弱いと もう ブロック塀の 中に

イレバ ハー シオノナガニ モマレデ アウトダッタノ。 ンデー ムスコガ  
いれば もう 潮の中に 揉まれて アウトだったの。 それで 息子が

ドーイウワゲガ ハーサギニ ハードーロサニゲデデ マーオヤコトモドモ  
どういうわけか もう先に もう道路に逃げていて まあ親子共々

イギレダケド イワ ハーモー マッタグ ダイキボハンカイ  
生きられたけれど 家は もう まったく 大規模半壊

044B: センセイ ジブンカッテナ ハナシバリシテマシタガラ ドーズススメテクダサイ。  
先生 自分勝手な 話ばかりしてましたから どうぞ進めて下さい。

045T: イエイエ アリガトーゴザイマス。 ホント キチョーナオハナシ  
いえいえ ありがとうございます。 本当 貴重なお話

アリガトーゴザイマス アノスイマセン イマデワ ソーイウシンサイガアッテ  
ありがとうございます あのすいません 今では そういう震災があって

カラノコトナンデスケレドモ アノー シンサイガアルマエト アッテカラトカ  
からのことなんですけれども あのー 震災がある前と あってからとか

トナリキンジョノカタタチトデスネ オハナシスルッテイウコトナンカワ  
隣近所の方たちとですね お話しするっていうことなんかは

フエタリ ヘッターリトカ ソーイウコトワアリマスカ。  
増えたり 減ったりとか そういうことはありますか。

046B: イヤー ウジノバアイワ モーカソニナリマシタ。ウジワモー イナグナッテ  
いやー うちの場合は もう過疎になりました。うちはまだ いなくなって

イズレノホーニ イッダヒトモアルシ  
///の方に 行った人もあるし

047T: ハー ソレワヤッパリ アノ オウチガコー スメナイトイウコトデ  
はあ それはやっぱり あの お家がこう 住めないということで

048B: イヤ スメ ナガサレ ナガレデシマッタヒトモアルシ (A エーエー)  
いや × × 流れてしまった人もあるし (A へーへー)

イヤ マエガラ カソニナリカゲデダッタケドモ ジューナンニン  
いや 前から 過疎になりかかっていたけれども 十何人

イナグナッタッテ イナグナッデシマッタ。  
いなくなったって いなくなってしまった。

049T: ハー ジャーソノ ジューナンニン オウチノマワリノヒト イナクナッタッテ  
はあ じゃあその 十何人 お家の周りの人 いなくなったって

イツモ オハナシシテイルヨーナカタガ ダカラ  
いつも お話しているような方が だから

050B: モー ミンナトナリキンジョワ ナガイイデスヨ ナガイインデスケドモ ウジノ  
もう みんな隣近所は 仲良いですよ 仲良いんですけども うちの

フタガミモ ムカシ ギンザダッタワゲダ。(A ウンウン) ダガラ スゴイ  
二上も 昔 // // だったわけだ。(A うんうん) だから 凄い

サガナヤモアル ミセモアル サマザマ サケ サガヤモアル トーフヤサンモ  
魚屋もある 店もある 様々 × 酒屋もある 豆腐屋さんも

アル フタガミワ イナガデアッテモ ソゴワモーハー ショッチュー  
ある 二上は 田舎であっても そこはもう しょっちゅう

ヒナンセドカ ドーノコーノッデアアルガラ イスマダグネーッテ  
避難しろとか どのこのうのってあるから 家に住みたくないって

ユービンキョグノヒドモ ゼンブ イナグナッタナ。(A ウン) フタガミノ  
郵便局の人も 全部 いなくなったな。(A うん) 二上の

ユービンキョグモ \_\_\_\_\_ ソゴモ ハチガツ ヤーウルサグサワイデ  
郵便局も \_\_\_\_\_ そこも 八月 もううるさく騒いで

ドーナッダドーナッタッテ サワイデ ワダシワ コジン ヒトリデ (A ウン)  
どうなったどうなったって 騒いで 私は 個人 一人で (A うん)

ハガキダスニイグニモ ヒトガミマデ イガネバネ。カンイダイ クルマデ  
はがき出しに行くにも 一上まで いかないとだめ。// // // 来るまで

ソーキンスルッテ ダガラ  
送金するって だから

051C: イッショーケンメイヤッダケド ボンスギマデカガッタナー フッキュースルニ  
一生懸命やったけど 盆すぎまでかかったなあ 復旧するのに

052B: ヤッパリ アレデスヨ サビシクナッデキマスネ コミュニティーガ  
やっぱり あれですよ 寂しくなってきましたね コミュニティーが

ウスレデキマスト。マーホントニ トシヨリバリダ イギデルヒドダチワ  
薄れてきますと。 まあ本当に 年寄りばかりだ 生きている人達は

モーハー ゼンブ マジノホーエ ケッコンスレバ イッデシマウシ。  
もう 全部 町の方へ 結婚すれば 行ってしまうし。

053A: ソーダヨネ ナガナガ ウン  
そうだよね なかなか うん

054T: アノ ジャーソノ ヒサイスルマエワ アノ ジモトノカタタチトワ ベツニ  
あの じゃあその 被災する前は あの 地元の方たちとは 別に

アノ オハナシスルトキッテ アノー ホーゲンヲツカッテ オハナシトカ  
あの お話する時って あのー 方言を使って お話とか

ナサルンデスカ。  
なさるんですか。

055B: イヤー ミンナ トナリキンジョワ ゼンブ ホーゲンツカウネ。  
いやー みんな 隣近所は 全部 方言使うね。

056C: ウー ケッキョグ ドーセダイダバ アノー アエテ エー キョーツーゴオ  
うー 結局 同世代だと あのー あえて えー 共通語を

ヒョージュンゴサ オキガエテ シャベルホドノコトデモネーガラ  
標準語に 置き換えて しゃべるほどのことでもないから

057B: シャベリヤスインデスヨ。  
しゃべりやすいんですよ。

058C: アッ イマイマ ヤッパリ ソートー キーツガッテ センサーガイルガラ  
あっ 今今 やっぱり 相当 気使って 先生がいるから

アノー ソーイウコトバガネ エー ホントワ シャベヨードオモッデ エー  
あのー そういう言葉がね えー 本当は しゃべろうと思って えー

カイギマエニ ウジアワセシテ イダッタンダケドモ ヤッパリ コー ウー  
会議前に 打ち合わせして いたんだけども やっぱり こう うー

ソーイウ キズカイガ ホーゲンガ チョッド ブレーキカガッテ  
そういう 気遣いが 方言が ちょっと ブレーキかかって

059B: ウー フダンワホレ ヤッパリ シゴトッテ シゴトガラ ソーイウフーナ  
うー 普段はほら やっぱり 仕事って 仕事柄 そういう風な

コトバニ キオツゲテキタガラ モーホントニ シャベレバ キゲナイト  
言葉に 気をつけて来たから もう本当に シャベれば 聞けないと

オモイマスヨ。 ムガシノ ソレワ チ ド ツ ワ オナジデスガラ  
思いますよ。 昔の それは チ と ツ は 同じですから

チ ト ツ ワ オナジデ ソレカラ シ と ス モ オナジデ マーマー  
チ と ツ は 同じで それから シ と ス も 同じで まあまあ

マンゼコゼダカラ ダクオンガ ハイルデショ。  
混ぜこぜだから 濁音が 入るでしょう。

060T: アノー ジャーチョット アノ モトモトノ コチラノホーゲンデスヨネ。  
あのー じゃあちよっと あの 元々の こちらの方言ですよ。

ソノ ナンプノホーゲンッテイウノワ ミナサン オスキデスカ。  
その 南部の方言っていうのは みなさん お好きですか。

061B: ツガルヨリワ ズーット イイドオモイマスヨ ヤサシートオモイマス。  
津軽よりは ずーっと 良いと思いますよ 優しいと思います。

062A: ウン ソーネ  
うん そうね

063B: ソレカラ アノ コドバモ ツガルノ アノ オグノホーイッダラ スゴイモンネ  
それから あの 言葉も 津軽の あの 奥の方行ったら 凄いもんね

ホントニ イマノヨモギダトカ アッジ オグノホーワ キゲナイデスヨ。  
本当に 今の蓬田とか あっち 奥の方は 聞けないですよ。

キョーモ ハナシシダッタケドモ フキューイン ミサワノ フキューイン  
今日も 話していたけども 普及員 三沢の 普及員

ヤッテルカタガ ムゴーノホーノ シュッシンノカタガ ミサワノ  
やっている方が 向こうの方の 出身の方が 三沢の

フキューショニ フニンシテキタコトガ アルンデスケドモ ソノヒトガ、  
普及署に 赴任してきたことが あるんですけれども その人が、

ノーギョーシドーヤッダラ ノーカノヒトダチワ キゲナイデ コマルッデ  
農業指導やったら 農家の人達は 聞けないで 困るって

アンマリ ツガルベンガ コスギルノガナ。 ソーイウゴドモ アリマシタ。  
あんまり 津軽弁が 濃すぎるのかな。 そういうことも ありました。



ハジノヘベンワ ヤワラカイデス ナンブベンワ (A ウン ソーネ) ンデ  
八戸弁は やわらかいです 南部弁は (A うん そうね) それで

ハナシシダッタンスケドモ ウジノ チョーリツビョーインノ インチョー  
話ししていたんですけれども うちの 町立病院の 院長

ヤッデイダ X2 センセーッテイウカタガ オギナワガラ キダッタンスケドモ  
やっていた X2 先生っていう方が 沖縄から 来ていたんですよ

コノヒドワ ヒョージュンゴデシタケドモ ソレカラ イマノ インチョーワ  
この人は 標準語でしたけれども それから 今の 院長は

グンマケンノ シュッシンデス。 ダラ コトバガ カンジャンコトバガ  
群馬県の 出身です。 そしたら 言葉が 患者の言葉が

ワガラナクテ カンゴフ ツーヤク ツケタンスケドモ。 ソーイウヨーナコトデ  
わからなくて 看護婦 通訳 つけたんですよ。 そういう様なことで

マー ゼンゴグデギニワ タイヘン ゼンゴグガラクレバ ドイツゴ  
まあ 全国的には 大変 全国からくれば ドイツ語

ハナシデルヨーニ キゴエルソーデスケドモ。 ワダシノ コートーガッコーノ  
話ししてるように 聞こえるそうですけども。 私の 高等学校の

オンシノセンセー ダイガクノキョージュ ヤッデルンダッテ。 ンデ  
恩師の先生 大学の教授 やっているんだって。 それで

ソノヒトガ アノ トナリノカタガタガ フダンワ オクサンド ツガルベン  
その人が あの 隣の方々が 普段は 奥さんと 津軽弁

ハナシシテ ダイガクノキョージュニナレバ サスガニチガウッテ  
話しして 大学の教授になれば さすがに違うって

ドイツゴデハナシテルッテ カイワシテルッテ イッタッタンスケドモ、  
ドイツ語で話しているって 会話しているって 言っていたんですけれども、

マー ヨソガラクレバ ソーカモシレマセンネ。 イマノ インチョーセンセーモ  
まあ 余所から来れば そうかもしれませんね。 今の 院長先生も

カナリクローシタラシーデスヨ ミミキゲネーッテ シャベルンダ ミンナデナ  
かなり苦労したらしいですよ 耳聞こえないって しゃべるんだ みんなでね

ミミワタシカニ トーイラシーケドモ ソレデ ホレ キキトレナイガラ  
耳は確かに 遠いらしいけれども それで ほら 聞きとれないから

コドバオ キキドレナイガラ ダカラ イマノ サイガイノヨーナ バアイワ  
言葉を 聞きとれないから だから 今の 災害のような 場合は

マー キューカンデ ハコバレレバ ドコドンダガッテナ。 アルテイド  
まあ 急患で 運ばれれば どこどうだかってね。 ある程度

ソーイウゴドモ カンジンナノカナード オモイマスネ。  
そういうことも 肝心なのかなあと 思いますね。

064T: アノ ゴジブンノ コドモサントカ アルイワ オマゴサンノセダイデスヨネ。  
あの ご自分の 子どもさんとか あるいは お孫さんの世代ですよ。

ソーイウヨーナセダイニ コノチホーノ ホーゲンッテイウーノワ  
そういうような世代に この地方の 方言ってというのは

ウケツイデイッテ ホシーモノダト オモイマスカ。  
受け継いでいって ほしいものだと 思いますか。

065B: ドーデショーカナー。  
どうでしょうかなあ。

066C: ワダシテキニワ ヤッパリ エー ナン ナンノブンヤデモ ソーダケドモ  
私的には やっぱり えー × 何の分野でも そうだけれども

マモルベキモノオ オー ツタエテイクベキモノオ アルイワ モー  
守るべきものを おー 伝えていくべきものを あるいは もう

スクラップ アンド ビル デナイケドモ ハー ココデイイヤッテ  
スクラップ アンド ビル でないけれども もう ここでいいやって

セイリスルベキモノオ ソーイウンタノ アルトオモウワケ。 ホーゲンモ  
整理するべきものを そうというようなの あると思うわけ。 方言も

ヤッパリ オナジデ マモッテイガネバネーノモアルシ  
やっぱり 同じで 守っていかなきゃいけないものもあるし

ツタエテイガネバネーノモアルト オモウンデスヨ。  
伝えていかなきゃいけないものもあると 思うんですよ。

ソレワ ワダシ コジンテキナ カイシャクノ ナガデワ  
それは 私 個人的な 解釈の 中では

ホーゲンワ アー チイキノブンカデアルガラ  
方言は あー 地域の文化であるから

ブンカッテイウノワ ヤッパリ マモッテイカネバ ナンナイシ  
文化ってというのは やっぱり 守っていかなきゃ ならないし

ツタエテイガネバ ナンナイトイウフーニ オキカエザルオエナイト。 ヤッパリ  
伝えていかなきゃ ならないという風に 置き換えざるをえないと。 やっぱり

エー ナンデ ホーゲンガ ゼンコクカクチデ エー コンナニ エー  
えー なんて 方言が 全国各地で えー こんなに えー

オナジヒトツノモノデモ ヒョーゲンガチガッテ ハッタツシタノカッテ  
同じ一つのものでも 表現が違って 発達したのかって

イウコトオ ヤッパリ チョット キョーミアッテ イロンナノオ ミタリ  
いうことを やっぱり ちょっと 興味あって 色々なのを 見たり

キイタリシタケドモ ヤッパリ センゴクノジダイニ ヤッパリ ソノチイキノ  
聞いたりしたけれども やっぱり 戦国時代に やっぱり その地域の

うー デイリスルヒトオ クブンスルタメニ エー コトバノチガイデ  
うー 出入りする人を 区分するために えー 言葉の違いで

アンゴーミタイニ コノチクワ ソーイウ コトバズカイニヨッテ  
暗号みたいに この地区は そういう 言葉遣いによって

シャベガタガチガウカラ アー ヨソノチイキノヒトダト アー トイウフーナ  
話し方が違うから あー 余所の地域の人だと あー という風な

クベツノシカタッテイウノガ ヒトツノ ヨーインカナットイウフーニ ウー  
区別の仕方っていうのが 一つの 要因かなっという風に うー

ワダシモ ソーイウフーニ エー リカイシテ アッナルホドナット  
私も そういう風に えー 理解して あっなるほどなっ

オモッタケドモ、 ダケドモ コトノコレワ ソーデアッテモ ジッサイ エー  
思ったけれども、 だけれども ことのこれは そうであっても 実際 えー

ゲンザイブンカトシテ エー ノゴッテイイモノワ チャントコーノゴシタイシ  
現在文化として えー 残っているものは ちゃんとかう残したいし

ツタエテイガナケレバ ナラナイノカナト イウフーニオモイマス。 アノー  
伝えていかなければ ならないのかなと という風に思います。 あのー

ワダシネ ホントワ アケドッテイウノワ ガッペイマエノ シモダナンダケド  
私はね 本当は / / / っていうのは 合併前の 下田なんだけれど

モモイシニズット オセワニナッテ ソダデデイタダイタッテイウノガ アノー  
百石にずっと お世話になって 育てていただいたっていうのが あのー

ショーガッコー チューガッコー コーコーッテ モモイシナンデスヨ。  
小学校 中学校 高校って 百石なんですよ。

デスカラ コトバズカイッテイウモノワ アー シモダトイウ カンカクデワ  
ですから 言葉遣いっていうものは あー 下田という 感覚では

アー モモイシノ ヒトダジノ チイキノコトバデ ソダテラレテイル  
あー 百石の 人達の 地域の言葉で 育てられている

トイウノモ ヒトツ カンズルトコロガアルノデ、 モモイシノ ムカシガラノ  
というのも ひとつ 感じるところがあるので、 百石の 昔からの

コドバノナカデモ ホンワカト ヤンワリト カタリカケル ウー コトバガ  
言葉の中でも ほんわかと やんわりと 語りかける うー 言葉が

タトエバ アノナスッテイウ カタリカケノコトバガネ ソーイウンタノモ  
例えば アノナスっていう 語りかけの言葉がね そういうようなのも

ウー オーバーサンナンカニ ヒトコトイワレテ エー ホンダイノコトバオ  
うー おばあさんなんかに 一言言われて えー 本来の言葉を

イワレルド ズイブントコー チガッタモノニナルシ、 マー アノナス  
言われると ずいぶんところ 違ったものになるし、 まあ アノナスに

カギッタコトジャナイケドモ アー ゼヒトモ ヤッパリ コノコトバワ  
限ったことではないけれども あー ゼひとも やっぱり この言葉は

ノコシテオキタイナッテイウ ホーゲンワ ヤッパリ ノゴサネバナンナイン  
残しておきたいなっていう 方言は やっぱり 残さなきゃならないし

ツタエデイガネバ ナンナインデネーガナ。  
伝えていかなきゃ ならないのではないかな。

067B: ワダシワネ モー シゼンド コレワ ナグ ナグナルト キョーツー ゼンゴグ  
私はね もう 自然と これは × なくなると 共通 全国

ゼンゴグデギニ キョーツーゴニ ナルンデナイガナーットイウ コエダゲノ  
全国的に 共通語に なるのではないかなという これだけの

アレガアルヤ ブンカドガ テレビドノ エイキョーダバ ヤッパリ  
あれがあるし 文化とか テレビなどの 影響だと やっぱり

ガクジュツテギドガ ブンカデントードカ ソーイウノニツイテワ  
学術的とか 文化伝統とか そういふのについては

ヒツヨーデショ。 ダドモ トクベツ イマワモー ソーイウ ダンダント  
必要でしょう。 だけれども 特別 今はもう そういふ 段々と

ソーイウアレガ ナグナッテキデルガラ シゼンニ スタレデイグンデ  
そういうあれが なくなってきているから 自然に 廃れていくのでは

ナイガナード オモッテマス。 ダガラ ガクジュツテギニ センセイガタガ  
ないかなと 思っています。 だから 学術的に 先生方が

ケンキューステ コーイウノガ ドレホドワ ノコ ノコスベキダトワ  
研究して こういうのが どれほどは × 残すべきだとは

オモイマスケドモ コドバドシテワ アエテ イマワモー コノヘン  
思いますけれども 言葉としては あえて 今はもう この辺

コドモダジワ スゴグ ヒョージュンゴダガナンダガ ワガンナイケド マー  
子どもたちは 凄く 標準語なのかなんなのか わからないけれど まあ

ソノハンメン マダ ヘンナコドバガ イッパイデデキデ ジャン ドガ  
その反面 また 変な言葉が いっぱい出てきて じゃん とか

ナンダズガ デデキデ シラナイコドバガ、 ダガラ モットコー ニホンノ  
なんなのか 出てきて 知らない言葉が、 だから もっとこう 日本の

コドバドガ コクゴドガ ソーイウヨーナアレワ モースコシコー  
言葉とか 国語とか そうというようなあれは もう少しこう

スッカリシタモノオ ヤッデグヒツヨーガ アルンデナイガナド オモイマスネ。  
しっかりしたものを やっていく必要が あるのではないかなと 思いますね。

ホドンド ガイライゴガ ハイッデキデルデショ。(A ウン) ソレガラ ヘンナ  
ほとんど 外来語が 入って来ているでしょ。(A うん) それから 変な

ツグリコドバ モー ワガイヒトダジガ カッテニツケダコトバガ  
造り言葉 もう 若い人達が 勝手につけた言葉が

リュウコーシデキデ ソレガテレビデ ダンダンダンダン ハイッデキデルガラ  
流行してきて それがテレビで 段々段々 入って来ているから

ホントノコドバワ ヤッパリ タダシーコドバワ アノノコシデ ノコシデッデ  
本当の言葉は やっぱり 正しい言葉は あの残して 残して行って

キズイデイグベギダナート オモイマスケド、 アエテ ダマッデデモナグナルト  
築いていくべきだなと 思いますけれど、 あえて 黙っていてもなくなると

オモイマスヨ コノヘンノ コドバワ ホーゲンワ  
思いますよ この辺の 言葉は 方言は

068T:A サンハ ドーデスカ。  
Aさんは どうですか。

069A: マサニ ソーオモイマスネ。 モーケッギョグ コゴニバツカリ スンデルンデ  
まさに そう思いますね。 もう結局 ここにばかり 住んでいるので

アリマセンガラ デアルイデマスカラ ソースルト スゼンデキニ モー  
ありませんから 出歩いていますから そうすると 自然的に もう

ツホーノ コドバズーノワ ナンツーンデスカネ ヒョージュンカ  
地方の 言葉というのは なんていうんですかね 標準化

サレデイグネ。 マズダイイジニ ガッコークョーイクガ ソーイウフーニ  
されていくね。 まず第一に 学校教育が そういう風に

ナッテキテマスガラ ウッド ソノ ツホーノコドバオ ツカワナケレバ  
なっていますから うっと その 地方の言葉を 使わなければ

イミガ ツタワラナイトイウダンカイワ トーリスギテマスガラ。  
意味が 伝わらないという段階は 通り過ぎていきますから。

070B: マー ダダ ドガ アッパ ドガズーコドバ ツガッタンデスヨ マエワ。  
まあ ダダ とか アッパ とかいう言葉 使ったんですよ 前は。

ダダ ドガ アッパ ドガッテ (A ウンウン) ワヤ ドガッデ。 ダケド  
ダダ とか アッパ とかって (A うんうん) ワヤ とかって。 だけど

ソーイウコドバオ ツカウヒドナイデシヨ イマ コドモダジ オカーサン  
そういう言葉を 使う人いないでしょう 今 子ども達 お母さん

オトーサンデスヨ ミンナ  
お父さんですよ みんな

071A: シタシミサッテ カンジカライクト ヤハリ ツホーノ ホーゲンノホーガ  
親しみさって 感じからいくと やはり 地方の 方言の方が

ハルカニ シタシミガ アルワケデスヨネー マーソノ ウチジャナイデスカ  
はるかに 親しみが あるわけですよー まあその 家じゃないですか

ウジノナカデスカ ツカワナイコドバ ソノツイキデシカ ツカワナイコトバト  
家の中でしか 使わない言葉 その地域でしか 使わない言葉と

ソーイウノワアッテモ ワルグワナイデスネ。 ソースルト ヒジョーニ  
そういうのはあっても 悪くはないですね。 そうすると 非常に

ズブンノ カンジョーオ イスノソツーガ ヒジョーニ ツタワリヤサイト。  
自分の 感情を 意思の疎通が 非常に 伝わりやすいと。

072B: ソゴノ コドバオ ツガッテルホーワ スタシミガアッテ タイヘンコー  
そのの 言葉を 使っている方は 親しみがあって 大変こう

ハナシヤスガッタリスルンデスケド ハンメン マー ソーイウナ  
話しやすかったりするんですけど 反面 まあ そういうような

カグイツテギナ コーアレガ ダンダンニ フキューシテギテルガラ。  
画一的な こうあれが 段々に 普及してきているから。

073A: イマ シカシ マー ウジノ チョーナリアダリデモ ムガシノコドバツカッテ  
今 しかし まあ うちの 町内回りでも 昔の言葉使って

ダメダドガツツーコトワ マッタグナイデスネー。 カエッテ ソーイウ  
だめだとかっていうことは まったくないですね。 かえって そういう

コドバノホーガ コー ショーニンサレデルメンモ アルンデスヨ。  
言葉の方が こう 承認されている面も あるんですよ。

074B: ホンドニ ムガシノコドバ ソノマジノ ヤッパリ ワレワレ モー ネンパイノ  
本当に 昔の言葉 その町の やっぱり 我々 もう 年配の

ワシャダネ (A ソーデスネ) ハチシューダイグライニ ナッタラ マーソノママ  
話者だね (A そうですね) 八十代ぐらいに なったら まあそのまま

ハナスシテルンデスカ マー ワダシラノ ツイギデワ。  
話ししているんですか まあ 私たちの 地域では。

075T: アノ ムカシワヤッパリ ホーゲンツカウナッテイウノ ガッコートカデ  
あの 昔はやっぱり 方言使うなっているの 学校とかで

アリマシタカ。  
ありましたか。

076A: イヤ イジジギ アッタンデナイデスカ ヤッパリ アノ ツホーノコドバオ  
いや 一時期 あったのではないですか やっぱり あの 地方の言葉を

ヒテーサレダドギワ コーシテヨマデワ イガナイケレドモ デギルダゲ コノ  
否定された時は こうしてよまでは いかないけれども 出来るだけ この

カテーナイデモ ウン ツカワナイ ツカワナイホーニ ガッコークョーイクノ  
家庭内でも うん 使わない 使わない方に 学校教育の

オシエデアッタガナ ソーイウノ アッダゴトワ タシカナンデスネ。 コノマエ  
教えであったかな そういうの あったことは 確かなんですね。 この前

ケイローカイアッデ ツクズクソレオカンジ ケイローカイノドキデスネー  
敬老会あって つくづくそれを感じ 敬老会の時ですね

トシヨリダジ ナナジューゴサイイジョーノヒトダジ アズメデ ケイローカイ  
年寄り達 七十五歳以上の人達 集めて 敬老会

ヤッダドギニ モーダイブ カワッデキタナーッテイウ イメージ  
やった時に もう大分 変わってきたなっている イメージ

モッタンデスヨネー。 マエダッタラアノー ソーイウヒトダジガアズマルトネー  
持ったんですよ。 前だったらあの一 そういう人達が集まるとねー

ホドーンド ホーゲンダッタンデスガネー コノマエ ワダシ ヨーガラ  
ほとんど 方言だったんですけどねー この前 私 // // //

キニナッタンデスガネ ケイローカイヤッダラ アマリ ソノ ムガシノ  
気になったんですけどね 敬老会やったら あまり その 昔の

ナズカシー ホーゲンッテノガネ アマリ ナガッダデスネー。 カナリ コノ  
懐かしい 方言っていうのがね あまり なかったですねー。 かなり この

マーオマゴサンダジド セイカツシデルカンキョーモ アルドオモウンデスケド。  
まあお孫さん達と 生活している環境も あると思うんですけど。

077C: ヤー Bサンモ Aサンモ ヒジョーニ ゲンジズオ トラエドコロガ シビアデ  
ヤー Bさんも Aさんも 非常に 現実を とらえどころが シビアで

ワシノカンカクトワ アー チョットコー レーサーニ ブンセキサレデルナト。  
私の感覚とは あー ちよっところ 冷静に 分析されているなど。

078B: マー ソーイウノワ ヒツヨーダド オモウンダケドモ ゲンジツワ  
まあ そういうのは 必要だと 思うんだけども 現実ほ

ソーナッデナイ シゼント キエデイグンデナイガナ ワダシノ カンデワネ。  
そうっていない 自然と 消えていくのではないかな 私の 勘ではね。

079A: タスカニ ソーデスネ。  
確かに そうですね。

080T: アノ サッキデスネ シンサイノトキニ ボランティアノカタガキタ アノマー  
あの さっきですね 震災の時は ボランティアの方が来た あのまあ

ベーグンモッテイウノモ アッタンデスケド アノ ヨソノトチカラ  
米軍もっていうのも あったんですけど あの 余所の土地から

ボランティアノカタタチトカモ オイラセニワ ダイブハイラレタンデスカ。  
ボランティアの方たちとかも 奥入瀬には 大分入られたんですか。

081B: ドーデスカ。  
どうですか。

082C: ウーン。  
うーん。

083T: アノ ジモトノカタノ ボランティアアッテイウ カンジデスカ。  
あの 地元の方の ボランティアっていう 感じですか。

084C: ウーン ジモトノガ ホトンドダト オモイマス。 アノ タシカニ アノー  
うーん 地元の方が ほとんどだと 思います。 あの 確かに あのー



ボランティアキョーカイトカ アー ソーイウキカンカラノ ハケントイウノモ  
ボランティア協会とか あー そういう機関からの 派遣というの

マッタグ ゼロデワナイト キーデルンデ マー ジッサイワ ドノグライ  
まったく ゼロではないと 聞いているので まあ 実際は どのくらい

アッダカッテイウノワ チョッド サダガデワ ナインデスケドモ デモ  
あったかっていうのは ちょっと 定かでは ないんですけども でも

ホトンドワ チョーナイデノ ボランティアガ シュダッダド オモイマス。  
ほとんどは 町内での ボランティアが 主だったと 思います。

トーショワ。  
当初は。

085T: アノ タトエバ B サンのオウチニ コーアノ ドロダシトカデスネ、コー  
あの 例えば Bさんのお家に こうあの 泥出しとかですね、 こう

タタミアゲルトカ ソーイウナ ボランティアワ ジモトノカタデスカ。  
畳あげるとか そういうような ボランティアは 地元の方ですか。

086B: イヤ シンセギドガ ヤグバノオービードガ ソレガラ マー シンセギガ  
いや 親戚とか 役場のOBとか それから まあ 親戚が

オモデスネ。 クルマ トラックダ ゼンブタズサエデ キテグレマシダガラ  
主ですね。 車 トラックだ 全部携えて 来てくれましたから

ヤグバノ ショクインモ オービーノガダモ テズダイニ ナンカ  
役場の 職員も OBの方も 手伝いに なんか

テツダイスルゴドワ アリマスガッテモ キタッダデスケドモ イヤトクベツ  
手伝いすることは ありますかってのも きていたんですけども いや特別

ナニガ フジューナノアッダラ シラセデクダサイッテイウノワ アノ  
何か 不自由なことあったら 知らせてくださいっていうのは あの

ケッコー アリマシタネ。  
結構 ありましたね。

087T: アー ソレワアノ ベツナトコロカラ キタカタデスカ。  
あー それはあの 別なところから 来た方ですか。

088B: エー アノ ホンチョーノアダリデ ウジノカガガ ケッコー ホレ トモダジガ  
えー あの 本町の辺りで うちの妻が 結構 ほら 友達が

アルガラ フジンカイドガ イヤ ナニナニ ボランティア ヤッデマスガラ  
あるから 婦人会とか いや なになに ボランティア やっていますから

ウジノカガ ダガラ ヨビカゲ ヨビカゲナクテモ オシラセクダサイッテ  
うちの妻 だから 呼びかけ 呼びかけなくても お知らせくださいって

アリマシタ イヤ ローリヨグワ マニアッデマスガラ アッホレ トーユドガ。  
ありました いや 労力は 間に合っていますから あっほら 灯油とか。

おいらせ・震災のときのこと

話し手

話者 A：男性（調査時 75 歳）

話者 B：男性（調査時 76 歳）

話者 C：男性（調査時 55 歳）

001A:Bサンノドゴワ、\_\_\_\_\_ (B ウン) シンサイ キタンダイネ。  
Bさんのところは、\_\_\_\_\_ (B うん) 震災 来たんだよね？

002B:イヤ ホレ X1 サンド ショッチュー テューボーデ アウワゲダベサ。  
いや ほら X1さんと しょっちゅう 堤防で 会うわけだ。

(A ウンウン) ンデ ワダシワー ホレ アノー ウンドーデ (A ウーン)  
(A うんうん) それで 私は ほら あの 運動で (A うーん)

\_\_\_\_\_カイガンテューボーヲ ズンート アルイテルワゲダ。 (A ハイハイ)  
\_\_\_\_\_海岸堤防を ずーっと 歩いてるわけだ。 (A ハイハイ)

ンデ チョード ソノトキイッテ カイガンテューボーイッテ ソノ  
それで ちょうど そのとき行って 海岸堤防[に]行って その

カイガンデューボーヲ カイ カエッテカエルドキ (A ウーン)  
海岸堤防を × 帰って帰る時 (A うーん)

\_\_\_\_\_ (A ウーン) {笑}。

\_\_\_\_\_ (A うーん) {笑}。

ソーユーツモリデイデ アノヒニカギッテ、(A ハイ) コウギョーダンチノ  
そういうつもりでいて あの日に限って、 (A はい) 工業団地の

ハウニ マワッダワゲ。 コウギョーダンチノハウニマワッデダラ、  
方に まわったわけ。 工業団地のほうにまわったら、

X2 ッテユー \_\_\_\_\_ ワカリマセンカ？ (A X2?) X2 ッテユー  
X2 っていう \_\_\_\_\_ わかりませんか？ (A X2?) X2 っていう

(A アーX2サン ハイハイ) X2サンノ ドコニキダラ アノ  
(A あーX2さん はいはい) Xさんの ところに来たら あの

ツヨイジシंगा アリマスガラー ツナミノー アノー アレガ  
強い地震が ありますから 津波の あのー あれが

アリマスヨ ッテユー、 ツナミノオコル アレガアリマスヨー ッテイウネ  
ありますよ っていう、 津波の起こる あれがありますよ っていうね

ラズオガ ハイッタワゲ。 (A ウン) ンデ ラズオニハイッテ、  
ラジオが 入ってわけ。 (A うん) それで ラジオに入って、

ソシテ マモナグデスヨ、 マモナグ イヤー ナンボグレーカナ  
そして まもなくですよ、 まもなく いやー どのくらいかな

ジュウビョー グレーガナ スゴイ ソノ ジシंगा キタワゲ。  
十秒 くらいかな すごい その 地震が 来たわけ。

(A ウン) シタラ モウ ジテンシャワ ノラレネーガラ (A ウーン)  
(A うん) そしたら もう 自転車は 乗られないから (A うーん)

ジテンシャサ ノラレナイドゴデ、 ビッシリキッタヨ アノ ジテンシャサ  
自転車に 乗れないから、 びっしり~~~~~ あの 自転車に

ツカマッテルワケ。 (A ハイ) ンダラ X2サンノ ジューギョーインノ  
つかまってるわけ。 (A はい) そしたら X2さんの 従業員の

ヒドダジガ キャーキャーッテ オンナノヒドダジ、 (A アーアー)  
人たちが キャーキャーッテ 女の人たち、 (A あーあー)

キャーキャーッテ デテコレネワゲヨ (A ウーン) ナガニ  
キャーキャーッテ 出てこれないわけよ (A うーん) 中に

ハマッテダガラ。 デ デンチュウワ モウ グーラグーラ イヅタオレルカ  
はまってたから。それで 電柱は もう グーラグーラ いつ倒れるか

(A ホーオー) トイウヨウナ、 ソウイウ ジョウタイデス。  
(A ほおーおー) というような、 そういう 状態です。

ソイデモ ニダラレネーガラ、 (A ハイ) ジテンシャサ バート  
それでも 逃げられないから、 (A はい) 自転車に ばーっと

ツガマッテ、 ンデ ソノアイダニ ダンダン ヨワクナッテキタラ  
つかまって、それで その間に だんだん 弱くなってきたら

アノー ソノヒンカラ デテキタワゲ。 (A ウーン)  
あの一 その辺から 出てきたわけ。 (A うーん)

キャーキャーキャーキャーッテ デデキタ ソトエ デデキタワゲ。  
キャーキャーキャーキャーッテ 出てきた 外へ 出てきたわけ。

ソイデ ソノトキ ツナミガ イジメーターッテ イイマシタヨ。  
それで その時 津波が 1メートルって 言いましたよ。

(C ウーン) イジメーターノ ツナミガ ヨソウサレマッテ。

(C うーん) 1メートルの 津波が 予想されますって。

(A ホーオ) トコロガー イジメーターッテ アソコワ ハジメーター~~~~~

(A ほーお) ところが 1メートルって あそこは 8メートル \_\_\_\_\_

(A ソウデスネー) テイボウガ。 イジメーダーッテ ナンニモ

(A そうですね) 堤防が。 1メートルって 何も

タイシタコトネーベナッド オモッデー ジテンシャデ ソノママ ズーット  
大したことないって 思って 自転車に そのまま ずっと

キダワゲ。(A ハイ) ンダラ ニホンハムノ ヒドダジガ イーッパイ  
来たわけ。(A はい) そしたら 日本ハムの 人たちが いっぱい

ハクイキテ \_\_\_\_\_ (A ウーン)

白衣着て \_\_\_\_\_ (A うーん)

クルマニ ノ ノラナイデ ニゲルッテ \_\_\_\_\_ (A ホー)

車に × 乗らないで 逃げるって \_\_\_\_\_ (A ほー)

デ ソウ \_\_\_\_\_。 イジメーダーガ ナンボダラ タイシタコトネーベナッド  
で そう \_\_\_\_\_。 1メートルか そこらなら 大したことないと

オモッデ、ジテンシャデ キタンデスヨッテ。 イヤ ムセンデ エート  
思って、 自転車で 来たんですよって。 いや 無線で えーと

ヒナンシテクダサイトバツテ カイガンニイルヒトニ。(A ホー)

非難して下さいって 海岸に居る人に。(A ホー)

ジャアッド オモッデ キタラ ヒトガメのX3サンノ トコニキタラ、  
じゃあっと 思って 来たら 一川目のX3さんの ところに来たら、

マダ ニガイノ オオユレガ キタワゲ。(A ハイ)

また 二回の 大揺れが 来たわけ。(A はい)

グラグラグラト ヨシガキテ シテ イヤー \_\_\_\_\_ ットオモッデ  
ぐらぐらと \_\_\_\_\_ が来て そして イヤー \_\_\_\_\_ と思って

キダラ、 イエノナガワ ゼーンゼン ソノママデ イダワゲ。(A ホー)

来たら、 家の中は 全然 そのままで いたわけ。(A ほー)

モノモ オジナイシ (A ハイ) イヤー ナンモ タイシタコトネガッタナー

物も 落ちないし (A はい) いやー 何も 大したことなかったなー

トオモッテ、 ワタシ アノ カワノソバデショ? (A ウーン、ハイ)

とあって、 私 あの [家が]川の側でしょ? (A うーん。はい)

ンデ ツナミ、 ソノヒニ イッパイ アズマッデー アノ \_\_\_\_\_

それで 津波、 その日に いっぱい 集まって あの \_\_\_\_\_

ザスダンシテ、 ナンモ イエモ コワレネーシ シンパイネーナ ッテオモッテ。  
雑談して、 何も 家も 壊れないし 心配ないな と思っテ。

ソシテ イダラ、 ダンダンニ コンド アレガ\_\_\_\_\_ ツナミノ タカサガ。  
そのようにして いたら、段々に 今度 あれが\_\_\_\_\_ 津波の 高さが。

ハジメーダートガ ジューメーダーグライニ ナル。 シダラ \_\_\_\_\_  
8メートルとか 10メートルぐらいに なった。 そしたら \_\_\_\_\_

ポンプノ ヒトダジガ (A アー) キテ コッカラ ヒナンセー ヒナンセー  
ポンプの 人たちが (A あー) 来て こっから 非難してー 非難してー

ッテ。 シデー、 アノー トウジガラ ツヨイジシン、 ツナミカラ イケバ  
って。 それで、 あのー 当時から 強い地震、 津波から いけば

モウ ワダシノ イエガ モーット ズーット ヒクグデ、コナカッタデスヨ。  
もう 私の 家が もっと ずっと 低くて、 来なかったんですよ。

マズモ マダ ズーッド アノ コーユー ヒクグデ ウミガ スッカリ  
/// まだ ずっと あの こういう 低くて 海が すっかり

ミエル。 ダガラ ツナミズーノワ オボエテル\_\_\_\_\_。(A ウン、ハイ)  
見える。 だから 津波っていうのは 覚えてる\_\_\_\_\_。(A うん、はい)

モウモウ マックロック ナッテ コウ テンキガ イイノワ グウゼン、  
もうもう 真っ黒く なって こう 天気が 良いのは 偶然、

マックロック ナッテ モリアガッテ クルンデスヨ、 ツナミガ。  
真っ黒く なって 盛り上がって くるんですよ、 津波が。

ソイデモ ウジノ マエマデ チョット ヤスリニ ハイッタダケダラ  
それでも うちの 前まで ちょっと /// 入っただけだから

ソレ ソレグライダラ アレダケ ヒガイガ アツツイジシン ツナミガ  
それ それぐらいだから あれだけ 被害が ///地震 津波が

オオガッタデショ (A アー、ハイ) カワグチアダリ (A ハイハイ)  
多かったでしょ (A あー、はい) 川口辺り (A はいはい)

ウチガ ナガサレダリシテ。 ソレデー アレヲ ヒカクスレバ  
家が 流されたりして。 それで あれを 比較すれば

テューボーガ ハジメーダーモ コウ タカクナッタ カワゾコカラネ。  
堤防が 8メートルも こう 高くなった 川底からね。

(A ウーン) ソシテ コレヲコエテクルズワ マズガ スゴイ  
(A うーん) そして これを越えてくるのは まず すごい

オオキカッタデシヨ。(A ウーン) オソラク ナイダロウ トユーヨウナ  
大きかったでしょ。(A うーん) 恐らく ないだろう というような

コトデ ミンナ ソーユーノニ、 ナニ コレグライ クル コンナニ  
ことで みんな そういうのに、 何 これぐらい 来る こんなに

クルコトワ アリエネーッテ。 ンデ X4サンッテ オボエデマスカ  
来ることは ありえないって。 それで X4さんって 覚えてますか？

(A アー、ハイハイ) アノヒドガ ハチジュウハジデ チョット クガズーニ  
(A あー、はいはい) あの人が 88[歳]で ちよっと 9月に

ナクナッタイダヨネ。 ンデ アノヒドガ ヨク ウジニ アソビニキテ、  
亡くなったんだよね。 それで あの人が よく うちに 遊びにきて、

(A アー) アノー ナンベワサ ナンモ シンパイネーベ、 イマ  
(A あー) あのー / / / / 何も 心配ない、 今

アノトウジ アレー ズウーッド ショウワハジネンノ ツナミガラ ミンナ  
あの当時 あれー ずっと 昭和8年の 津波から みんな

ワダシワ オボエデルガラ ゼンゼン シンパイネー ッテ、 アンシンシテモ  
私は 覚えているから 全然 心配ない って、 安心してても

イイデスヨッテ トユーヨーナコトデ コレダゲ セイビスレダモノ ッテ。  
いいですよって というようなことで これだけ 整備されたもの って。

ユーヨーナコトデ、 ダレモ ツナミガ ワダシノアタリマデ クルト  
[と]というようなことで、誰も 津波が 私の[家]の辺りまで 来ると

オモッテネガッタワゲ。(A ウーン) デ ニゲロニゲロー ッタドゴデ、  
思ってなかったわけ。(A うーん) それで 逃げろ逃げろー ってとこで

ヒナンジョサ マズ イヤ アンマリ ニゲナイデイレバ \_\_\_\_\_  
避難所に まず いや あんまり 逃げないでいれば \_\_\_\_\_

ッテオモッデ イヌ ツレデ、 ウチノ カカアワ ソーユー クルマ オメー  
って思って 犬 連れて、 うちの かかあは そういう 車 お前

アッチサノッテイケ ッテイウンデ ノセテヤッタワケ。(A ウーン)  
あっちに乗って行って って言うから 乗せてあげたわけ。(A うーん)

ソイデ イヌ ツレデ ヒナンジョサ イッタラ マア ケッコウアツマッテ  
それで 犬 連れて 避難所に 行ったら まら 結構集まって

イガッタンデスヨ。 ソシテー \_\_\_\_\_ イヤー スンゴク  
良かったんですよ。 そして \_\_\_\_\_ いや すごく

ナミガ カワニ ハイッテキタヨッテ。 (A アー)  
波が 川に 入ってきたよって。 (A あー)

スイモンガ アルガラ (A ハイハイ) モウ カワヲ ノボッテクル \_\_\_\_\_  
水門が あるから (A はいはい) もう 川を 上ってくる \_\_\_\_\_

(A ウーン) イヤ スゴイ \_\_\_\_\_ ダヨッテー。  
(A うーん) いや すごい \_\_\_\_\_ だよってー。

ンダラ イヌヲ オキナガラ イッテクルーッテ サガッテタラ モウ  
そしたら 犬を 置きながら 行ってくるって 下がったら もう

ゼンゼン。 モウ イッパイナッテ \_\_\_\_\_ ハチゴウセンガ リュウボクドガ  
全然。 もう いっぱい[に]なって \_\_\_\_\_ 8号線が 流木とか

スナガ タイセキシテ コウツウドメニ ナッテルワゲ。 (A ウン)  
砂が 堆積して 交通止めに なってるわけ。 (A うん)

デ マア ソレニ ミナガッタガラ \_\_\_\_\_ ケドモ、 スゴガッダト  
それで まあ それに 見なかったから \_\_\_\_\_ けども、 すごかったと

オモウヨ。 ミズガ アノヘンワ。 (A ソレワソウダヨネ) ゲンインワ  
思うよ。 水が あの辺は。 (A それはそうだよネ) 原因は

ソレコソ アレ ハジメーダー ノガ マタ サラニ ワイアガルワケ。  
それこそ あれ 8メートル のが また 更に わい上がるわけ。

(C ウンウン) ポンプノアレ (C ウーウンウン) スイモン シメル  
(C うんうん) ポンプのあれ (C うーうんうん) 水門 閉める

アレ (C キカイ ソウサ スル コヤッコネ) アレガ ゼンブ  
あれ (C 機械 操作 する こやね ) あれが 全部

ブットンデシマッタガラ、 オソラク ジューメーダー イジョウワ キテタト  
ぶっ飛んでしまったから、 おそらく 10メートル 以上は 来てたと

オモイマス。 ンデー ソレガマズ イイトシテ。 ソレカラ テューボーガ  
思います。 それで それがまず いいとして。 それから 堤防が

トチュウデ キレテルンデス。 (A ウーン、ハイ \_\_\_\_\_) ソノ スナノ  
途中で 切れてるんです。 (A うーん、はい \_\_\_\_\_) その 砂の

テューボー ダッタガラ ソレ ゼンブ ヤブッデ X4 サンガ センナナヒヤク  
堤防 だったから それ 全部 破って X4 さんが 1700

トカッテイウ ブタガ イタデショウ。 (A ソウソウソウ)  
とかっていう 豚が いたでしょう？ (A そうそうそう)



アレガ ナガレデ ソレカラ ギャクリューシテ カワニ ハイッタンスヨ。  
あれが 流れて それから 逆流して 川に 入ったんですよ。

(A ウーン) ソレガ ホレ カワニ ハイッテ ガー ットキタワケ。

(A うーン) それが ほれ 川に 入って がー っと来たわけ。

003C:アノー ホントウデイエバー ホラ アノー X5サンノ タントーダッタトコデ、  
あの 本当でいえば ほら あの X5さんの 担当だったとこで、

X4サントコサ カダズケノ テツダイニ マズ ウー サンガツ ジュウイチ  
X4さんのところに 片づけの 手伝いに まず うー 3月 11[日]

カラー ウー シガズノ ゲジュンマデデ ヤグ イッカゲズハン ズード  
から うー 4月の 下旬までで 約 1ヵ月半 ずっと

ゲンバニ イデ エー デ X4サンノ ハナシ キイタツケ。  
現場に いて えー それで X4さんの 話 聞いた。

(B ウン) イマ Bサン シャベツダトオリ スイモンノトコガラ

(B うん) いま Bさん 言った通り 水門のそこから

~~~~~ノトコノ (A ウン) (B ウン)

~~~~~のどこの (A うん) (A うん)

テューボーガラ モウスコシ コー フタメ ウエサ アガッテイゲバ  
堤防から もう少し こう ふたつ 上に 上がっていけば

エー チョンド ボウフウリンガ キレデ (A ウン) (B ウン)

えー ちょうど 防風林が 切れて (A うん) (A うん)

ナンネンカマエニ ウエダドゴ アルッ (B ウエカエシタノ)

何年前に 植えたところ ある? (B ~~~~~ 植え替えたの。)

ウン。 ソコノ ヒクイトコサ ミーンナ ツナミガ タシカネー エー  
うん。 その 低いところに みんな 津波が 確か えー

イッパワ イジメードルチョット ダケレドモ ダイニハガ アー ソノ  
1波は 1メートルちょっと だけれども 第2波が あー その

シチハチメートル デ ヤラレテルワケ。 デ ミサワギョコウノ テマエニ  
7、8メートル で やられてるわけ。それで 三沢漁港の 手前に

ヘッドランド ッテユー ノガ ~~~~~ブロック ナラベタヤツガ

ヘッドランド っていう のが ~~~~~ブロック 並べたやつが

アルンダケドモ、 (A ウンウン) デ ヒトガメノ ヒトンドノハナシ

あるんだけど、 (A うんうん) それで 一川目の 人たちの話

キケバ、 ハジノヘノホウカラ ツナミガ イチ ニ サン ヨン マイグレー、  
聞けば、 八戸の方から 津波が 1 2 3 4 まいぐらい、

コウ キテルノヲ フタガメノヒトトガ オカノウエデ ミテルラシインダヨ。  
こう 来てるのを 二川目の人とが 丘の上で 見てるらしいんだよ。

デ ソノツナミガ フタガメノ ホウサ イッタ、 デ \_\_\_\_\_ノ サカイノ  
それで その津波が 二川目の 方に 行った、それで \_\_\_\_\_の 境の

\_\_\_\_\_ブロックサ ブツカッテ オリカエシタ。 (B ウン) デ ニマイメ  
\_\_\_\_\_ブロックに ぶつかって 折り返した。 (B うん) それで 2まいめ

サンマイメガ ソノ キリメのトコサ ドーン トハイテッテ X4サンノ  
3まいめが その 切り目のとこに どーん と入って X4さんの

トウシャバ チョクゲキシテ。 ブツブシテシマッタト。  
当社を 直撃して。 ぶっ潰してしまった。

004B:ブダガホレ (C ウン) ナナトウ X6サントコ ナナトウカ ハットウ  
豚がほら (C うん) 7頭 X6さんのとこ 7頭か 8頭

\_\_\_\_\_ニナッタベ? (C ウンウンウン) オラホウノ アタリモ ブタ\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_になったでしょ? (C うんうんうん) 私の方の 辺りも 豚\_\_\_\_\_

(A ハアー)

(A はあー)

005C:トウジ アノ ニセンゴヒヤクトウ トウジツ アズカッテダガラ デ エー  
当時 あの 2500頭 当日 預かってたから それで えー

ミサワノ シジョウサ ダシテ アドワ マ ハッキリイッテ モウ シュッカ  
三沢の 市場に 出して あとは ま はっきり言って もう 出荷

デキル ブタワ ハヤグ シマツ シネバマイネーガラ デ アド  
できる 豚は 早く 始末 しなきゃいけないから それで あと

ココブダワ チョウナイノ ナカマンドゴサ ムリョーデ ヒキドッテモラッテ  
子豚は 町内の 仲間のとこに 無料で ひきとってもらって

ソノ カズノ ノコリワ ゼンブ ステテルガラ。 (B \_\_\_\_\_)  
その 数に 残りは 全部 捨ててるから。 (B \_\_\_\_\_)

センゴヒヤグ チョンドセンゴキヤグ。  
1500 ちょうど1500。

006B:ソシテ コンド ヒナンシテ ヒナンジョデワ マズ ワダシワ フタバング  
そして 今度 非難して 避難所では まず 私は 二晩

ヒナンジョニ トマリマシタ。 (A アー) (C ウン)  
避難所に 泊まりました。 (A あー) (C うん)

サムイドキデ サムクテー サムクテー (C イヤー、ウン) デ アドデ  
寒い時で 寒くてー 寒くてー (C イヤー、ウン) それで あとで

ヤクバノ \_\_\_\_\_ナガマド (A ハイ) トマリ イッテキテ (A ハイ)  
役場の \_\_\_\_\_仲間と (A はい) 泊まり 行って来て (A はい)

フロサモ ハイネバナナンネーベシ ッテ、 トメデモラツタリサ (A ホオー)  
お風呂にも 入らないといけないし ッテ、 泊めてもらったりさ (A ほおー)

イヤ オカゲデ ホント ミンナー タスゲデ、 イヤ ドーシタラ イエノ  
いや おかげでほんと みんな 助けて、 いや どうしたら 家の

ナカワ グリット カリデシマッテ \_\_\_\_\_ ゼンブ オシリガラ イチダン  
中は //// //////// //// 全部 お尻から 一段

ヒトツ フタツ ミガ アトゼンゼンダメ ソシテ \_\_\_\_\_  
1つ 2つ /// あと全然だめ そして \_\_\_\_\_

アノー ジンザイセンター シルバー (A ウンウン)  
あの 人材センター シルバー (A うんうん)

\_\_\_\_\_ ミンナシテ キテクレタノ。  
\_\_\_\_\_ みんなで 来てくれたの。

ソーユーナコトデ マ アノトージ ヨルデスッタバ ケッコウ シニン ガ  
そういうことで ま あの当時 夜だったら 結構 死人 が

デタト オモイマスヨ。 (A ウン、ソウネ) ヒルダツタガラ ヨカダシ。  
出たと 思いますよ。 (A うん、そうね) 昼だったから 良かった。

(C ンダイネ、\_\_\_\_\_) カワウチノ ワダシノ ドウキデ \_\_\_\_\_  
(C そうだね、\_\_\_\_\_) 川内の 私の 同期で \_\_\_\_\_

サンビャクミーター グライ \_\_\_\_\_ (A ウン、ナンガイッダネ)  
300メートル くらい \_\_\_\_\_ (A うん、なんか言ってたね)

\_\_\_\_\_ アッタニ ゲンキダヒトガ。  
\_\_\_\_\_ あんなに 元気だった人が。

(A ハアーア) ソーユーヨーナコトデ シニワ ミサワノ ギョコウデ  
(A はあーあ) そういうようなことで 死人は 三沢の 漁港で

デテタケドモ モウ ヨルダツタラ ツナミガ クルドコデ ナカッダシ。

出てたけれども もう 夜だったら 津波が 来るところでは なかったし。

(A ウン) デ オーキナ \_\_\_\_\_ トナリの X7サン \_\_\_\_\_  
(A うん) それで 大きな \_\_\_\_\_ 隣の X7さん \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ ツイデルワゲヨ。 (A ウン) ソレヲ コイデ オオキナ ドッガガラ  
\_\_\_\_\_ ついてるわけよ。 (A うん) それを 越えて 大きな どっかから

ナガレデキダ シリョウガ ナガレデキタリ、 アド ショーキイス \_\_\_\_\_  
流れてきた しりょうが 流れて来たり、 あと しょうきイス \_\_\_\_\_

オオキナ ショーキイスガ ウジノ イエサキテ ブツガッテ ンデ ドアンド  
大きな しょうきイスガ うちの 家に来て ぶつかって それで ドアとか

コワシタワケ。 ウジノナガワ モウ アレ マズノハデ コーンナニ  
壊したわけ。 家の中は もう あれ 松の葉で こんなに

ハイッテタ ヤズガ (C ウン、ウン) イエノヤヅモ ゼンブ。  
入ってた やつが (C うん、うん) 家のやつも 全部。

ソイデ ワダシワ ワリド ノブドイ ホウダガラ モシモ アレバ  
それで 私は 割と 野太い 方だから もしも あれば

シンデダッタガモシレナイ。 (A ウーン) マ ソーユー ヨーナ シンガイ  
死んでたかもしれない。 (A うーん) ま そういう ような 震害

デンタ。 \_\_\_\_\_ ヨウヤク イマ マダ \_\_\_\_\_ ハンデ アレデスケド。  
でした。 \_\_\_\_\_ ようやく 今 まだ \_\_\_\_\_ だから あれですけど。

(A ウーン) タダニ トリカエナクシテモ \_\_\_\_\_。  
(A うーん) ただ とりかえなくしても \_\_\_\_\_。

デンキガ トマッダデショ? (A ハイ) トコロガ デンキヲ  
電気が 止まったでしょ? (A はい) ところが 電気を

ヒパッテクレネェンデスヨ。 アノ \_\_\_\_\_ ゼンブ。  
引っ張ってくれないんですよ。あの \_\_\_\_\_ 全部。

(A アー、ナルホドネ) イッカゲツグレー カカル ッテユーガラ  
(A あー、なるほどね) 1ヶ月くらい かかる っていうから

イヤー ドレダバ \_\_\_\_\_ ダッテ。 ンデ コンドワ コジンデ アノー  
いや それだったら \_\_\_\_\_ だって。それで 今度は 個人で あの

ギョーシャヲ \_\_\_\_\_ シテ (A ハイ) ゼーンブ チェック スルゴト  
業者を \_\_\_\_\_ シテ (A はい) 全部 チェック すること[に]

ナツダワゲ。 (A ハイ) ンデ フツガ グライダッテ デンキ  
なったわけ。 (A はい) それで 2日 くらいたって 電気[が]

フッキュウ シマシタケドモ。 (A ホー) フロガダメ トイレガダメデショ  
復旧 しましたけども。 (A ほー) お風呂がダメ トイレがだめでしょ

ミズマワリワ ゼンブダメ (A ソウダヨネー) ダガラ トイレモー  
水回りは 全部だめ (A そうだよね) だから トイレも

ベヅナホウニ イッテ カリニイッター ー ミズヲ モラッテキタリ、  
別な方に 行って 仮に行ったり 水を もらってきたり、

トーユガ ナイヨトユー。(C ウン) ソレクライ \_\_\_\_\_ミンナガ  
灯油が ないという。(C うん) それくらい \_\_\_\_\_みんなが

タスケラレテ \_\_\_\_\_。 ナニガ フジユウアリマセンカ? ッテイエバ、  
助けられて \_\_\_\_\_。 何か 不自由ありませんか? って言えば、

トーユーガネ ッテイエバ、 イヤ ウジニ スコシ アルガラ  
灯油がない って言えば、 いや 家に 少し あるから

ワゲデヤルガ トユーヨーナコトデ。 オカゲサマデ。  
分けてあげようか? というようなことで。 おかげさまで。

ミンナノ キョウリョク \_\_\_\_\_。  
みんなの 協力 \_\_\_\_\_。

## 5.5 八戸市

### 八戸市の概要

#### 1. 位置・行政区画

八戸市のホームページには以下のように記載されている。

八戸市は、太平洋に臨む青森県の南東部に位置し、北はおいらせ町（旧百石町、旧下田町）及び五戸町、西は南部町（旧福地村・旧名川町・旧南部町）、南は階上町及び岩手県軽米町に接しています。

地形は、なだらかな台地に囲まれた平野が太平洋に向かって広がり、その平野を三分する形で馬淵川、新井田川の2本の川が流れています。

臨海部には大規模な工業港、漁港、商業港が整備され、その背後には工業地帯が形成されています。このため、優れた漁港施設や背後施設を有する全国屈指の水産都市であり、北東北随一の工業都市となっています。

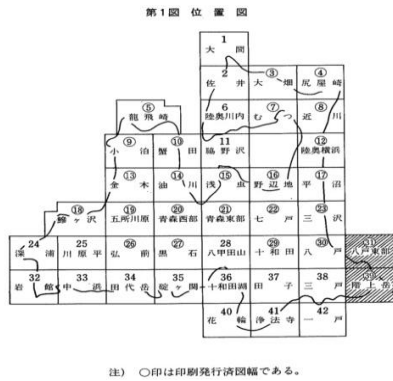
平成17年3月31日に合併した南郷区（旧南郷村）は、「ジャズとそばのまち」として全国的な知名度を誇り、ブルーベリーなどの地場産品を生かした特産物の開発なども行なわれています。

- ・ 北緯 40度30分
- ・ 東経 141度30分
- ・ 市域面積 305.40km<sup>2</sup>



マピオン：<http://www.mapion.co.jp/map/admi02.html>

以下の図は土地分類基本調査 八戸東部・階上岳(PDFファイル)より引用。



## 2. 交通

八戸へは、東北新幹線・東北自動車道・電車・新幹線等様々なアクセス方法で来る事ができる。

### 鉄道

- ・ 東京～八戸（東北新幹線：約 3 時間）

### 高速バス

- ・ 八戸～東京（シリウス号：9 時間 5 分）
- ・ 八戸～盛岡（特急八盛号：2 時間 20 分）
- ・ 八戸～仙台（うみねこ号：4 時間 10 分）

「はちのへの観光」の交通アクセスより引用。

引用元：<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/kanko/access/access.html>

## 3. 地勢

青森県の東南部に位置し、北は中核都市八戸市、また、八戸港から東部にかけて 15,5km の海岸線(県立自然公園指定)をもって太平洋を望み、南は標高 740m 階上岳を境とする岩手県となっている。地形は南の階上岳の北面に開けた山麓地帯を除いては、ほぼ平坦地で、山麓の階上岳から見ると多少凹凸があるものの西方から東方に下降している。

土地分類基本調査 八戸東部・階上岳(PDF ファイル)より引用。

## 4. 戸数・人口

| 区分         | 男(人)    | 女(人)    | 計(人)    | 世帯数(世帯) |
|------------|---------|---------|---------|---------|
| 複数国籍       | —       | —       | —       | 260     |
| 日本人        | 115,125 | 124,630 | 239,755 | 104,208 |
| 外国人        | 314     | 409     | 723     | 363     |
| 総計(人口・世帯数) | 115,439 | 125,039 | 240,478 | 104,831 |

平成 24 年 9 月 30 日現在

以上の図は八戸市人口データ(総人口一覧 PDF ファイル)より引用。(引用元：  
<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/index.cfm/8,49150,c.html/49150/20121102-185914.pdf>)

## 5. 産業

[産業構造] (22.10 国調) (人、%)

| 区分         | 就業人口    | 構成比  |
|------------|---------|------|
| 第1次産業      | 3,926   | 3.7  |
| 第2次産業      | 24,456  | 23.1 |
| 第3次産業      | 77,412  | 73.2 |
| 計(分類不能分含む) | 108,446 |      |

構成比は分母から分類不能分を除いて算出

市町村ハンドブックより引用

<http://aomori-kassei.jp/wp/wp-content/uploads/data/hanndobook%20web%20keisai.pdf>

八戸港にはイカが多く水揚げされ、その他 60 種類ほどの魚が水揚げされます。特に、北方(北海道やロシア海域)で獲れる魚は種類が多く、カレイ類や赤物とよばれるキンキン、メヌケ類といった魚が水揚げされる。

## 6. 被災状況

以下の図は被災状況 災害対策本部員会議第9回資料より引用。

<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/index.cfm/9,39551,c.html/39551/sth201104051500.pdf>

| 被害区分     | 被害の状況                                                                                                                         |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1)人的被害   | ○ 死亡1名 ○ 行方不明者1名 ○ 重傷6名 ○ 軽傷11名<br>※上記のほかに岩手県内での死者1名、行方不明者2名あり。                                                               |
| 2)建物被害   | ○ 全壊 218棟 ○ 大規模半壊 68棟 ○ 半壊 389棟<br>○ 一部破損 359棟 ○ 床上浸水 1,600世帯                                                                 |
| 3)観光関係施設 | ○ マリエントで海水汲み上げポンプ水没のため使用不可等<br>○ 蕪島周辺でトイレ水没、プレハブ売店流出 など<br>○ 白浜海水浴場施設(トイレ、監視棟)シャッター、窓ガラス破損 など<br>○ 種差海岸遊歩道 遊歩道の一部損傷及び案内版破損 など |
| 4)商工関係   | ○ 八戸港国際物流ターミナル 事務所2階部分の崩落 など<br>○ 八戸駅前連絡通路 ユートリー及び八戸駅舎との接合部分の破損等<br>○ 八戸地域地場産業振興センター 内壁面及び窓ガラス等破損                             |
| 5)農林関係   | ○ 市川地区の水田、畑の浸水、いちご等栽培用パイプハウス全壊<br>○ 八戸苺生産組合の建物被害 など                                                                           |
| 6)水産関係   | ○ 第1魚市場、第2魚市場、第3魚市場、卸売場 卸売業者詰所全壊等                                                                                             |



|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第3魚市場で津波浸水約2m</li> <li>○ A棟、B棟 大型タンカー岸壁乗り上げ、魚体搬送設備、製氷設備破損等</li> <li>○ 水産会館 1階各室 全損</li> <li>○ 一種漁港（白浜ほか） 作業小屋全壊、漁船破損・流出 など</li> <li>○ 漁船 中型いか釣り漁船 岸壁打ち上げ（6隻）等</li> <li>○ 水産加工場等施設の1階部分全損 など</li> <li>○ 市川船溜り 漁協施設全損、漁船流出 など</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 7)福祉関係    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新湊はますか保育園、浜市川保育園 津波により壊滅状態</li> <li>○ しみず保育園ほか3保育園 トイレ壁タイルにひび等</li> <li>○ 老人いこいの家海浜荘 1m20cm 浸水</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 8)建設関係    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 館鼻汚水中継ポンプ場 津波によるポンプ場建物・設備の損傷</li> <li>○ 市川町字下揚地先水路 延長 L=350m、厚さ 30cm 約 770 m<sup>3</sup>土砂堆積 など</li> <li>○ 市道桔梗野長者久保線陥没 L=7.0m W6.0m 沈下量=42cm（応急復旧済）</li> <li>○ 市道61路線 ごみ流出堆積（うち市道白浜海水浴場線通行止め）等</li> <li>○ 八太郎北防波堤先端部を中心に損壊 など</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 9)体育施設関係  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 長根公園 パイピングリンク破損、体育館の階段モルタル落下等</li> <li>○ 南部山健康運動センター 体育館天井パネル落下等</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 10)文教関係施設 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 八戸小学校ほか39小学校 外壁剥離・落下等</li> <li>○ 第一中学校ほか16中学校 E X J 破損等</li> <li>○ 小中野公民館ほか9公民館 床ひび割れ、天井はがれ等</li> <li>○ 給食センター 北地区ほか3給食センター 調理場天井の一部剥離・落下等</li> <li>○ 八戸市公会堂 音響反射板昇降用マシン・ガイドレール破損等</li> <li>○ 八戸市公民館 外壁ひび割れ、タイル剥落等</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 11)ライフライン | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東北電力（地震直後から市内全域停電）</li> <li>・ 3月12日夜 市内順次復旧（市庁 3/12 22:15 復旧）</li> <li>・ 4月4日 17:00 八戸市内停電件数 56件</li> <li>○ 八戸ガス 3月12日 13:00 以降大口需要先（市営住宅等）12件で供給停止</li> <li>3月14日 00:30 都市ガス供給開始</li> <li>○ 水道 南郷区島守地区 水源地取水停止（復旧済）</li> <li>○ バス 市営バス、南部バスともに4月1日以降通常運行</li> <li>○ 鉄道 青い森鉄道（4/5）【青森～八戸】通常ダイヤ（全路線通常運行）</li> <li>J R 八戸線（4/5）【八戸～階上】運行本数を減らして運行</li> <li>（4/5）【階上～久慈】運転見合わせ</li> <li>（3/30～ 鮫～久慈間 代行バス運行 1日3往復）</li> <li>東北新幹線（4/5）【盛岡～新青森】 3月22日運転再開</li> <li>【那須塩原～盛岡】 運転見合わせ</li> <li>○ 高速道路 【八戸道】【東北自動車道】ともに通行規制なし</li> </ul> |

まとめ：齋藤考貴・佐々木翠・對馬康太

## 八戸・挨拶

話者A：女性（調査時 71 歳）

話者B：女性（調査時 71 歳）

### <朝の挨拶>

001A：オハヨーサン。  
おはよう

002B：オハヨーサン。  
おはよう

003A：ドコサイグドゴダー。  
どこにいくところ

004B：アダシ イマ ビョーインニ イッテグルドゴ。  
私は 今 病院に 行ってくるところ

005A：ドゴ ワルガッダッゲー。  
どこが 悪かったっけ

006B：イヤ コナイダネー ケンシンセンターニ ケンシンニイッタラネ アタシ  
いや この間ね 健診センターに 健診に行ったらね 私

ヒッカカッタんだヨ。  
引っかかったんだよ

007A：ドゴヨ。  
どこが

008B：イヤホラ イツツモナル コレストロールヨ。  
いやほら いつもなる コレストロールなの

009A：アー ワーモソندانダヨ イッコ コレストロールガタガクテ。  
ああ 私もそうなんだよ ひとつ コレストロールが高くて

010B：ウーン サイケンサガキタガラ ソレニ アダシ イマ  
うーん 再検査（の通知）が来たから それに 私 今

イッテクルドコ。  
行ってくるところ

013A：ンダラ マンズ イッテギテ。  
それなら まず 行ってきて

014B：ジャネー。

じゃあね

<夕方の挨拶>

001A : オバンデスー。(or オバンデシター)  
こんばんは

002B : ドコサイドキタッゲー。  
どこに行って来たの

003A : バンノオカズッコカイニイッテキター ジャネー。  
夕飯のおかず買いに行って来た          じゃあね

004B : アソッカ。  
ああそうか

005A : ジャネー。  
じゃあね

<労い>

001A : ヤスンデケセー キョーフ セッチョハガセダネー。  
休んでください 今日は 苦労かけましたね

002B : ヤスマセー。  
休んで

<勧め>

001A : ヤスンデケセー ヤスミッコクッテケセー。  
休んでください おやつ食べてください

<訪問時の声掛け>

001A : イダガー。  
居るか?

002B : イダヨー。  
居たよ

003A : イヤー イマナー ヤサイオ          ナンダガチンゲンサイダガナンダガ  
いや、今な、          野菜さ、          何だか青梗菜だか何だかを

ヨゲモラッテセ アンダモ カセー。  
多くもらってさ。あなたも食べなさい。

004B : イヤー アリガト オイシソーダネ ウマソーダナ  
いや、ありがとう。おいしそうだね。うまそうだね。

005A : ウン イヤ ナンニ コレ アノ ツケモノデモイイシヨナ  
うん。いや 何、これ、あの、漬け物でもいいし、

オヒタシデモイガツケ コレ。  
おひたしでもいいですよ これ。

006B : ソーダネ ウン ジャ。  
そうだね うん。じゃあ。

007A : ジャ マンズ クツテミセ。  
まあ、食べてみてください。

008B : アリガト。  
ありがとう

### <お見舞い>

001A : デッテラー カラダノチョーシガ ワルイッテッテ キータヘンデ  
どうしてる 体の調子が 悪いって 聞いたから

キタッタケドモー ドーダー アンベワ ドンダッケー。  
来たけれども どう 具合は どうですか

002B : ウーン ナンモチョットネ ハキケガキタッタ ンデヨ ソエデー ビョーインサ  
うーん 何かちょっとね 吐き気がきたの それでね それで 病院に

イッテキタッタ。  
行って来た

003A : イヤ コドシ ヤダラヌギクテ ホレ  
いや 今年 やたら暑くて ほら

ネッチューショーデモナツタンデナガッタト。  
熱中症でもなったのではなかったの

004B : ンー ダッダガモシンナイケドネー。 マズ イッテキデ クスリッコ  
んー そうだったかもしれないけどね まず 行ってきて 薬[を]

ノンダッキャ ナオッタ。  
飲んだら 治った

005A : アソッカー。  
ああ、そうか

006B : イヤイヤ アリガトー。  
いやいや ありがとう

007A : インヤー。

いやあ

008B : セツカグキテクレダッダデショー。  
わざわざ来てくれたんでしょ

009A : ..... オモテヨ ホレ シンペーデキタッダー。  
思ってね ほら 心配できたんだ

010B : ントニ アリガトー イヤイヤ ドーモドーモ。  
本当に ありがとうね いやいや どうもどうも

011A : オタガイニヨー ダンダンニ ホラ トシモトシダシヨ  
お互いにね 段々に ほら 年も年だしね

キズケデガネバナソナー キズケデアレスンベス。  
気を付けていかなければならない 気を付けていきましょう

012B : イヤイヤ アリガトー。  
いやいや ありがとう

013A : アマリムリシネアー。  
あまり無理をしないで

014B : ウンダウンダ。  
そうだそうだ

<禁止>

001A : ワガネワガネ ナゲンナ。  
だめだだめだ 捨てるな

## 八戸・震災談話

話者A：女性（調査時 71 才）

話者B：女性（調査時 71 才）

001 調査者：アノ マズ サイショニナンデスケド ツナミノ トキデスヨネ。  
あの まず 最初になんですけど 津波の 時ですよ。

アノ シンサイノトキダッタデスケドモ アノ シンサイノトキワ ドンナゴヨウスダッタ  
あの 震災の時だったんですけども あの 震災の時は どんなご様子だったん

マズ アノ ジシンガオコッタトキワ (B ウン) ドチラニ イラシタンデスカ。  
まず あの 地震が起こった時は (B うん) どちらに いらしたんですか？

002A :ワタシワ ント オテラニイマシタ。(調査者 ハー) アノ ト ソノオテラツツーノワ  
私は ええと お寺にいました。(調査者 はー) あの × そのお寺って言うのは

ワタシ ゴエーカ ヤッテルンデスヨ イッショニ。 ウン アー ソレデー  
私 御詠歌 [を] やってるんですよ 一緒に。 うん あー それで

オケーコノヒダッタデス。 ソシテー オケーコニイッテー ジャ キョー モー ヤスミ  
お稽古の日だったんです。 そして お稽古に行って じゃ 今日 もう 休み

ヤメマショーッテ オワリニシマショーッテユーノデ ドーグオ カバンニイレダッタデスヨネ。  
止めましょうって 終わりにしましょうって言うので 道具を 鞆にいれたんですよ。

ソーシタラ ジシンキタンデスヨ。  
そうしたら 地震 [が] きたんですよ。

モー カバンニ ミ ゼンブシマイキレネアーウチニ ツ アノ ジシンガ° キタンデスヨ。  
もう 鞆に × 全部しまいきれないうちに × あの 地震がきたんですよ。

サー ナカ° イ ドーシタ ドーシヨ ミンナデズットスワッデ コーヤッデラッタンデスヨ。  
さあ 長い どうした どうしよ 皆でずっと座って こうやってたんですよ。

ソーシタラ トマンナイ ツキ° ツキ° ドツヨグナルデシヨ。 イヤー ワダシ ハー  
そうしたら 止まんない 次々と強くなるでしょ。 いや 私 はー

アミダサマタスケテー ナムアミダブツッテ ホンニオッキナコエデ イワサッタダヨ。  
阿弥陀様助けて 南無阿弥陀仏って 本当に大きな声で 言ったんですよ。

{笑} タスケテー オ チズマセデッデユッタモン。 ウーン モー アミダサン モー  
{笑} 助けて × 鎮めてって言ったもん。 うーん もう 阿弥陀さん もう

キイデクレナガッタ ウン。(B ナカ° ガッタネ) ナカ° ガッタダモンネー。 {笑}  
聞いてくれなかった うん。(B 長かったね) 長かったんだもんね。 {笑}

ソシテー (B       ) ソレマズ ヨーヤクオワッタ オワッタナ アダシ トッサニ  
そして (B       ) それ [が] まずようやく終わった 終わったな 私 咄嗟に

イハイドーニハシッデイギマシタ。 ウン スッテ マズ アノ マエノ ハルカノトギワ  
位牌堂に走って行きました。 うん そして まず あの 前の 三陸遥沖地震の時は

モー メチャクチャダツタンデスヨ。 イハイドーノ アノー アレカ°  
もう めちゃくちゃだったんですよ。 位牌堂の あの あれが

オテラノイハイドーガネー モー イハイガコッチカラコッチカラ モー チラバツテ  
お寺の位牌堂がね もう 位牌がこっちからこっちから もう 散らばって

タイヘン アノー スゴガッタガラ アダシ トッサニモー イハイドーニハシッテ ゲッ  
大変 あの 凄かったから 私 咄嗟にもう 位牌堂に走って ××

イガサッタノ。(B ウンウンウン) ソシテ マズ ミエダラ キレーダツタ。(B ウン)  
行ったの。(B うんうんうん) そして まず 見たら 綺麗だった。(B うん)

イチニカシヨ アノ イハイノ トビラガアイデラノ (B トビラ ウンウンウン)  
一か所 あの 位牌の 扉が開いていたの (B 扉 うんうんうん)

アトゼンブキレーダツタノ。(B ウン) デ スータラモー  
あと全部綺麗だったの。(B うん) それで そしたらもう

ダイニノホーサイッタノモ イガレナガッタノ アノ ボーカトビラカ°  
第二の方へいったけど 行けなかった あの 防火扉が

ツブ シマツテシマツテ クテ キテ ジューシサンオワタシ ワ  
×× 閉まってしまって くて // 住職さんを私は

オシヨ アノ センセーツテユーンデスヨ。 センセー  
和尚 あの 先生って言うんですよ。 先生

イハイドーワダイジョブデシターツテユッデマッス {笑}  
位牌堂は大丈夫でしたって言って// {笑}

アタシ ツ アノ アレシテダツタンデスヨ。 タラ ソシテイダドゴニ コンダ  
私 × あの あれ [を] してたんですよ。そうしたら そうしていた所に 今度

ウジノ ジイサンムガエニイッタンデスヨ。 オーツナミダゾツテ。(B ウンウンウン)  
うちの 爺さん迎えにいったんですよ。 大津波だぞって。(B うんうんうん)

ウン イヤーソ デンワシヨータツテ モー ソノトキワ ダレモ  
うん いや// 電話しようとしたって もう その時は 誰も

アダシイハイドーミテルウジニ ントー ミンナカ° ウチサデンワシタミタイダツタノヨ。  
私 [が] 位牌堂 [を] 見てるうちに ええと 皆が うちに電話したみたいだったのよ。

ダラ デンワツージナイヨーッテ X1 チャンカ° アッジャー  
そしたら 電話 [が] 通じないよって X1 ちゃんが // //

デンワツージナイヨーッテイッダガラ イヤー コレタイヘンダナッテイッテルウジニ  
電話 [が] 通じないよっていったから いやー これ [は] 大変だなんて言ってるうちに

ウジノジーサンムガエニキタノ オーツナミダッテ。 ウン {笑} ソシテ オレ  
うちの爺さん [が] 迎えに来たの 大津波だぞって。 うん {笑} そして //

ミンナ ノセデ マズ アレシタデショ ウン。  
皆な 乗せて まず あれ [を] したでしょ うん。

003B : ニカイ ツケ (A ソシタ ウン) アノトキ ニカイジシンカ° キタデショ ニカイ。  
二回 つけ (A そうした うん) あの時 二回地震が来たでしょ 二回。

004A : アー ソレマデワ (B ニカイキタノ) スグ スグ。 (B ウン スグ) ジャー  
あー それまでは (B 二回来たの) すぐ すぐ? (B うん すぐ) じゃー

ウジナンカ モー ムガエニイッテ (B ウン) ソレガラガナー アタシ  
うちなんか もう 迎えに行って (B うん) それからかな 私

キカ° ツガナガッタ。  
気が付かなかった。

005B : ニカイアツタンダヨ。 (A ンー) ニカイ \_\_\_\_\_ アンー ソドニデダラ (A アー)  
二回あったんだよ。 (A んー) 二回 \_\_\_\_\_ // 外に出たら (A あー)

ワタシワ ホラ アノ (A モシカシタラ クルマニノッデ) イチゴノホラ  
私は ほら あの (A もしかしたら 車に乗って) 苺のほら

イチゴヤサンニ アノー チョードセンベツ ソレオ ホラ テズダイニ イッテダノネ  
苺屋さんに あの 丁度選別 それを ほら 手伝いに 行ってたのね

チカグノウチニ。シタラホラ アノー キタワゲ ンデ スグオワルダロード オモッデタラ  
近くのうちに。 そうしたらほら あの 来たわけ それで すぐ終わるだろうと 思ってたら

オワラナイノネ。 モースゴイネユレガ (A ンー) ナカ° ガッタノ。  
終わらないのね。 もう凄いね揺れが (A んー) 長かったの。

ンデ ンマ イチオ ジャー ソドニデヨツツーノデデダノネ。 ンデ ドーロニコーデデ  
それで ×× 一応 じゃあ 外に出ようって言うので出たのね。 それで 道路にこう出て

ンデマズ オサマッテ マダハイッデ (A ウン) ンダラ マダキダノヨ。  
それでまず 治まって また入って (A うん) そうしたらまた来たのよ。

(A アー ジシンカ° ネ) ウン ンデ マダデダノ (A ウン)  
(A あー 地震がね) うん それで また出たの (A うん)



ニカイキタノ。(A アー)  
二回来たの。(A あー)

006A : ジ スノアニ イッカイキタノワ アダシ モーモキオグニナイモンネ。 モシカスレバ  
× // // 一回来たのは 私 もう記憶にないもんね。 もしかしたら

クルマニジーサンムカエニイッテ。  
車に爺さん [を] 迎えにいって。

006B : ニカイキタノ ニカイキタノ ソレデオワリガナーッテオモッテ。  
二回来たの 二回来たの それで終わりかなって思って。

007B : デモ ソノツナミッテユーノワ クルッテユーノワ ゼンッゼンアダマニナイワゲネ。  
でも その津波って言うのは 来るって言うのは 全然頭にないわけね。

(A ンー) モー ソノジシンダゲデ オワルモンダドオモッデラッダン ウン。  
(A んー) もう その地震だけで 思るもんだと思ってた うん。

008A : \_\_\_\_\_ (B ウジラノホーフ) ウジノジーサン ホラ (B ウン) オーツナミダズッデ  
\_\_\_\_\_ (B 私たちの方は) うちの爺さん ほら (B うん) 大津波だぞって

ムガエニイッダガラ (B ウン) ウン ソシテ アダシ \_\_\_\_\_ ウジニツイダ。 ツイデ  
迎えに行ったから (B うん) うん そして 私 \_\_\_\_\_ うちに着いた。 着いて

アダシ イツモ オシイレノオグニ ソノ ウントー イザトユートギモッテアルグ リュックオ  
私 いつも 押入れの奥に その ええと いざという時 [に] 持って歩く リュックを

ブラサゲデオグンデスヨ。 ソレオ ヒッパル トッテ  
ぶら下げておくんですよ。 それを // // とって

ソレオショッテマズイケバイーヤドオモッデ ショッタ。 ショッター デヨード デダ  
それを背負ってまず行けばいいやと思って 背負った。 背負って 出ようと デダ

ウジデデ ジャー ガ \_\_\_\_\_ニ ヒナンシヨーネ ジーサンッテ ユッデ  
うち [を] 出で じゃあ が \_\_\_\_\_に 避難しようね 爺さんって 言って

マズ デ デヨードシタドギ イヤソーダネー サム ホラ マダサンカ° ツダッダガラ  
まず × 出ようとした時 いやそうだね 寒い ほら まだ三月だったから

サムイバリダガラ モーフモッテイコーガッテユッダノ。 ウン ンダナ モーフミダナモンテ  
寒いから 毛布 [を] 持って行こうかって言ったの。 うん そうだな 毛布ぐらいなもの

タダモッテコネンダヨ \_\_\_\_\_ 一ミシテ モッテゴイッテユッタガラ ンダネッテ。  
そのまま持って来ないんだよ \_\_\_\_\_ みして 持って来いって言ったから そうだねって。

ウントー クルマガラオリデー ウジニハインネーマエニ ア ケサ センタグシタ センタグモノ  
ええと 車から降りて うちに入る前に あ 今朝 洗濯した 洗濯物 [が]

ホササッテ ホシテッタカラ ソレイーベッデ \_\_\_\_\_ モッテコッテ ハズシテラッタデスワ。  
干してあって干していったから それ [が] いいって \_\_\_\_\_ 持って行こうって 外していたんです。

ソーシタラホラー モー ミズキターッテユーンダモノ。 ソレオモッタマンマ  
そうしたらほら もう 水 [が] 来たって言うんだもの。 それを持ったまま

クルマニノッタデスヨ アタシ。 ダガラ アダシワ ツナミニアッテモ キガエオ  
車に乗ったんですよ 私。 だから 私は 津波にあっても 着替えを

イッカイブンモッテラッタデスヨ。 ソノ センタグノオカゲデ センタグシタノオ  
一回分持っていたんですよ。 その 洗濯物のお蔭で 洗濯したのを

ハズシタオカゲデ アダシ キガエワ モッテラッタデスヨ ウン。  
外したお蔭で 私 [は] 着替えは 持っていたんですよ うん。

ソデネ モーモー キタッキリダッガラ ナンニモ モダナイ ソノセンタグモノト  
それでね もうもう 着たきりだったから 何にも 持っていない その洗濯物と

ソノリュックオ ショ ンー リュックニナニモハイッテナインダヨ。 ントー タダ ボーハン  
そのリュックを ×× ンー リュックに何も入っていないだよ。 ええと ただ 防犯

ボー ボーカンギト ソレカラ ントー ミズトー ソレカラ ミズオイレルフクロトー  
×× 防寒着と それから ええと 水と それから 水を入れる袋と

ソレダゲシカハイッテナイリュックダ \_\_\_\_\_ ソレオショッテマズ アダシ イッタン デデ デダ。  
それだけしか入っていないリュックだ \_\_\_\_\_ それを背負ってまず 私 [は] 一旦 ×× 出た。

ダガラモッテッタノワ ナンニモダナイ オガネゼンゼンモタナーイ {笑}  
だから持って行ったのは 何に持っていない お金 [も] 全然持っていない {笑}

イッセンモモダナイ {笑} (B みんなソーダヨネ みんなソーダモン)  
一銭も持っていない {笑} (B 皆そうだよ 皆そうだもん)

ウン (B うん) ンー イーンヤー ソシテ モー ホラミズキターッテユッダガラ  
うん (B うん) ンー いいや そして もう ほら水 [が] 来たって言ったから

タダ マズバヤシノアダリデ ワシャワシャワシャ \_\_\_\_\_ キレーナミズガミエダンデスヨ。  
ただ 松林のあたりで わしゃわしゃ \_\_\_\_\_ 綺麗な水が見えたんですよ。

ソッテ ソレゴソー モー ソレオミデ アダシ ニゲダンダガラ ウン。 {笑}  
そして それこそ もう それを見て 私 逃げたんだから うん。 {笑}

(B キキイッパツ) ソレガー イッパ イッパナン (B うん) ウン (B イッパ)  
(B 危機一髪) それが 一波 一波なん (B うん) うん (B 一波)

ソシテ (B \_\_\_\_\_) ダンジニマズ サ イッダラ モー ガッコーノ  
そして (B \_\_\_\_\_) 団地にまず / 行ったら もう 学校の

アソゴノ ウ ウラニワモーハイラレナガッダガラ ア ダンチニイッタデショ。  
あそのの × 裏庭にはもう入れなかったから × 団地に行ったでしょ。

ダンチニイッデデ ダレモマダ ムスコダジキテナガッダガラ ウーン  
団地に行つて 誰もまだ 息子たち [は] 来てなかったから うーン

シタツキヤ マコ° キタンダヨ マゴガネ。 ダタツキヤ ラ ウコッケー バーサン  
そうしたら 孫 [が] 来たんだよ 孫がね。 そして ね 烏骨鶏 [を] 婆さん [が]

ウチサイレデ デ ストーブツケレ ユッタノ。  
うちに入れて それで ストーブ [を] つけろつて言ったの。

ダツキヤ ジーサン デンキキエダバ ストーブズグッテガッデ ゴーユッタノヨ。  
そして 爺さん [に] 電気 [が] 消えたなら ストーブつくつてかつて こう言ったのよ。

ソレオ ジーサンオモイタツテ イッタンモドッタノヨ ウチサ。 ソノー シャ  
それを 爺さん [は] 思い立つて 一旦戻つたのよ うちに。 その ××

ハンシャシキノストーブ アダシダイドゴロデ ハンシャシギツカッデ ツカッデン  
反射式のストーブ 私台所で 反射式[を]使つて 使つてるん

アノー ユガダンダケドモ アノー シ サムイトギワ ソノ チツチャイ  
あの 床暖だけでも あの × 寒いときは その 小さい

ソノー ハンシャシキノストーブツカッデラ ソレオ イチダイツゲデ モーイチダイジュードギ  
あの 反射式のストーブ [を] 使つて それを 一台つけて もう一台という時

イチダイツケダラモー モー ソゴマデモ キデラッダッデ ミズカ° マックロイミズカ°。  
一台つけたらもう もう そこまでも 来てたんだつて 水が 真っ黒い水が。

ソシテ アワデデニゲンダンダバ ソッデ ジーサン ゲンカンオ モーイジダイドモッダドギ  
そして 慌てて逃げたら それで 爺さん [は] 玄関を もう一台と思つた時

アノ モーミズカ° キダガラ ゲンカン タブンアゲデイッタドオモーンダ。  
あの もう水が来たから 玄関 [を] 多分開けて行つたと思うんだ。

ニゲダドイドオモーンダウン。 ダガラ タブン グワァーット ウジノナガサ  
逃げたと思うんだうん。 だから たぶん ぐわあつと うちの中に

ハイッタンデショーネ。ダガラ ゲタバゴー オグマデ ナカ° サレダンジャナイガナーツテ  
入つたんでしょうね。 だから 下駄箱 [が] 奥まで 流されたんじゃないかなつて

ソーゾーワ ソーナンデスヨウン。 {笑} デ サッキオハナシシタミタイナ  
想像は そうなんですようん。 {笑} それで さっきお話ししたみたいなの

ニカイメミダッダヨル ハチジゴロ カエツ ミニキタトギノ ハナシニナルンダケドモネ ウン。  
二回目 [を] 見た夜 八時ごろ 帰 見に来た時の 話になるんだけどね うん。

(調査者 ハー) アレジーサン ドコサ イッタベ ユッデラッダノ マコ° ドフダリデ  
(調査者 はー) あれ爺さん [は] どこに 行ったの 言っていたの 孫とフタリデ

ドゴサイッタベナーッテイッデ コーシテ ドーロガラジーサンノクルマミダイナノミエダラ  
どこに行ったんだらうって言って こうして 道路から爺さんの車みたいなの [が] 見えたから

アレ ジーサン イマキタミタイ ドコサイッテキタベッテ ユッテラッテダノ。  
あれ 爺さん 今来たみたい どこに行つて来たんだらうって 言つてたの。

デデ イエサキテ ソノ イジダイノストーブオツケデ ウン  
出て 家に来て その 一台のストーブをつけて うん

ソーシテダノ アト \_\_\_\_\_ アレ ヒックルゲーシタゴッタヨ ストーブヨ。  
そうしてたの あと \_\_\_\_\_ あれ ひっくり返したことだよ ストーブ。

アブラッグルメーニナッテダモノ。  
油////////なつてたもの。

009B : アワデデ ニケ° ダリ (A ウーン ソー) ダガラホラ (B ウン 笑)  
慌てて 逃げたり (A うーん そう) だからほら (B うん 笑)

ケッキ ガダガダネ。 (A ウーンウンウン) クルマカ°  
/// がたがたね。 (A うーんうんうん) 車が

(A マガ マカ° ルドゴ マガツタリ  
(A ×× 曲がる所 曲がつたり)

010A : ソシテ コゴニキタトギワ モーココデイガレナツタズガラ (B ウンウンウンウン)  
そして ここに来た時は もうここに行けなかつたそうだから (B うんうんうんうん)

ハシワダレナガツタズガラ (B ウンウンウン) ソレマデユーターンシテ コンダ  
橋渡れなかつたそうだから (B うんうんうん) それまでUターンして 今度 [は]

コッチマワッデ アノタガ ダンチマデイッタズガラ (B ガッコードーリネ) ウン  
こっち [を] 回つて あの ×× 団地まで行つたそうだから (B 学校通りね) うん

コノガッコードーリ ウン。デモ ウジモジーサンモ キキイッパツダッタド オモッケドヨ  
この学校通り うん。でも うちの爺さんも 危機一髪だったと 思うけどよ。

(B タブン ソーヨ) ウーンウン。  
(B 多分 そうよ) うーんうーん。

011B : ミズカ° コッチノホーサキデルッテゴドワ モーネ。 (A ウン ウン)  
水が こっちの方に来てるつてことは もうね。 (A うん うん)

012A : ハー ソゴ ハシワダレナガツタズモン (B ウン) ミズカ° キテ。 (調査者 ハー)  
はー そこ 橋渡れなかつたそうだもん (B うん) 水が来て。 (調査者 はー)

013B : イッカイメモオワツタツケ ソゴノハシ ホラ ウジワ アノ ソノ サツキノアノ ハシ  
一回目も終わったら その橋 ほら うちが あの その さっきのあの 橋[が]

アツタデシヨ。 アソゴノシタナンデスヨ。 ダガラ ホラ アノ ミ (B イチガイザカネ)  
あったでしょ。 あそこの下なんです。 だから ほら あの X (B いちがい坂ね)

ウンミズカ° アレガラ ポーント ハネツカエツテキタノオミダノネ。 (A ウーン)  
うん 水が あれから ぽーんと 跳ね返って来たのを見たのね。 (A うーん)

イッカメノトギイッカイメノトギ ソレデホラアノ ウラノホーサ ニゲデネ。 (A ウン)

一回目の時 それでほらあの 裏の方に 逃げてね (A うん)

ウン アノセイマイジョソレゴソ アノ イマワホラ アノヒトタチカ° イルホーマデ  
うん あの精米所それこそ あの 今はほら あの人がいる方まで

(A \_\_\_\_\_マデネ) ウンハシッタノ ダラハモー ミズカ° ネ ドーロオガート  
(A \_\_\_\_\_までね) うん走ったの。 だからもう 水がね 道路をガーっと

コノクサキノドーロオイッテ (A ウン) ダラハ ミセヤサンノホーマデ ミズカ° イッテ  
この////道路を行って (A うん) だから 店屋さんの方まで 水が行って

(A ウン) ワッチラソゴノ X2サンホーサ ハイルドーロオ (A ウン) アソコマデワ  
(A うん) 私らその X2さんの方に 入る道路を (A うん) あそこまで

ミズカ° アツタノ。 (A アレー) タゲワラ (A ウン) カギワゲデネ (A 笑)  
水があったの。 (A あれー) 竹原 (A うん) かき分けてね (A 笑)

モーシッシダモンネ (A ンー ンダホンダ) ニゲ ニゲルノニ。 (A ンー)  
もう必死だもんね (A んー そうだ本当だ) ×× 逃げるのに。 (A んー)

アノ ナンテユーガノー スマトラノ アノ イ アレカ° ホラ テレビデマエニ  
あの 何て言うかあの スマトラの あの × あれがほら テレビで前に

アツタジャナ。 アノ スコ° イアノ (A ウンウンウン) ネ。  
あったじゃない。 あの 凄いやあ (A うーんうんうん) ね。

014A : ツナミネ。  
津波ね。

015B : ウン (A ウン) ソレオ オモイダシタワゲ。 (A ウーン) カワノハセガラ  
うん (A うん) それを 思い出したわけ。 (A うーん) 川の初瀬から

バーント ミズカ° キタノミダガラ。 (A ウーン)  
バーんと 水が来たの [を] 見たから。 (A うーん)

- 016A : ソノドギワ (B サーコレワタイヘン) モー ホイクエンニ ブ ブ イッタンダネ。  
その時は (B さあこれは大変) もう 保育園に × × 行ったんだね。
- (B ソーダッタ) イッパノトギワモー。 (B ウン ウン) アー。  
(B そうだった) 一波の時はもう。 (B うん うん) あー。
- 017B : ンデ ツキ° ノノカ° ホラ ケッコオッキカッタデショ。 (A ウン) ニカイメワ。  
それで 次のが ほら 結構大きかったでしょ。 (A うん) 二回目は。
- (A ウン ニカメノドギネ) ノイッカイメノトギ ホラ (A ウン) ソナ イッカイメトノ  
(A うん 二回目の時ね) 一回目の時 ほら (A うん) // 一回目との
- ソノグライダガラ (A ウン) ソノツキ° カ° マダシドガッタデショ。 (A \_\_\_\_\_)  
そのぐらいだから (A うん) その次が またひどかったでしょ。 (A \_\_\_\_\_)
- ソノアドニ ホラ ネ イッカイメカ° オワッテ バッチャモ コレジャダメダツノデ  
その後にはほら ね 一回目が終わって 婆ちゃんも これじゃだめだって言うので
- ニケ° ナキヤダメダ コンド アッチノ アノー ア ムコ° ーノホラ  
逃げなきゃだめだ 今度 あっちの あの × 向こうのほら
- カネノハシワダッテ (A ウン) ウン。 ンデ  
かねの橋 [を] 渡って (A うん) うん。 それで
- アノー アソゴノ イマトッテキタノ (A X3 ノネ) X2 ドノホーニ  
あの あそこの 今とって来たの (A X3 のね) X3 たちの方に
- (A カイズカノドゴネ) ウン。 アソ (A ウーン) アッチニ ニケ° ダノ。  
(A 貝塚のところね) うん。 ×× (A うーん) あっちに 逃げたの。
- 018A : アソゴマデ ミンナデ アッチマデ ニケ° タミタイダヨネ。 (B ウーン) ウーン。  
あそこまで 皆で あっちまで 逃げたみたいだよ。 (B うーん) うーん。
- 019B : ダンチノホニ イッタヒトモアルンダケドモ ホラ。  
団地の方に 行った人もいるんだけども ほら。
- 020A : ガッコニモ ガッコニイットギワモー ガッコニ ミズカ° ハイッタズノデー。 (B ウーン)  
学校にも 学校にいるときはもう 学校に 水が入ったっていうので。 (B うーん)
- 021B : ガッコニワ (A ウーン) モー イラレナイ。 (A ガッコニイラレナイ ツーノデー)  
学校には (A うーん) もう いられない。 (A 学校にいられない って言うので)
- 022A : マ マツツグ ナガッタンデスヨネー。 (B ウーン ソーソーソー) ウーン。  
× まっすぐ なかったんですよね。 (B うーん そうそうそう) うーん。
- 023B : ホダラ (A \_\_\_\_\_) アンシン ド (A \_\_\_\_\_) オモッテラノカ°  
そうなら (A \_\_\_\_\_) 安心だと (A \_\_\_\_\_) 思ってたのが

(A ウンウン) ガッコノ イッカイサ ハイッチャッタモンデ コンド ホラ  
(A うんうん) 学校の 一階に 入っちゃったから 今度 [は] ほら

ココジャダメダズノデ コンダ ジュータイサ \_\_\_\_\_ (A ウーン) アッチノホーサ。  
ここはだめだって言うので今度 [は] 自衛隊に \_\_\_\_\_ (A うん) あっちの方に。

024A : イッカ テネ。 アノー イッパイ タブン アソゴダドオモンダ キカイシツダトオモンダ。  
\_\_\_\_\_。 あの いっぱい 多分 あそこだと思うんだ 機械室だと思うんだ。

ハイッタノカ° (B アー) ミズカ° アソゴァ ドント ヒクインダヨ キカイシツカ°  
入ったのが (B あー) 水が あそこは ドンと 低いんだよ 機械室が

(B アー ハイハイ) ウン ガッコノネ。 (B ウン) ウン ソゴニイッタブン  
(B あー はいはい) うん 学校のね。 (B うん) うん そこに行ったから

(B ウン) ミズカ° ハイッタオモンダ ウン。  
(B うん) 水が入ったと思うんだ うん。

025B : ナンカ ソーユーゴドデ (A ウン) ガッコモダメダツツゴドデネ ミンナセ ニガイニ  
何か そういうことで (A うん) 学校も駄目だって言うことでね 皆で \_\_\_\_\_ 二階に

アカ° ッタガラ (A ウーンウン) ウン。 ニガイガラミダッテ ヒト \_\_\_\_\_。  
あがったから (A うんうん) うん。 二階から見たって 人。

(A ウン ソダッテネ) コドモタチ ミンナ \_\_\_\_\_ ガッコサ ヒナンシタッタッテ。  
(A うんそうだってね) 子供たち 皆 学校に 避難したって。

ツナミ アノ ジシンノアト モシガシタラ (A アッ) クルンジャナイガッテ  
津波 あの 地震の後 [に] もしかしたら (A あっ) 来るんじゃないかって

(A アッ アソッカー) ウン。  
(A あっ あそうか) うん。

026A : イーハンダダッタネ。 (B ウン) エンチャーセンサーノネ (B ウーン) ウン  
良い判断だったね。 (B うん) 園長先生のね (B うん) うん

(B \_\_\_\_\_) モシ タガイガラダイジョブダド オモッデイダラ (B ウン)  
(B \_\_\_\_\_) もし 高いから大丈夫だと 思っていたら (B うん)

タイヘンダッタモンネ。 ウーン。  
大変だったもんね。 うん。

027B : ウラ ホラ ウラニ アノ スグソゴニ ホイクエンカ° アルンデスヨ。 ンデ マエカ° ホラ  
裏 ほら 裏に あの すぐそこに 保育園があるんですよ。 それで 前がほら

ショーカ° ッコデショ ソゴ。 ソゴニ ホラ ミンナコー アノ ムガエイジ  
小学校でしょ そこ。 そこに ほら 皆こう あの // // // // て

ツナミ デナグシジンノアドニ ムガエカ° キタヒトモ アッタンダケドモ (A アーアー)  
津波 じゃなく地震の後に 迎えが来た人も いたんだけども (A あーあー)

ノコ° ッタゴド オモッタッチゴラ (A ウーン) アノー モ ガッコニ ヒナンサセ。  
残ったと 思ったって (A うーん) あの もう 学校に 避難させた。

デモマズ ソレデネ ヨガッタ。 イン ノコ° ッテル ホラ インチョーセンセーカ°  
でもまず それでね 良かった。 ×× 残ってる ほら 園長先生が

(A ウン) アノ オシナカ° サレダ。

(A うん) あの 押し流された。

028 調査者：ハー。

はー。

029 B : イッガイメノトギダ ニ (A ア) アノトギ イッカイ (A ウン)  
一回目の時だ に (A あ) あの時 一回 (A うん)

アレデモ ホラ コエデキタデショ。 アレ カワカ° マカ° ッテルガラ ホラ ソノ  
あれでも ほら 越えてきたでしょ。 あれ 川が 曲ってるから ほら その

(B ンー ソーナンダヨネ) ブツガルモノ カドカド カサ (A ウーン) バーンと。

(B んー そうなんだよね) ぶつかるもの 角々 かさ (A うーん) バーンと。

030 A : イソズ ガタニナッテルカラ (B                     ) タブン (B ウーン コレー)

                    型になってるから (B                     ) 多分 (B うーん これ)

ソレデブツカル イケバコンダ (B ソーソーソーソーウン) ソッチニ  
それでぶつかる 行けば今度 [は] (B そうそうそうそううん) そっちに

ブツカルンジャネーノ。 (B ウンウン)

ぶつかるんじゃないの。 (B うんうん)

031 B : ウーン ソレデ ケッキョグ ホラ アノ ブツカッタ。 ソノ アレデ ウエサ ホラ  
うーん それで 結局 ほら あの ぶつかった。 その あれで 上に ほら

(A ウーン) インチョーセンセーカ° ギャグノ ゲ アノー ホ ホイクエンノ

(A うーん) 園長先生が 逆の × あの × 保育園の

アノー モンノドゴニイダノカ° コッチノホーノ ホラ (A ウン)

あの 門の所にいたのが こっちの方の ほら (A うん)

モンノホーマデ (A ウン) ナカ° サレダッテ イッテダ。 (A ウンウン ウーン)

門の方まで (A うん) 流されたって 言った。 (A うんうん うーん)

デモネ クルマカ° ー クルマ マカ° ソッチノホーサ アノー ト イッツモ トメルノネ。  
でもね 車が 車 ×× そっちの方に あの × いつも 停めるのね。



アノー ジブンカ° ナカ° サレダホノ アノ ジ ア ガッコノ アノ (A ウン)  
あの 自分が 流された方の あの × × 学校の あの (A うん)

コーデノアダリネ。 (A コーデーノホーサネ) ウン。 (A ウン)  
校庭の辺りね。 (A 校庭の方にね) うん。 (A うん)

ダラ ホラ (A ウン) アノ ナカ° サレダアドニ (A ウン) キカ° ツイダラ  
そうしたら ほら (A うん) あの 流された後に (A うん) 気が付いたら

クルマカ° アッテ (A ウン) ダメカナードオモッダケドモ アゲダラ  
車があって (A うん) 駄目かなって思ったけども 開けたら

アガッタガラ (A ウン) ケテグ フンデ コンダ クルットマワッテ  
あがったから (A うん) //// それで 今度 [は] くるっと回って

コッチノ タツカマワッテ (A ハーハーハーハー)  
こっちの 塚 [を] マワッテ (A はーはーはーはー)

ソッチノホーサ ガッコサイッタツケ。 (A ンーンンン ウン) ズー  
そっちの方さ 学校に行った。 (A んーんーんー うん) って言う

ハナシー ネ アドガラ (A ン) キイタノ。 (A ン) {咳}  
話 をね あとから (A ん) 聞いたの。 (A ん) {咳}

032 調査者：ソノヒワ (B 咳) アレデスカ ヒナンジョトカニワ (B ダホラ) イッタンデスカ。  
その日は (B 咳) あれですか 避難所とかには (B ///) 行ったんですか。

(B ヒナンジョワ ダガラ)  
(B 避難所は だから)

033A : イッタガラ コ ヒナンジョニコウツテ。 ジェ ガッゴニイコー デ  
行ったから × 避難所に行こうって。 ×× 学校に行こう それで

ガッコニイクツモリデ イッダラ アレ X4 チャン ホニ ドーシタンダベナーツテ  
学校に行くつもりで 行ったら あれ X4 ちゃん 本当に どうしたんだろうねって

オボエデラガナーツテ (B ウン)  
覚えてるかなって (B うん)

ミズカ° モー キタノ ミデラッダガラー ダガラ X5 サンサ  
水が もう 来たの 見てたから だから X5 さんに

オシエニコゴート オモツテ  
教えに行こうって 思っ

ソゴ X6 サンノドゴ (B ウンウンウン) マカ° ッテイッダラ モー イガレナガッタ。  
そこ X6 さんの所 (B うーんうんうん) 曲っていったら もう 行けなかった。

(B ウーン) アノー チョード アノー。  
(B うーん) あの 丁度 あの。

034B : ウン デシヨ。 (A ウン) ダガラ ホラ イッカイメノ ミズカ° ミンナ アノー  
うん でしょ。 (A うん) だから ほら 一回目の 水が 皆 あの

ドデノアダリガラ \_\_\_\_\_ (A イッタンダガラデショーネ ウーン)  
土手の辺りから \_\_\_\_\_ (A 行ったんだからでしょうね うーん)

ソゴノ (A ウーン) デ コノヘンモ ホラ (A ウン) ナ\_\_\_\_\_ コワ (A ウン)  
そこの (A うーん) それで この辺も ほら (A うん) な\_\_\_\_\_ // (A うん)

アノ キテタデシヨ。 (A ウン) ンデ オーキイノカ° キタドキニワ モーズット  
あの 来てたでしょ。 (A うん) それで 大きいのが 来た時には もうずっと

アッチノオラホノ X7ダノ (A ウン) ホラ (A ウン) X8ドノホノデ。  
あっちの私の方の X7の方の (A うん) ほら (A うん) X8たちの方で。

035A : デ アノー ドロオ スンゴク (B ウン ソーソー)  
それで あの 道路を 凄く (B うん そうそう)

\_\_\_\_\_ ミタイニ (B カワミタイニネ)  
\_\_\_\_\_ みたいに (B 川みたいにね)

ナカ° レダシタツケネ。 (B ウン) シー。 (B ソー)  
流れ出したね。 (B うん) んー。 (B そう)

036B : コノワノフタカ° ボホボホ ナッテタ。 (A アー) コチカライッタ ホラ  
この/の蓋が ボホボホ [と] なってた。 (A あー) こっちから行った ホラ

ミズノ イキオイデ。 (A ンー) イキバカ° ナイガラ コンダ ソコノホラ  
水の 勢いで。 (A んー) 行き場がないから 今度 [は] そこのほら

マー ソコサハイッタンデシヨ キット ミズカ° ダガラ モー ソノ ソッコノ  
まあ そこに入ったんでしょ きっと 水が だから もうその 側溝の

アレノ フタカ° ボコボコド (A アレ) ナッテタミタイ。  
あれの 蓋が ボコボコと (A あれ) なってたみたい。

037A : イヤ ホンニー ソレオ ミナ アダシワ ミナイガラー (B 咳) ホンニー ソノ  
いや 本当に それを ×× 私は 見てないから (B 咳) 本当に その

オソロシサモシラナイデ (B ウン) バンニ ナッタラ サムガベシネー アダシー  
恐ろしさも知らないで (B うん) 晩に なったら 寒いだろうし 私

ホッガイロ ソノー フク カ カッパノ ナガニ ホッカイロバ  
ホッカイロ [を] その 服 × 合羽の 中に ホッカイロを

トニカグ イレデラッタンデス。 (B ア ホントー)  
とにかく 入れてたんです。 (B あ 本当)

ソノ ホッカイロオ コタツノナガサ ビタビタ ハッテサー (B ウン)  
その ホッカイロを 炬燵の中に ビタビタ [と] 貼ってさ (B うん)

ウン ソーイッタッタッテ サムインダモノネー。 {笑}  
うん そう言ったって 寒いんだものね。 {笑}

ダガラ ジーサン モーヒトツツ トリニイッデクルガーツツノデ  
だから 爺さん もう一つ 取りに行ってくるかって

ウッテキタッタノヨ。 (B ウーン)  
言うので // //きたのよ。 (B うーん)

038B : ヒトバン トマッタンダモンネ。 アノ クルマデネ。 アノ (A ウーン)  
一晚 泊まってたんだもんね。 あの 車でね。 あの (A うーん)

サッキノ アノ カイズカノ カノ ドーロ (A ドゴマデイッテネ ンー) ダラ  
さっきの あの 貝塚の // 道路 (A どこまで行ってね ンー) そうしたら

(A クルマデネ) クルマデ (A ウーン) ンダラ アノー ミンナ  
(A 車でね) 車で (A うーん) そうしたら あの 皆

マ ジューダイグライ モットイダガナ。 (A ウーンウーン)  
まあ 十台くらい もっといたかな? (A うーんうーん)

ダラ アノ カイシャノホノ アキチカ° アッテサ (A ウン)  
そうしたら あの 会社の方の 空き地があってさ (A うん)

ダ ソゴノヒトカ° キタノネ。 イッパイ ホラ クルマカ° (A アルガラネ)  
/ その人が 来たのね。 いっぱい ほら 車が (A いるからね)

イタズノデ ホラ (A ウンウン) キタンデショ キットネ。 (A ウンウンウン)  
いたっていうので ほら (A うんうん) 来たんでしょ きつとね。 (A うんうんうん)

デ モン アゲテクレテ (A ウン) コチラノナガデアノー  
それで 門 [を] 開けてくれて (A うん) こちらのなかで

アレシテクダセッテ (A ウーン) ダ ソノトギニ ソノバンノコダ  
あの あれしてくださいって (A うーん) / その時に その晩は

ユギフッタジャナイ。 (A ンダンダ) ネー (A ネー)  
雪 [が] 降ったじゃない。 (A なんだ) ねー (A ねー)

エンジンカゲネバ。 (A ツキ°ノヒ)  
エンジン [を] かけないと。 (A 次の日)

039A : ツキ° ノヒデナガッタ。  
次の日じゃなかった？

040B : イヤ ツ イヤ ソノバンダヨ。(A バンバンダッタ)  
いや × いや その晩だよ。(A 晩だった)

ウン ソノバンダヨ。(A バンバンダッタカ) ア アンダッテ トマッタノカ°  
うん その晩だよ。(A 晩だったか) × /////泊まったのが

(A       ) アノトギ ソノトギダエダ。 ツキ° ノヒワ X9ンドゴサ トマッタンダ°。  
(A       ) あの時 その時だ。 次の日は X9の所に 泊まったんだ°。

(A アソッカ) ウン。(A ウンウンウン)  
(A あそっか) うん。(A うんうんうん)

マウジモ ホラ (A ウーン) ドデノ シタノホダガラ チョット コワガッタンノヨネ  
まあうちも ほら (A うーん) 土手の 下の方だから ちょっと 怖がったのよね

(A ウーン) モシヤッテ カンジデネ。(A ウーン)  
(A うーん) もしやって 感じてね。(A うーん)

イグラガ ウチノホモ ホラ ゲンカンサイグマデワキタンダケドネ ウン。  
いづらか うちの方も ほら 玄関に行くまでは来たんだけどね うん。

ンダガラ トマルニ トマレナイ。 ジャ {笑} イヤ ソンナニ  
だから 泊まるに 泊まらない。 ×× {笑} いや そんなに

イッパイ ネ ナンカイモクル ツナミバ (A ウン)  
いっぱい ね 何回も来る 津波は (A うん)

ナンカイモ クルワケジャナイケドモ (A ウーン) デモ ナンカ コー フアンダガラ  
何回も 来るわけじゃないけども (A うーん) でも 何か こう 不安だったから

ケッキョク ソッチノホーサ イッテトマッタ。  
結局 そっちの方に 行って泊まった。

041A : マズ ココニー (B トマッタ) ウマレテ ソダッタケドモ  
まず ここに (B 泊まった) 生まれて 育ったけども

コンナコワイノハジメテ。(B  
こんな [に] 怖い [は] 初めて。(B

(B ウン) ダカラネ (B ウン) チリノトギワ アダシ イナガッタガラー  
(B うん) だからね (B うん) チリの時は 私 いなかったから

シューショグシテココニイナガッタガラー チリワ ワガンナインデスヨ。(B ウン)  
就職してここにいなかったから チリは 分かんないんですよ。(B うん)

チリモ オッキガッタッテワ ユーンダケドモ。 アンナニワ コナイ。  
チリも 大きかったとは 言うんだけども。 あんなには 来ない。

ウチデワ タタミオ アレシテ タタミマデ ヨゴサナカッタソーデスノデ ウン。  
うちでは 畳を あれして 畳まで 汚さなかったそうなので うん。

(B ウン) ト トカチノトギバ ウーント キカッタケドモ  
(B うん) × 十勝の時は ええと 大きかったけども

ソナンデナガッタンデスヨ。 ドーログライニ チョビチョコビト キタク° ライデ ウン。  
そなんじゃなかったんですよ。 道路くらいに チョビチョコビと 来たくらいで うん。

アドワコンナオッキナノ キタノマ マサガット オモッテッタガラ  
後はこんな大きなの 来たのは まさかって 思ってたから

アダシモ (B ウン) ナンニモモダナイ。 {笑}  
私も (B うん) 何にも持たない。 {笑}

042B : ソ スグカエレル (A オガネモナンニモモダナイ)  
そう すぐ帰れる (A お金も何にも持たない)

スグ カエ カエレルモンダト (A 笑) オモッテ。 (A ウン)  
すぐ ×× 帰れるもんだと (A 笑) 思っ。 (A うん)

トリアエズワ ジャ ネ (A ウン) ウン。 マ クルマダガラ  
とりあえずは // ね。 (A うん) うん。 まあ 車だから

ベツニ ソンナニー アレモナクテモ イーヤ チョコット タベルノ (A ウン)  
別に そんなに あれもなくても いいや ちょこつと 食べるの (A うん)

アノー ネ (A ウン) ウン ゴハンマデワイガナイガラ (A ウン)  
あの ね (A うん) うん ご飯までは言わないから (A うん)

アルモノオ トモカグーア ノー オカシデモナンモ ノミモノ  
あるものを とまかく あの お菓子でも何でも 飲み物

ソイ ドゴイレデル。 (A ウーン)  
// どこいれてる。 (A うーん)

043A : アズ (B い) タベルノニ ワダシ アレシナガッタガラネ。 (B ウン)  
// (B い) 食べるのに 私 あれしなかったからね。 (B うん)

息子の所に (B あなた [の] 所の) 息子の所に (B 息子さんのね)  
ムスコノドゴロニ (B アングドゴノ) ムスコノドゴニ (B ムスコサンノネ)

イッタガラ (B ウン) ウン。 デモー ゴハンワ タゲナイガラ ウチノ  
行ったから (B うん) うん。 でも ご飯は 炊けないから うちの

オカーサン マダジョーズナンダヨ。(B ウン) アレデ ナンテノ イマノ  
お母さん [が] また上手なんだよ。(B うん) あれで 何て言うの 今の

ア アイエッチダガナンダガノ (B アー) アレダガラー  
× IHだか何だかの (B あー) あれだから

ガスツカエナイデショ。(B ウン) ソラ ポータブルノ ガウ ガスカ°  
ガス [が] 使えないでしょ。(B うん) // ポータブルの ×× ガスが

アンダキドモ (B ウーン) アレカ° アレデネ ドナベデ ゴハンタイダンデスヨ。  
あるんだけども (B うーん) あれが あれでね 土鍋で ご飯 [を] 炊いたんですよ。

(B ウーン) デ オカーサン ダイジョーブツテ アシ ミデラッタナンダヨ。(B ウンウン)  
(B うーん) それで お母さん 大丈夫って 私 見てたんだよ。(B うんうん)

ダッキヤ ドーダガワガンナイケドモツテ コド コンダ ニ ブクブグナツタラ (B ウン)  
それで どうだかわかんないけどもって ×× 今度は × ブクブクなったら (B うん)

ヒトメダモン。 ソレオ コンダネ (B ウン) ントー アレノ アレニ  
火 [を] 止めたの。 それを 今度はね (B うん) ええと あれの あれに

バスタオル ニマイダガ (B ハー) ソレニ ツツンダノ。(B ウンウン)  
バスタオル 二枚くらい (B は一) それに 包んだの。(B うんうん)

ソーシタラ ジョーズニタゲルノネ。(B ハー) ミズアルウチニモー アノー {笑}  
そうしたら 上手に炊けるのね。(B は一) 水 [が] あるうちにもう あの {笑}

バスタオルニ ニマイノバスタオルニ ツズンダンデスヨ コヤツテ。(B ホー)  
バスタオルに 二枚のバスタオルに 包んだんですよ こうやって。(B ほ一)

ウーン イヤ イー コレ モー \_\_\_\_\_ (B ウンウンウンウン)  
うーん いや 良い これ もう \_\_\_\_\_ (B うんうんうんうん)

ワガイノニ ヨクオボエデルネード (B ウンウンウン)  
若いのに 良く知ってるなあって (B うんうんうん)

オモツデ アダシネ ウン カンシンシテ ミデラツダケドモ {笑}  
思って 私ね うん 感心して 見てたんだけども {笑}

ゴハンモ マズ タベラレダツタガラネ。(B ウンウンウン) ソレ  
ご飯も まず 食べられなかったからね (B うんうんうん) それ

タイデ タベラレダツタガラ。  
炊いて 食べられたから。

044 調査者：デンキカ° ツクヨーニナツタノワ ナンニチコ° ロトカ デスカ。  
電気が つくようになったのは 何日頃とか ですか。

- 045A : ミッカグライデナイカナ。 (B ミッカグライ)  
三日ぐらいじゃないかな。 (B 三日ぐらい)
- 046B : ダカ° ラ デンカセーヒンワ ゼンゼン モー ネ (A ウン)  
 だから 電化製品は 全然 もう ね (A うん)  
 ストーブモダメ。 (A ウーン)  
 ストーブも駄目。 (A うーン)
- 047A : ナー ホントニ ホントニ イマノジダイノ クラシワ タイヘンダナ。 (B ウン)  
 なあ 本当に 本当に 今の時代の 暮らしは 大変だな。 (B うん)  
 イザトナレバネ。 (B イザトナレバナ) ウン。 (B ウン)  
 いざとなればね。 (B いざとなればな) うん。 (B うん)
- 048B : ムガシミタイナ (A ウン) バンガマカ° アッドゴロワネ  
 昔みたいな (A うん) ばん釜が ある所はね  
 (A アッドネ マギダト) ウン  
 (A あるとね 薪だと) うん
- 049A : マギダッテ (B マギダト) ュッタテネ アンナ オッキナ ツナミクレバ マチガイナク  
 薪だって (B 薪だと) 言ったってね あんな 大きな 津波 [が] くれれば 間違いなく  
(B ツカエナイ) ツカエナイシネ。 (B ウンウン)  
(B 使えない) 使えないしね。 (B うんうん)

## 八戸・震災後

話者A：71歳（女性）

話者B：71歳（女性）

001 調査者：アノ コノアタリニナンデスケド。 アノー シンサイノアトデスネ。  
あの この辺りになんですけど。 あの 震災のですね。

ツナミモアリマシタシ コ タトエバ アノ ヨソノチーキノヒトカ°  
津波もありましたし × 例えば あの 他所の地域の人が

コー ボランティアトカ ナニカデ コー アノ キテ (A キテ )  
こう ボランティアとか 何かで こう あの 来て (A 来て )

キマシタカ。  
来ましたか。

002A：ハイ。（調査者 ハイ） イッパイ ウチワ ホント タスカリマシタ。  
はい。（調査者 はい） いっぱい うちが 本当に 助かりました。

（調査者 ハー） ウン。 イヤァー サンジュウニンモキテ イチニジ  
（調査者 はー） うん。 いや 三十何人も来て ××××

サンジュウニンモ キテグレマシタヨ。  
三十人も 来てくれましたよ。

003 調査者：ハー。 ソレワ \_\_\_\_\_ ヤッパリ アノ ケンガイノヒトデスカ。  
はー。 それは \_\_\_\_\_ やっぱり あの 県外の人ですか？

004A：イヤ キキョーノ ウノ ヒトダジダガラ タブン シナイダケジャナイカナ。  
いや 桔梗の ×の 人達だから 多分 市内だけじゃないかな。

ケンナイガラモ キタヒトモゼ アルゴッタケドモ。  
県内からも 来た人も いたけども。

005B：ウン チョーナイカイノー チョーナイカイツテユーガ アノー  
うん 町内会の 町内会って言うか あの

ア チョーナイカイガ。（A ウン） アユーノデモア アズ ヤッタデショ。  
あ 町内会か。（A うん） ああいうのでも まず やったでしょ。

(A ウン) コノヘンモホラネ。（A ウン） アズメデ (A ウン)  
(A うん) この辺もほらね。（A うん） 集めて (A うん)

ゴラ (A ウン) アノー アッチコッチ。（A ウーン）  
ほら (A うん) あの あっちこっち。（A うーん）



006A : チョーナイカイワ キデクレダガシラ。  
町内会は 来てくれたかしら。

006B : アッチカラワ ホラ シンセキカ° シタニ ニゲン アッタカガラ  
あっちからは ほら 親戚が 下に 二軒 あったから

ソッチノホサハ シューチューシテ (A ウン)  
そっちの方に 集中して (A うん)

ヤッ (A ウン) イッテタガラ。  
×× (A うん) 行ってたから。

007 調査者 : アー ジャ アノー シンセキノヒトトカ コノ  
あー じゃあ あの 親戚の人とか この

シ チカクノ (B ウン) ヒトダチカ°。  
× 近くの (B うん) 人達が。

008A : シンセキモキテ シンセキワ (B シンセギワ) マイ マイニチ  
親戚も来て 親戚は (B 親戚は) ×× 毎日

マズ (B ウン) ゴハンタイデ モッテキテクレダトガー (B ウン)  
まず (B うん) ご飯 [を] 炊いて 持ってきてくれたとか (B うん)

ウン オツユタイデ (B ゴハンタイダシデ ホラ) ウン。  
うん お汁 [を] 作って (B ご飯 [を] 炊いて ほら) うん。

シタグシテ (B ヤッタンダ) モッテキデクレダガラー。  
支度 [を] して (B やったんだ) 持ってきてくれたから。

009 調査者 : ウーン ーンー。  
うーん んーんー。

010A : ボランティアノヒトタチカ° オーカッタデス。  
ボランティアの人たちが 多かったです。

012 調査者 : ア ジャー アノ ソレワヤッパリ アノ トークカラ  
あ じゃあ あの それはやっぱり あの 遠くから

タトエバ トーキョーカラ キタトカ オーサカカラ  
例えば 東京から 来たとか 大阪から

キタトカッテユーンジャ ツテ (A デワナガッタデスネ)  
来たとかって言うのじゃ て (A ではなかったですね)

チカクノヒトダチ。 (A ウーン)  
近くの人たち。 (A うーん)

013A : モー (調査者 ハー) モー トー モーツキ° ノヒカラ  
もう (調査者 はー) もう ええと もう次の日から

キテクレダガラー ツキ° ノヒッテ ツキ° ノヒル (B           )  
来てくれたから 次の日って 次の昼 (B           )

ウン (B            ミッカメ) ミッカ ラッテガラガナ。 (B ウンウン)  
うん (            三日目) 三日位からかな。 (B うんうん)

ウン キテゲレダガラー マズ コゴラノヒトダグエ。  
うん 来てくれたから まず この辺りの人だけ。

アド アドノヒトダジワセー モー トーキョーノホーガラ  
あと 後の人たちは もう 東京の方から

キタッ ドモ アルミタイダガラネ。 (B ダネ ンー) ンー。  
来た も いるみたいだからね。 (B だね うん) うん。

014 調査者 : アト コノチカクデモ ヤッパ トーキョーノホーカラ  
あと この近くでも やっぱり 東京の方から

キタヒトトカモ イタンデスカ。 ヤッパリ ソノボランティアニ。  
来た人とかも いたんですか? やっぱり そのボランティアに。

015A : イマシタヨ。 (B イヤ) アレ。 ガイコグガラモ (B ボラン)  
いましたよ。 (B いや) あれ? 外国からも (B ボラン)

キタンデナガッタガナ。  
来たんじゃないかな?

016B : ボランティアデ。  
ボランティアで?

017A : ウン。  
うん。

018B : イヤ アノー ベーク° シン アレ アノ  
いや あの 米軍 あれ あの

ミサワノアッチカラワ (A ベーク° シンカ° キテ ンー)  
三沢のあっちからは (A 米軍が来て ンー)

ハウストカ アノ ソーユーノ (A ソナノオーギーノワ) ホラ  
ハウストか あの そういうの (A そんなに大きいのは) ほら

オーキーノワ モー (A ウン) ナンジューニンテキテ ケッコア イノ

大きいのは もう (A うーん) 何十人も来て 結構 ××

ホラ チカラシコ° トカ° アルトカ。

ほら 力仕事があるとか。

019A : ウジノソバノアノ (B \_\_\_\_\_)  
うちの側のあの (B \_\_\_\_\_)

ハウスヤサンネ。 (B ンー) ワー ベーク° ンノヒトダジカ°

ハウス屋さんね。 (B んー) は 米軍の人たちが

モー (B ウン) キテネ (B ソ) カダズゲデグレマ。

もう (B うん) キテネ (B そう) 片付けてくれました。

(B ウン コッチモヤッタんだヨ) ウン。 (B トニ)

(B うん こっちもやったんだよ) うん。 (B //)

アッ アソ \_\_\_\_\_ノマエワネ。 (B ウンウン ソソソソ)

×× ×× \_\_\_\_\_の前はね。 (B うんうん そうそうそうそう)

ウン ウン。

うん うん。

020B : ソゴマデノサ (A ウン ウンウン) ト ハウスネ。 (調査者 フーン)  
そこまでのさ (A うん うんうん) × ハウスね。 (調査者 ふーん)

021A : アソコ° ノー ハウスモ コワレダ。  
あそこの ハウスも 壊れた?

022B : ゼンブゼンブ。  
全部全部。

023A : コワレダノ。  
壊れたの?

024B : ウン コワレダッデ。 ゼンブアノ スポーントジャナインダケド  
うん 壊れたって。 全部あの スポンとじゃないんだけど

シタカ° ホラ (A アー) モー ゼンブハ アノー (A ウン)

下がほら (A あー) もう 全部 あの (A うん)

ミズビタシニナッタデシヨ。 (A ビシヨ ウン) ウン ダガラハ

水浸しになったでしょ。 (A /// うん) うん だから

ソゴサデキナイガラ ミンナ \_\_\_\_\_。 (A アッツ ヌイダ ヌイデ)

そこに出来ないから 皆 \_\_\_\_\_。 (A あっち 抜いた 抜いて)

ウン (A ウンウン) キレーニ セッ アノ (A ウンウン)  
うん (A うんうん) 綺麗に ×× あの (A うんうん)

セッチシテモラッテ ンデ バシヨガエシテヤッタン。  
整地してもらって それで 場所替えしてやった。

025A : ドゴニー ドゴニ カネ ソノー カネカ° アッタノカドガワガンナイケド  
どこに どこに 金 その 金があったのかとかは分かんないけど

マズ アノ ドロン ドロノナガガラ ビニールノ アレ ゼンーブ  
まず あの ××× 泥の中から ビニールの あれ 全部

ヒッパリダシテー (B ウンウンウン) クレダン クレダソーデスヨ。  
引っ張りだして (B うんうんうん) くれた くれたそうですよ。

026B : ウン ヤッタミタイ。 キレーニヤッテモラッター ヨガッターッテイッテダ。  
うん やったみたい。 綺麗にやってもらった 良かったって言った。

026A : アリカ° ダイッテイッテマシタ。 ハウスヤサンドンダバネ。  
ありがたいって言っていました。 ハウス屋さんたちはね。

027B : ウン。  
うん。

028A : ウン。  
うん。

029B : イヤ ソーユーノホラ アダマニナガッタ。  
いや そういうのほら 頭になかった。

ケーケンカ° ナイガラサ。 (A ウン)  
経験がないから。 (A うん)

ソノボランティアズ アダマカ° ナイガラ トモカグ ジブンタチデ  
そのボランティアって 頭がないから ともかく 自分達で

ヤンナキャンナイズノデハ (A ソーソーソーソーソー)  
やらなきやならないっていうのは (A そうそうそうそうそう)

パニックッテ (A ウン) シマッタワゲ。  
パニックになって (A うん) しまったわけ。

モー サ タイヘンダ コレハー アツツモコッチモ  
もう / 大変だ これ あっちもこっちも

ヤンナキャ ナンナイツツーコードニナッテネ。 (A ウーン ンーン)

やらなきゃ ならないって言うことになってね。 (A うーん んーんー)

030A : ナンネン カガルベドオモタツダズ。 (B ンーソー)  
何年 掛かるんだろうって思ったって (B んーそう)

アント X1 サンデワナ。  
ええと X1 さんではね。

031B : ウーン。 ソーオモッタゴツタ。  
うーん。 そう思ったことだ。

ソーユーフナー ノーカノヒトタチワネー。 (A ウン) ウン タブン ソー。  
そういう風な 農家の人たちはね。 (A うん) うん 多分 そう。

032A : ソーシタラ ナーニ フツカク° ライデ モー (B ウン)  
そうしたら なあに 二日くらいで もう (B うん)

ワンサワサー カダズケデクレダンダモンネ。  
//// //// 片付けてくれたんだもんね。

033B : トモカグ (A ウン) モー ダサナギヤダメダドオモツデ  
ともかく (A うん) もう 出さなきゃ駄目だと思って

デンーブ ナガノモノダシテ。  
全部 中の物 [を] 出して。

034A : アダシモ ソーデシタ。  
私も そうでした。

ナガノモノ ナンニモ アラエバツカエルモノモ アッタデショーケドモー  
中の物 何にも 洗えば使える物も あったでしょうけども

ゼンブステマシタ。 (B ゼンブステロステロステロ)  
全部捨てました。 (B 全部捨てる捨てる捨てる)

035B : ソレデシヨ。 ホレ ステロステロツテ。  
それでしょう? ほれ 捨てる捨てるって。

イヤー (A ソオ) ミンナ ナケ° ロー ナケ° ローツテ。 (A ウン)  
いや (A そう) 皆 捨てる 捨てるって。 (A うん)

アイ (A バ) ハ イ ハ イーイー ハ  
/// (A =====) / × / いいいい /

イラネーネナ。 (A ウンソー)  
いらないな。 (A うーんそう)

036A : ウン ミナイデハ イーイーイーッテ アダシ コーッテ サー ソード  
うん 見ないで いいいいいいって 私 こうやって さあ そうと

コンドア オ オジズイデガラ アレ。 ナニガアルガーッテ  
今度は × 落ち着いてから あれ？ 何かあるかって

アレアッタッタガーッテ ウン アルアルーッテ。  
あれ [は] あったかって うん あるあるって。

デ トリニイゲバ アリヤ ナイ。 {笑}  
それで 取りに行けば ありや ない。

037B : アドニナッテ (A ウン アドニナッテ) トモカグモー  
後になって (A うん 後になって) ともかくもう

ソゴノ (A カダズケナクチャナンナイ) カダズケナキャナンナイガラ  
そこの (A 片付けなくちゃいけない) 片付けなくちゃならないから

ナンデモハー アルモノ ゼンブハ (A シー)  
何でも ある物 全部 (A んー)

ステロステロズーゴトニナッデネ。 (A シーシー シー)  
捨てる捨てるってことになってね。 (A んーんー んー)

イヤデモ \_\_\_\_\_ モッタイネーフーデネーガーッテ  
いやでも \_\_\_\_\_ もったいないんじゃないかって

ヒンナカンジナカ° ラモ (A ウン) イヤ イーイー  
そんな感じながらも (A うん) いや いいいい

イーガライーガラ (A 笑) ミタグナイワゲネ。 ソノ (A モノヨネ)  
いいからいいから (A 笑) 見たくないわけね。 その (A ものよね)

モノヨ ミタグナイ。 (A シー) トモカグハモー。  
物ね 見たくない。 (A んー) ともかくもう。

ゼンブカダズケテデシマナキャタイヘンダズ アダマバリ。 (A ウンウン)  
全部片付けてしまわなきゃ大変だって 考えばかり。 (A うんうん)

ハ パニックッテンダヨ。 (A パニックッテ)  
／ パニックニなってんだよ。 (A パニックになって)

パニックニ (A パニックッテンノ) パニックニナッテ。 (A ウン)  
パニックに (A ぱにつくになってるの) パニックになって。 (A うん)

モイーイーハ イーガライーガラデ カンカ° エルアレカ° ハ  
もういいいい いいからいいからって 考えあれが

ナイノ。 (A ネーノネ) ウン (A ウンー)  
ないの。 (A ないのね) うん (A うんー)

カンカ° エラレナハノー ナクテネ。 (A ウン) ウン。  
考えられないの なくてね。 (A うん) うん。

デハ ゼンブハ アルモノハ シタニヨコ° レデ ア アルノダ  
それで 全部 あるものは 下の汚れて × あるのを

ゼンブダシテハ ステロステロステロツテカンジデ。  
全部出して 捨てろ捨てろ捨てろって感じで。

ソユカンジダッタモネ。 (A ウン)  
そういう感じだったね。 (A うん)

038 調査者：シー ソーデスカー。 アノ イマノデスネ。 ナンカアノー  
んー そうですね。 あの 今のですね。 何かあの

エートー コノ コノーアタリトカデモ アルカモシレナインデスケド。  
ええと この この辺りとかでも あるかもしれないんですけど。

タトエバ ソノ シンサイゴードスネ。  
例えば その 震災後ですね。

アノー エー ガンバロー (B ウン)  
あの ええ 頑張ろう (B うん)

トーホク トカー (B ウン ウン) ケツパレ (B ウン)  
東北 とか (B うん うん) けっぱれ (B うん)

アオモリトカ。 (B ウンウン) アトワ アノー シンブントカニモ  
青森とか。 (B うんうん) 後は あの 新聞とかにも

ノツタリシタンデスケドモ。 アノー チバリヨーツテユー  
載ったりしたんですけども。 あの チバリヨって言う

オキナワノートカト ココノトコロニ (B ウン)  
沖縄のとかと この所に (B うん)

アノ ガンバル ガンバツペ (B ウーン)  
あの 頑張る 頑張っぺ (B うーん)

ガンバツペシトカデスネ。 (B ウンウンウンウンウン)  
頑張っぺしとかですね。 (B うんうんうんうんうん)

テユーノ コー ジエータイノ ヒトダツタ。

て言うの こう 自衛隊の 人だった。

アノ (B ウンウン) ソレゾレノ (B ウン)  
あの (B うんうん) それぞれの (B うん)

チーキノコトバトカデ (B ウン) ソーユーフーニ コー  
地域の言葉とかで (B うん) そういう風に こう

ガンバレーッテユコトバナシカノ オ カケゴエ デスヨネ。 (B ウン)  
頑張れって言う言葉なんかの × 掛け声 ですよね。 (B うん)

トユーノアッタリトカシタノ ゴランニナッタコトアリマスカ。  
というの [が] あったりとかしたの [を] ご覧になったことありますか？

039B : アル。 テレビー。  
ある。 テレビ。

039A : ンー アリマスネ ウン。  
んー ありますね うん。

040B : テレビデネ (A ウーン)  
テレビでね (A うーん)

041 調査者 : ウン。 ソーユーモノミテ ドーユーフーニ オカンジニナリマシタカ。  
うん。 そういうもの [を] 見て どういう風に お感じになりましたか？

042A : イヤー アタシー (調査者 ウン) ミ マズー オチブレデルトギ  
いや 私 (調査者 うん) × まず 落ち込んでいる時

ミンナニ ガンバ ガンバッター テユー ユー コトバカ°  
皆に ××× 頑張って ていう ×× 言葉が

ホンット チカラニナリマシタ。 (調査者 ハー)  
本当に 力になりました。 (調査者 はー)

アー コリヤ ガンバンナクッチャ (B ウン)  
ああ これは 頑張らなくちゃ (B うん)

ガンバンナクチャドオモッタ。 (B ウン) (調査者 ウン) ウン。  
頑張らなくちゃって思った。 (B うん) (調査者 うん) うん。

043B : フツ ガ ガンバレットカナントカッテイエバ ナンカ イ (A \_\_\_\_\_)  
普通 × 頑張れとか何とかって言えば 何か × (A \_\_\_\_\_)

オチコムッテユーンダケドモ ソノドギワネ ソレカ° ホントニモ (A ウン)  
落ち込むって言うんだけども その時はね それが本当にもう (A うん)



ホントニガンバラナキャツ (A ウン)  
本当に頑張らなきゃ (A うん)

ツ コーイウフーニ キコエデクルワゲネ。 (A ウン)  
× こういう風に 聞こえてくるわけね。 (A うん)

044A : ア (B ガン) ガンバンナクツチャ (B ウン)  
あ (B ／／) 頑張んなくっちゃ (B うん)

ア ガンバンナクツチャテ (B ウン ソー) ソー ソー。  
あ 頑張んなくっちゃって (B うん そう) そう そう。

045B : ホシットニ (A ソ イヤ) オチコンデルトギバ ホノ (A ウン)  
本当に (A そう いや) 落ち込んでいる時は その (A うん)

ガンバツペカ° スコ° グ ガンバルベトカッデユーノカ°  
頑張っぺが 凄く 頑張るべとかって言うのが

チカラニナルツテユーガ。(A ナルナル)  
力になるって言うか。 (A なるなる)

ナンカソーユーフーニ イメージアルネ。(A アダシワナッタ)  
何かそういう風に イメージ [が] あるね。(A 私はなった)

046A : イヤー ドーシテ ガンバンノヨッテ (B ウン)  
いや どうして 頑張るのよって (B うん)

ユッタシトモ アツタケドモ (B ウンウンウン)  
言った人も いたけども (B うんうんうん)

イヤ トニカグ ガンバレバ ガンバレバ (B ウン)  
いや とにかく 頑張れば 頑張れば (B うん)

ナン ナントガナルツト (B ウン) オモツテネ ウン。  
×× 何とかなると (B うん) 思ってね うん。

047B : イヤ オカシナモンダヨネ。 (A ウン) フツー ホラ アノー。  
いや おかしなものだよね。 (A うん) 普通 ほら あの。

048A : イヤー ワタシソノー。 ガンバ ガンバツテ ウン ガンバツテ。  
いや 私その。 ××× 頑張って うん 頑張って。

048B : イヤ ガンバンネバ ワガネンダヨトガナンドガツテ  
いや 頑張らなきゃ いけないんだよとか何とかって

ナンニモナイトギニイワレバ ナニセツテナ。

何にもない時 [に] 言われれば 何 [を] しろってね。

049A : ウーン。  
うーん。

050B : ナンカスンコ° グ コー オチコンデイグンダケドモ ソレカ° ナンカ  
何か凄く こう 落ち込んでいくんだけども それが何か

ソノドギワ ギャクニキコエル。(A アダシワ ウーン アダシワ)  
その時は 逆に聞こえる。(A 私は うーん 私は)

モホントニ ガンバツテガナクチャダメダツツ。  
もう本当に 頑張っていかなくちや駄目だつて。

(A ガンバンナクツチャ ウン)  
(A 頑張らなくちや うん)

051A : ソー ソーナツテ ガンバリマシタ。(B ワッチモソーダッタ)  
そう そうなって 頑張りました。(B 私もそうだった)

052B : アノ (A ウン) ソンナオッキノノワヤラナイケドモ。  
あの (A うん) そんな大きいのはやらないけども。

ア ヤッパ ミンナカ° コーユーフニシテ イッショーケンメー  
あ やっぱり 皆が こういう風にして 一生懸命

ヤ ヤツテケデ ガンバルベ ガンバル ソレオチカラニシテ。(A ウン)  
× やってあげて 頑張るべ 頑張る それを力にして。(A うん)

ジブンダジモ ガンバンナギャツテカンジニ (A ウン) (調査者 ウン)  
自分達も 頑張らなきやって感じに (A うん) (調査者 うん)

ソーユーフニ (調査者 アー) キコエ キコエル。  
そういう風に (調査者 あー) ××× 聞こえる。

オガシーモンダナ。(A ウーン) だよ。(A ウーン)  
おかしいものだね。(A うーん) だよ。(A うーん)

フツダバネ。  
普通ではね。

053 調査者 : アノ ソレワアノ ガンバローツテイワレルノト (B ウン)  
あの それはあの 頑張ろうって言われるのと (B うん)

ガンバツペットカデスネ。(A ウン) アルイワソノ ケツパレット  
頑張っぺとかですネ。(A うん) あるいわその けっぱれって

ユーフーニ イワユルソノ ホーゲンデ (A ウン) (B ウン)  
いう風に いわゆるその 方言で (A うん) (B うん)

イワレタリスルトダツタラ ナニカ カンカクテキ (A ウーン)  
言われたりするとだったら 何か 感覺的 [に] (A うーん)

チガイマスカ。 ガンバローツテ イワレルノトー。  
違いますか。 頑張ろうって 言われるのと。

054B : ト ガンバツペ ガンバルベ ウン。 ガンバ。 (A ガンバ)  
× がんばろう がんばろう うん? がんば (A がんば)

055A : アダシワ (B ガンバルベ) ガンバツテ ガンバツテー (B ガンバツテ)  
私は (B ガンバルベ) 頑張って 頑張って (B 頑張って)

Aサン ガンバツテー (B ウン) チュー イワレルノカ° (B ウン)  
Aさん 頑張って (B うん) て言う 言われるのが (B うん)

ホンートニ チカラニナリマシタ。 (B調査者 ウン) ウン。  
本当に 力になりました。 (B調査者 うん) うん。

ウーン ガンバルガラーツテ アタシカ°。 (B ウン)  
うーん 頑張るからって 私が。 (B うん)

~~~~~ ッデー ソレバリ ユツデアリマシタモン。 (B ウン)  
~~~~~ そればかり 言っていましたもの。 (B うん)

056B : イヤ ナンカワチラモ ソーダツタ。 (A ウン)  
いや 何か私達も そうだった。 (A うん)

ソノ ガンバンベシナーツテユーノカ° (A Aサン)  
その 頑張ろうねって言うのが (A Aさん)

ホンットニ コノチカラニナルツテユーカ° ネ。 (A ウーン)  
本当に この力になるって言うのがね。 (A うーん)

057 調査者 : ガンバルベシナ。 (B ウン)  
「ガンバルベシナ。」 (B うん)

058A : ガンバツテーツテ (B ガンバ) イワレバ (B ウン)  
頑張ってって (B がんば) 言われれば (B うん)

ウン ガンバルガラー (B ガンバツテードガ ガンバ)  
うん 頑張るから (B 頑張るとか がんば)

デハ (B ウン) ソー ソー ソバデユツデー アレシマシタ。  
それで (B うん) そう そう そう言って あれ [を] しました。

059B : シサイシタモノドサ ガンバツテイクベシナー トカッデイエバ  
被災した人達に 頑張っていくべしな とかっぺ言え

ソレカ マダネ。 (A ウンウン) ナンカ。  
それがまたね。 (A うんうん) 何か。

060A : イヤ サイショ サイショカ アダシ アサ マズキタデショ。 (B ウン)  
いや 最初 最初が 私 朝 まず来たでしょう。(B うん)

マズ ダレニモ マダアツテナガッタ。 (B ウンウンウン)  
まず 誰にも まだ会っていなかった。 (B うんうんうん)

ソシタラ イチコ ヤサンデ ムスコサンノ (B ウン)  
そうしたら 葎屋さんで 息子さんの (B うん)

クルマデ (B ウン) ナニガオ イッショッケン アズメデラノヨ。  
車で (B うん) 何かを 一生懸命 集めていたのよ。

(B ンアー) ジブンダジデ ツカウモノヨ。  
(B ンあー) 自分達で 使うものを。

061B : アノネ。 (A ウン) キタノ。 アノ X2サンノアノ カップ (A ウン)  
あのね。(A うん) 来たの。あの X2さんのあの カップ (A うん)

アノイチコ ノ アノカップ (A カップネ) ガ イッパイ  
あの葎の あのカップ (A カップね) が いっぱい

ナカ レデキテダノ (A ウン) セツテアノ (A ソレオ)  
流れてきたの (A うん) そしてあの (A それを)

タナモナカ レデキタノネ。 (A ウンウン) アノアダラシグ (A ウン)  
棚も流れてきたのね。(A うんうん) あの新しく (A うん)

ホラ アケ ルタメノ (A ズー ソノ) ダ ソレオホラ  
ほら あげるための (A // その) × それをほら

アノ (A ソレオアレシテ) ソレオ ヒロイニキテタ。 (A ウン)  
あの (A それをあれして) それを 拾いに来てた。(A うん)

062A : イヤー オ オトサーン テーヘンナゴドニナツタナーツテ。  
いや × お父さん 大変なことになったねって。

アダシ ドーロデアツタドギ ユッタツキヤ。(B ウンウン)  
私 道路であった時 [に] 言ったの。(B うんうん)

ウン ガンバンベシッ ガンバンネバナネガラ ガンバンベシツテ

うん 頑張ろう 頑張らなきゃならないから 頑張ろうって

ユッタッキヤネ。 (B ウン) ア ソノドギ ハジメデソノ サイショ アサ  
言ったのね。 (B うん) あ その時 初めてその 最初 朝

ツキ° ノヒノアサ キタドギ イチコ° ヤサンノオトーサンニ  
次の日の朝 来た時 苺屋さんのお父さんに

イワレダコドバ アレー ホントダ ガンバンナクチャナンネ。  
言われた言葉 [は] あれ 本当だ 頑張らなくちゃいけない。

ア ソレイッデデ ソーオモッタッタデスヨ。 ウン。  
あ それ [を] 言っていて そう思ったんですよ。 うん。

ガンバンネバ (B ガンバンベシ) ウン ガンバンベシッテ  
頑張らなきゃ (B 頑張ろう) うん 頑張ろうって

ユッダノ。 (B ウンウン ソ) ウン。 (調査者 ンー)  
言ったの。 (B うんうん そ) うん。 (調査者 んー)

ソシテル ミンナデ コンダ アー ヤー Aサン ガンバッターテ ウン  
そうしてる 皆で 今度は あ や Aさん 頑張ってる うん

ガンバルガラッテユッデハ ミンナ ソーイター  
頑張るからって言って 皆 そう言って

シャベッテアルイダッケドモネ。 ウン。 ソノガンバッターズ コトバカ°  
話して歩いたけどもね。 うん。 その頑張ってる 言葉が

ホンート アダシニワ タスカナ タスカッタ。 (B ウン) (調査者 ウン)  
本当 私には ×××× 助かった。 (B うん) (調査者 うん)

チカラニナッタ。 (B ウン) ウン。  
力になった。 (B うん) うん。

063 調査者：タトエバ ソレガー アノー タトエバ ソノー オキナワノヒトダト  
例えば それが あの 例えば その 沖縄の人だと

ガンバッテッテユーノオ オキナワナノコトバダト  
頑張ってる言うのを 沖縄の言葉だと

チバリョーッテ (B アー) (A ウン) テユーナ イーカタカ°  
「ちばりよ」って (B あー) (A うん) て言う様な 言い方が

アルンデスケド。 マ ダ ジブンノトコノ (A ウン)  
あるんですけど。 まあ× 自分の所の (A うん)

アノー ソレデ ガンバルベシトカッテ (A ウンウン)  
あの それで 「ガンバルベシ」とかって (A うんうん)

ユーヨーナ (A ウン) イーカタトチガッテコー  
というような (A うん) 言い方と違ってこう

アノー エー チバリヨーッテユーヨーナ  
あの ええ ちばりよって言う様な

ベツナ ジブンノホーケ° ントワ チガウホーケ° ンデ (B ウン)  
別な 自分の方言とは 違う方言で (B うん)

アノ ハゲマスッテユーコトナンカニツイテワ ドンナコトニ  
あの 励ますって言うことなんかについては どんなことに

オカンジニナリマスカ。 タトエバソレオ (A アレー)  
お感じになりますか？ 例えばそれを (A あれ)

ナンカアノー バカニサレテルヨーナキカ° スルトカ  
何かあの 馬鹿にされてるような気がするとか

ワケモワカラナイノニ (B バカニジャナイケドモソノ) ウンウン。  
訳も分からないのに (B 馬鹿にじゃないけどもその) うんうん。

064 B : オモミカ° チガウネ。 (A イヤコド) ヤッパ ソッチノホーラ  
重みが違うね。 (A いや) やっぱり そっちの方

イマナンテユッタ。 チバルベ。 (調査者 チバリヨー)  
今何て言った？ ちばるべ？ (調査者 ちばりよ)

チバリヨー。 (A チバリヨー)  
ちばりよ。 (A ちばりよ)

065 調査者：ウンウン。  
うんうん。

066 A : ウン。  
うん。

067 B : ウーン (A ウン) ヤッパ コノヘンーノコドバデ  
うーん (A うん) やっぱり この辺の言葉で

ガンバルベシードガ (A ガンバ) ウン。  
「ガンバルベシ」とか (A がんば) うん。

ガンバツテードガッテ。 (A ガンバツテューノデノ ンー)  
頑張ってとかって。 (A 頑張って言うのでの んー)

068A : チョットソノ コトバワ ワガンナイガラー。 (調査者 ウン)  
ちよっとその 言葉は 分かんないから。 (調査者 うん)

マダピントコナイネ。 (B ウン) ウーン。  
まだピンとこないね。 (B うん) うーん。

069B : ガンバリマショー (A ソノ) モ マダ  
頑張りましたよ (A その) も また

チョットアレデショ。 (A ウン) ウン。 (調査者 ウン)  
ちよっとあれでしょう。 (A うん) うん。 (調査者 うん)

070 調査者 : イマソノ ハイ (B ガンバリマショー)  
今その はい (B 頑張りましたよ)

ソノガンバリマショートカ (B ウン) ガンバロー (A ガンバリマス)  
その頑張りましたよとか (B うん) 頑張ろう (A 頑張ります)

テユー イワユルソイノ ヒョージンコ° デ  
て言う いわゆるそういうの 標準語で

ハゲマセレルノト (B イワレレルヨリワ) (A ウン) ウン。  
励まされるのと (B 言われるよりは) (A うん) うん。

071B : ガンバンベシートガ ガンバル ガンバレーテ (A ガンバッター)  
頑張んべしとか 頑張る 頑張れって (A 頑張って)

トガナ。 (A ウン ンー) ガンバ。  
とかね。 (A うん んー) がんば。

072A : ガンバレーッテユワネー。 (B ガンバレー)  
頑張れって言わない (B 頑張れ)

ガンバッターッテユンダヨ。 (B ウンタブン) ウン。 (調査者 ウン)  
頑張ってって言うんだよ。 (B うん多分) うん。 (調査者 うん)

イヤ ユワレダコドバワネ。 (B ガンバッターッテシャベンダモンナ) ウン。  
いや 言われた言葉はね。 (B 頑張ってって言うんだものね) うん。

073 調査者 : ウン。  
うん。

074A : ガンバリマショーッテユノカ° ダレ マズガンバンベシツツノドセー  
頑張りましたよっていうのが // まず頑張んべしって言うのと

オンナジダケドモ (B オナジイミダケドモ) ウン。  
同じだけども (B 同じ意味だけども) うん。

ンマ オンナジイミダケドモ ガンバンベシズノド (B ウン)  
まあ 同じ意味だけでも 頑張んべしって言うのと (B うん)

ガンバリマショーッテユーノド チョット ソコカ° (B ウン)  
がんばりましょうって言うのと ちょっと そこが (B うん)

チカラカ° タリナイミタイダネ。 (B タリナイ ウン)  
力が 足りないみたいだね。 (B たりない うん)

アノ (調査者 ハ一) ガンバリマショーッテユーノカ° (B ウン)  
あの (調査者 ハ一) 頑張りましょうって言うのが (B うん)

ガンバンベシーッテユーノド (B ウン)  
頑張んべしって言うのと (B うん)

ガンバリマショーッテユーノワネ (B ウンウン) ウン  
頑張りましょうって言うのはね (B うんうん) うん。

チカラカ° タリナイカナ。  
力が足りないかな。

075 調査者：ワカリマシタ。 (A ウン) アノー ソレデ タトエバソノ  
分かりました。 (A うん) あの それで 例えばその

ボランティアニクル ソトカラトカ アノ ボランティアニキタイトカッテ  
ボランティアに来る 外からとか あの ボランティアに来たいとかって

ユーフーニ イッテイルヨーナヒトタチガー アノ  
いう風に 言っている様な人たちが あの

ソユフーニ コエオカケタイ イシ ダカ ワタシタチモテツダウカラ  
そういう風に 声を掛けたい ×× ×× 私達も手伝うから

イッショニガンバリマショー (A ウンウン)  
一緒に頑張らしよう (A うんうん)

テユーフーニユートキニ アノ タトエバ イマノヨーナ  
ていう風に言う時に あの 例えば 今の様な

イッショニガンバルベシットユーフーニ (A ウン)  
一緒に頑張るべしっという風に (A うん)

ソトカラキタヒトカ° デモ ワタシモテツダウカラ  
外から来た人が でも 私も手伝うから

イッショニガンバルベシットユーヨーナ アノ





(B シーシーシー) (A ウーン)  
(B んーんーんーんー) (A うーん)

デモ ソンナフーニワオモワナイデスカ。  
でも そうな風には思わないですか。

アノヤッパリ ウレシイッテユーフーニ オッシャッタンデスケド。  
あのやっぱり 嬉しいっていう風に 仰ったんですけど。

082A : ウーン アダシワー ソーユー。  
うーん 私は そういう。

082B : ヤ ソッチノホーノコトバデイワレレ マダ ベツナホーガラキテ  
いや そっちの方の言葉で言われれば まだ 別な方からきて

コッチノコトバデイワレレバ ナンカチョットコー マダオガシグネ。  
こっちの言葉で言われれば なんかちょっとこう またおかしくない？

083A : ウーン ウーン。  
うーん うーん。

084B : ソッチワソッチデマー トーキョーノホーガラクルンダッタバ  
そっちはそっちのでまあ 東京の方から来るんだったら

ガン ガンバリマショーッテ イッショニガンバッテイキマショーッテ  
×× 頑張りましょうって 一緒に頑張っていきましょうって

イワレレバ ソレデイーヨネ。 (A ウン) ウン ソー。  
言われれば それせ良いよね。 (A うん) うん そう。

085A : イヤ アリカ° (B コノ) アリカ° デーナードオモウ。  
いや ××× (B この) ありがたいなと思う。

(B アリカ° ダイヨネ) ウン。 (B ウン) ダガラー アダシ  
(B ありがたいよね) うん。 (B うん) だから 私

イヤー コノボランティアアッテユーノモ イヤー シンサ アノー  
いや このボランティアって言うのも いや ××× あの

アー アソゴ ホラ ナンダツケ。 アッチノホー。  
あー あそこ ほら なんだツケ。 あっちの方。

ンドー ジシンカ° アッタデシヨ。 (調査者 ハイ)  
ええと 地震があったでしょ？ (調査者 はい)

カンサイノホーノ (B アー) (調査者 ハイハイ ア ハンシンアワジノネ)  
関西の方の (B あー) (調査者 はいはい あ 阪神淡路のね)

ウン ハンジン ウン。 アノドギモー ソレゴソ  
うん 阪神 うん。 あの時も それこそ

タイヘンダッタデショーケドモ ウジナンカワ  
大変だったでしょうけど うち何かは

ナンーニモヤンネガッキヤ。 (B ウン) ソノボランティアニ イゴード  
何にもやらなかった。 (B うん) そのボランティアに 行こうと

(B ウン) イゴード スルキモナイバ イヤ タイヘンダ  
(B うん) 行こうと する気もなければ いや 大変だ

タイヘンダナツツノワ アツタケドモ イヤタイヘンダナツツノワアツタケドモ  
大変だなんて言うのは あったけども いや大変だなんて言うのはあったけども

イッテ ソレゴソー ナンテユノー テツダッテ (B テツダウ)  
行って それこそ 何て言うの 手伝って (B 手伝う)

ヤローツツ (B ウン) キモナナイバ イヤ ウジナンカモー アノトギワ  
やろうって言う (B うん) 気もなければ いや うち何かもう あの時は

ツメタガッタナーツ オモウ。 ウン イヤ イッペーアカ°  
冷たかったなと 思う。 うん いや いっばい

マズ ヤ コゴバ ナンニモナクテイーヨナツツーグライデナー。 (B ウン)  
まず × ここは 何にも無くて良いよねってくらいでね。 (B うん)

ウーン ソーモッテー イダッタケドモー ジッサイバ  
うーん そう思って いたけども 実際は

コユーバンニナツテミタラ イヤー アリカ° タイモンダ。  
こういう番になってみたら いや ありがたいもんだ。

コンド アタシワ ヨソニナツタラ イッテ イヤ ソレゴソ  
今度 私は 他所で(地震が) あったら 行って いや それこそ

テツダッテアゲヨットオモウ。 (調査者 ウーン) ウン。  
手伝ってあげようと思う。 (調査者 うーん) うん。

イヤ ウレシガッタカラ (調査者 ウン) ウレシガッタガラデナクテ  
いや 嬉しかったから (調査者 うん) 嬉しかったからじゃなくて

タスカッタガラー イッテ アダシモ タスケテアケ° ヨートオモイマス。  
助かったから 行って 私も 助けてあげようと思います。

## 6. 支援者インタビュー・アンケート調査

自衛隊 お話伺い隊

三沢基地 トモダチ作戦

岩手沿岸部支援 社会福祉従事者

心のケアチーム 活動報告

被災地支援ボランティア

## 6.1 自衛隊 第九師団・お話し伺い隊インタビュー

今村かほる

自衛隊の東北方面隊第九師団は、青森・岩手・秋田に展開する師団で、司令部が青森市に置かれている。陸上自衛隊第九師団のHPによれば、東日本大震災の折には、様々な支援活動がなされた中で、「避難されている方々のストレス緩和の一助となるため」という目的で、「女性自衛官で編成された『お話し伺い隊』という心のケア活動が行われた。( <http://www.mod.go.jp/gsdf/neae/9d/neizisin2.htm>。)

その「お話し伺い隊」の活動に関して、第九師団の許可を得て、自衛官の方々にインタビューを実施した。

今回、お話を伺ったのは、医療関係職を含む青森県津軽地方出身の自衛官の方3名(20~30代)の女性である。以下、そのインタビューの聞き書きをまとめていく。(なお、被調査者が少人数のため、個人が特定されることを避ける目的で話者別の表記は採用しないこととした)

Q.「お話し伺い隊」というネーミングは、どういうことがきっかけか?

A: ネーミングは、いろんなネーミングの候補があったみたいだけれど、その中でどんな名前がいいか検討した結果、「お話し伺い隊」という柔らかい感じでいった方が、被災地の方にも受け入れていただけるのではないかとということで始まった。

Q.「お話し伺い隊」として活動した方は何人か?

A: トータル10人弱

多く活動した隊員は3名

あとは、勤務で空いてる女性隊員の方で回した。

Q.「お話し伺い隊」としての支援の期間と回数は?

A: 支援に行き始めたのは4月の19日から。

全部で20回くらい。

7月21日のあたりで終了したと記憶している。

Q.支援に入った場所は?

A: 4・5・6・7月に、岩手県大槌町・釜石市・陸前高田市。

そのうち町自体も大きいというような理由もあって、陸前高田の回数が多かった。

いずれの隊員もこれらの被災地には、支援以前に行ったことはなかった。

Q.支援の様子は?

A: 支援活動を民間の人と一緒にやっていたのは一ヶ月くらい。

3月の20日くらいから4月の下旬くらいまで、釜石市と大槌町で活動した。

釜石市は、釜石高校の体育館を借りて、救護所という形で入って、巡回診療という形で回った。

Q.地元の方と話をすることは?

A: 大槌町・釜石市の両方であった。

Q.地元の人の方言がわからないということは?

A: あった。しかし、言葉が通じないというほどの会話ではなかったような記憶がある。

お年寄りの方とか、方言の色が強かったように思うけれども、人によった。

会話が成り立たないほど強い人はいなかった。

A: 結構いた。若い人はそうでもないけれど、人によりけりで、若くても、結構、方言がきつい方もいたし、

標準語に近いイントネーションだったり、お話す方も多かったけれど、やはりお年寄り、かなりこてこてのネイティブな発音だった。発音もそうだし、語句もフレーズも違った。

とりあえずは、ヒアリングはできた。どういうこと言いたいんだろうというのは、前後の文脈からもわかったし、身内に岩手出身者がいたので、若干、耳慣れしていたところはあったような気がする。まるっきり初めての土地とかよその県ではなかったもので、耳慣れはしていた。

Q.わからなかった言葉は？

A：例えば、「ちょっと・少し」を「ペッコ」と言ったり、びっくりした時に青森でいう「ワイ」を、「ジャジャジャ」というみたいな。

「～したら」というのを「～シタツケバー」みたいな感じで、語尾が違うみたいなものもあった。

方言が難しくてわからなかったということは、なかった。同じ東北人なので、そんなに違和感はない感じがした。

Q.心のケア支援における方言の理解は必要か？

【支援者でも】関西の方の人たちは、わからないと思うし、被災者側も警戒すると思う。どちらかの新聞記者が同行した時、関西の方から同じようなボランティアの方が来たけれど、被災者側が一切「いいです。」っていう感じで、すごい拒否反応があったと聞いている。それに対して、なぜ自衛隊のお話伺い隊は入りこめたんでしょうか？みたいな、やっぱり言葉の壁みたいなものがすごくあるのではないかな。来た方も、関西の方は「せっかく来たのに全然、しゃべってくれない。なんで?。」というのはあったらしいと、避難所回りで同行している方から聞いた。

Q.「お話伺い隊」はどんなふうに入っていたのか？

A：まず服装が迷彩服にベストを羽織った状態で行っているの、見た感じがまず、自衛隊という素性がはっきりわかるし、多分、安心感はあったと思う。当初の（自衛隊の）段階から、人命救助だったり、瓦礫の除去だったり、給水だったり、給食だったり、みなさん動いているのを見ているので、迷彩服とかの安心感はあったと思うので、それで、まず、受け入れてもらえているような気はした。言葉以前の問題で。でも、切り込みは「あったかい お茶っこでも 飲みながら 話っこするべし～」みたいな感じだった。「あったかい お茶 持ってきたよ」って、ポットとか全部持参だった。やっぱり、配給されるのは冷たいペットボトルのお茶とか、冷たいものが多かったの、あったかいお茶を飲めたのは、すごくほっとしたみたいだった。

そういう心遣いも大事かと思う。ただお話ししましょうだけじゃなくて。「お話聞かせてもらってもいいですか?」っていう低姿勢な形で行くのは気をつけていた。

お話聞く所は、体育館だったり、集会所とか、小学校の教室だったり、様々あった。ストーブ囲んで輪になってみたり、布団とか畳んで、ちょっとこう、「広いような所に 集まりましょう。」なんて言って、お茶振舞いながら、だった。

Q.方言を使った方がお話しやすくなることは？

A：あると思う。話しやすい感じはあると思う。

その土地土地によると思うけれど、特に東北人の気質は、ちょっと閉鎖的だったり、すごく地域のコミュニティーが、絆が強かったりというところが気質にあると思うので・・・。

土地土地の特性はあるかと思うし、標準語がだめだと言ってるわけではないが、特に東北の場合は、そういう方言が、結構、強い。

逆に、自分達が大坂とか、関西の方に行った時に、大阪弁で言ってとかいっても、多分、かえってぎこちない感じもする。

Q.東北で生まれ育った自衛官が、東北の地に行ってお話を聞いたというところに意味があるか？

A：そうだと思う。

A2: 私たちのところではそんなに活動時間も短かったし、お話しした人数も少なかったので、お話がわからなかったというのは、まずなかった。

津軽弁と岩手の言葉は、やっぱり違う部分があるけれど、濁点とか、音的などころの似ている部分があるので、理解できたんじゃないかと、思う。

あまり広い地域はわからないが、この辺の人たちって、青森辺りもそうだけれど、津軽弁でしゃべれる人ってというのは、やっぱり「おうおうおう。<うん、うん、うん>」みたい<理解しあえる>な所があって、標準語でしゃべっていると、やっぱり、よそから来た人みたいだ。最終的には受け入れてもらえるのかもしれないけれど、(話の) とっかかりは、似たような言葉を使う人に対しては、入ってきやすいのかなという印象がある。

逆に九州とかの言葉はわからないし、土地柄の部分もわからないので、なんとも 言えないですけど、この辺に限っては、そういうのがあるんじゃないかなとは思う。

Q.お話し隊の組織は？

A: このような組織は、どこの自衛隊にもあるわけではない。

第九師団独自で、カウンセリングとかの、教育を終了した人で編成されている。

(当然) 誰でもいいわけではなく、傾聴だったり、基礎的な教育を少しでもかじった人たちを人選して編成した。

Q.被災者の訴えで多かったことは？

A: 訴えで多かったことは、「私、大変だったの。」っていうのを、わかってほしいっていうのが、多かったような気がする。

ただ、避難所だったので、みんな大変な思いをしていて、お互い被災者の方同士で お話するのもすごく大事だし大切だと思うけれど、あえて、同じ体験をしたから言えない部分を第三者的に私たちが行ったことで、「私ね、こうだったの、こうだったの。」 って、その当日の時系列で、事細かに、こっちから聞かなくても、どんどん言ってくれたっていうことがあった。共感してほしいっていう感じはした。「こんなに大変だったの」って。

Q.どんなふうに対応したのか？

A: 「ああ、そうですかあ。」みたいに、「ほんとに 御苦労されたんですね。」みたいな、 そんな感じで、寄り添うっていうか、そういうのを気をつけてお話を聞いていた。

[1人のお話し時間は]結構、長かった。30分から40分くらいだった。いろんな人と お話したいのもあったので、「じゃあ、次の所に行くので」って、「体に 気をつけて 下さいね、こういう場所なんで」って言いながら、「今日、ありがとうございました」 って言って、また違う「島」というか、ちょっと移動して、「話っこしましょ」って、 そんな感じだった。

その時大変だった。今に通じて「早く 仮設に入りたいな。」「この先、見えなくて 不安だ。」っていう気持ちを、一緒にわかってほしいっていうか、そういうものが 伝わってきた。「今後、どうなるんだろう。」っていう不安を、一緒に、自分だけで悩むんじゃなくて、わかってほしい、その不安な気持ちっていうのが、伝わってきた。

A2: 私たちは、診療支援に入った。活動をしていた時期が、一週間ぐらいたってからだったので、急性期の患者さんではなくて、慢性疾患で薬が無い人だった。それで、「薬をもらえるところが無いので」って、いうような形で来る人が多かったので、その比較的、あまり込み入った話をする人はいなかった。

中には被災した当日のことをお話ししてる人もいて、やっぱり同じように、その当日の起こったことの思いを吐き出したんだけど、出せる場所が無いみたいだった。受診に来た時に、最初、「頭痛い」っていうので受診に来たけれど、だんだん、だんだんお話を聞いていくと、その当日あったことのお話をしあって、一通りお話しした後は、落ち着いて帰られた方も少数だったけれどいた。

同じ大変な思いをしているっていうのがあるので、その身内の中では、そういう話ができない、ような

ところがあって、被災してない人というか、あんまり影響がない人に対して、そういう思いを出せる場があるっていうのは、すごく良いのかなというのは感じた。

Q.他地域からの支援者の様子は？

日本各地のいろいろな所から、一週間交代とかでいろいろな医師が来て、それぞれ 出身地もいろいろだったけれども、そんなに話が通じないっていう場面には、出くわさなかった。あと巡回診療に行く時も、4人くらいで行ったりとかしていたので、誰も話がわからないっていう人はいない状況で、話がわからないよっていう段階にまで いていない、状況だったかなと思う。

Q.自衛官が、被災地で民間の人と接する機会は？

A:自衛隊の活動として、民間の方と直接、接するという事は、ほとんどない。

今回、独自に「お話し隊」と医療活動をしたが、まず民間の方と直接、接する部隊と言うと救助や後方支援部隊、給水、給食。

しかし、ご飯は炊くけれど、直接、配るということはない。炊くまで。

A：今回のことは、特別。臨時編成のもの。

A:お話し隊は、本当に特別。

あとは、お風呂。ああいうところでは、やっぱり世間話程度はする。

こういう方言《今村の提示した方言身体語彙図などの資料》等は、もし、自分達が東北以外で活動することがあれば、役に立つかもわかりませんが、全隊員が、直接、被災地の方と接するという事は、まずない。

Q.「けっばれ！岩手」や「がんばっぺし！宮城」という、方言による応援のこぼれを付けた活動には、  
どういう経緯があったのか？



A:車やライナー（ヘルメット）につけて、活動のときにつけていた。

B:支援のシンボルマークとして、全隊員に徹底するようにした。

【発案は】師団の方。こういう風に作ったらいいのではないかとということで、第九師団司令部の方で作成して、部隊の方に配って、隊員に貼るように徹底した。



Q.支援をして感じたことは？

A コミュニケーションって、言語によるものが基本だとは思いますが、言語だけじゃなく、非言語的なコミュニケーションなども、心がけてはいる。  
医療関係者だったり、福祉関係だったり、それぞれの活動はあると思うし、支援をする際にいろいろ方言の語録があれば、なおいいと思う。けれども、雰囲気だったり、ものの言い方だったり、トーンだったり、表情だったり、非言語的コミュニケーションというのも、かなりウエイトを占めていると思うので、総合的にうまく入る、接触できたらなとか、コミュニケーションできたらなという思いがちょっと強い。

Q.支援の際、お漬物を持参したことは？

A : 漬物を持って行って、私、漬けた手作りの漬物、家から全部持って行って、「口に合うかわからないんですけど、これ、私、漬けてきたの。食べて、お茶っこ飲みながら話っこしましょう」って。  
コンビニで売ってるのとは、やっぱり違うみたいなので、すごくそれは喜んでた。医療関係者からは、血压高くなるから、「あんまり食べさせないでください。」と、結構、言われたけれど、漬物食べながら、お茶っこ飲むみたいなのが、それが被災者の方の日常だったので。  
「久しぶりに 食べだ。」って。「私も漬けてだけど、全部、津波で持ってがれた。」とか。そういうのが、また、きっかけで、お話しやすいというのもあった。

<まとめ>

岩手県大槌町・釜石市・陸前高田市での活動に関して、言葉が通じないというほどの会話はなかったけれど、お年寄りの方は方言の色が強く、かなりこてこてのネイティブな発音だった。

発音のほかに、語句もフレーズも違っていた。「ちょっと・少し」を「ペッコ」と言ったり、びっくりした時に青森でいう「ワイ」を、「ジャジャジャ」というような違いがあった。「～したら」というのを「～シタツケバー」みたいな感じで、語尾が違うようなものもあった。

方言が難しくてわからなかったということは、なかった。同じ東北人なので、そんなに違和感はない感じがした。

一方、支援者でも関西の方の人たちは、東北弁はわからないと思うし、被災者側も支援者の関西弁を警戒すると思う。産経新聞かどこかの取材に同行した時、関西の方から同じようなボランティアの方が来たけれど、被災者側が一切「いいです。」っていう感じで、すごい拒否反応があったと聞いている。それに対して、なぜ自衛隊のお話伺い隊は入りこめたんでしょか？みたいな、やっぱり言葉の壁みたいなものがすごくあるのではないかな。

来た方も、関西の方は「せっかく来たのに全然、しゃべってくれない。なんで?。」というのはあったらしい。

お話し伺い隊が、被災者に話しかける切り込み方は「あったかい お茶っこでも 飲みながら話っこするべし～」みたいな感じだった。支援の際、方言を使った方がお話しやすくなることは、あると思う。被災者も話しやすい感じはあると思う。

その土地土地によると思うけれど、特に東北人の気質は、ちょっと閉鎖的だったり、すごく地域のコミュニティが、絆が強かったりというところが気質的にあると思う。

土地土地の特性はあるかと思うし、標準語がだめだと言ってるわけではないが、特に東北の場合は、そういう方言が、結構、強い。

逆に、東北出身者が大坂とか、関西の方に行った時に、大阪弁で言ってとかいっても、多分、かえってぎこちない感じもする

訴えで多かったことは、「私、大変だったの。」っていうのを、わかってほしいということだった。

まず被災者側からすれば、自分の気持ちや状態を伝えるときに、方言を使用しており、共通語では言えない方言ならではの機能があることがわかる。また、支援者が東北方言を使用することで、被災者との信

頼関係の構築に役立っている。逆に、特に関西方言を使用する支援者との間には、心的距離を感じて、相談する相手や内容を選んでいる。方言が果たす役割があることがわかる。



## 6.2 三沢基地 トモダチ作戦支援者アンケート

今村かほる

このアンケート調査は、弘前学院大学文学部：エド・フォーサイス氏と、三沢・米軍基地の皆さんのご協力により、2013年1月に実施した。

ご存じのとおり、米軍のいわゆる「トモダチ作戦」は、各地の被災者にとって、とても大きな支援となり、また励ましともなった。今回の青森調査でも、被災者から感謝の声が多く寄せられた。

以下、米軍三沢基地のトモダチ作戦に従事した4名の男性隊員からのアンケート結果をまとめる。

### <アンケート回答者>

性別 男性

年齢 34歳1名 37歳2名 38歳1名

### <支援活動の時期と内容> \*以下（ ）内は人数

支援時期

支援内容がれきの撤去（4） 物資の運搬（2） 食品調理及び配給（1）

NMC職員からの調整援助（1）

### <アンケート結果>

1. どちらの方と（どこで）話しましたか？  
（青森県） 三沢市（4） 八戸市（2）  
（岩手県） 野田村（2） 宮古市（3） 田野畑村（2）  
（宮城県） 気仙沼市
2. 地元の方は、方言をどれくらい使用していましたか？  
あまり使わない（3）
3. どのような人でしたか（年齢・性別など）  
若い（2） 中年（3） 高齢者（3）  
男性（4） 女性（3）
4. 通訳がいましたか？ いた（3） いなかった（1）
5. 地元の方の話すことばは、いつも基地内で耳にしている日本語と違っていると感じましたか？  
違いがはっきり分かった（1）  
違いがそんなに分らなかった（2）  
違いが全然分らなかった（1）
6. 地元の方の話す地域のことば（方言）を聞いて、理解できましたか？  
少し理解できた（3）  
あまり理解できなかった（1）
7. 支援に行く前に、地元の方の話す地域のことば（方言）を、理解できた方がいいとお感じになりましたか？  
あまり思わない（4）

8. 地元の人のお話する地域のことば（方言）を、ご自身も話してみたいと思いますか？  
あいさつくらい（1）  
興味はある（3）
9. 今後も支援活動を続けますか？ はい できれば続けたい いいえ わからない  
はい（4）
10. 機会があれば、今後、被災地の方言を学びたいと思いますか？  
はい（3）
11. 一般論として、支援者として、被災地の方言を学んでから行った方がいいですか？  
まあそう思う（1） あまりそう思わない（1） 全くそう思わない（1）  
その他 learning a local dialect isn't the most important thing when assisting those In dire need.  
Rendering medical aid, clothing them, feeding them, and housing them is.  
(方言を学ぶことは医療援助、衣料、食糧、住居を早急に必要としている人々への援助に際して最も重要なことではない。)

### 6.3 岩手沿岸部支援 福祉従事者インタビュー

今村かほる

岩手沿岸部で、福祉従事者として活動しておられる男性に、震災以降の活動について、インタビューを実施した。以下、その聞き書きをまとめる。

話者：岩手県沿岸部で活動する精神保健福祉士（30代・男性）

Q. 東日本大震災以前に被災地での活動の経験は？

A：ない。

Q. 震災の前後は、どこで仕事をしていたか？

A：ちょうど患者さんと外出していて、その後、ちょうど病院に戻ってきたところだった。

Q. 普段のお仕事は？

A：外来、入院、訪問、結構いろいろやっている。

Q. 災害時の主な仕事は？

A：相談業務もした。なかなか精神保健福祉士という職種が震災直後にできることは限られている。被災者はすごく喪失の経験をされているわけですよ。

例えば、お母さんとふたり暮らしをしていて、家に津波が来て、お母さんを助けようと思って上に持ち上げた。ただ、自分が水に埋まってしまったから、だから、最後、母ちゃんを離してしまったという話をする人に対して、何も言えない。直後は何もできない。震災直後は、例えば、ほかの専門職、看護とかそういった専門職は、おむつ替えなり、患者さんに食事を食べさせたりとか、そういうスキルがある。ただ、精神保健福祉士というのはそういったスキルがない。そのため、精神保健福祉士として震災後にできたことというのはすごく少ないと思う。

そのかわりといっってはなんだがけれども、当時は食べるものがなかったから、入院患者さんにご飯を食べさせないといけない。食べさせないと、今度、褥瘡とかが悪くなるので、まず食事だけは確保しないといけないということで、例えば、被災していないスーパーで食べ物を分けてもらうようお願いしたりとか、そういった仕事が多かった。

Q. 精神保健福祉士の方がお話を聞くというのは、傾聴とは根本的に違うのか？

A：傾聴はもちろんベースにあるものだと思うが、傾聴だけで終わっては、変な話、何もならない、その当時は。例えば、その人が行くところがなくて、食べ物もなくて、親を亡くしていて、その人の話を聞いてあげるだけで、聞いてあげることにはできる。ただ、その先の手だては何も示してやれない。よくて避難所の場所を教えてあげるとか、その人のためになる手だてがない。そのため、傾聴はもちろんベースだけれども、それだけではすごく力不足を感じる。

Q. 岩手沿岸部の被災地のコミュニケーションの特徴については？

A：コミュニケーションというか、震災後感じたことといえば、いろんな地域、日本全国いろいろなところから支援に入った。例えば、こころのケアチームだったり、そういった支援がたくさん入った。それ自体はすごく感謝している。すごく温かかった。

ただ、日本各地から来たこころのケアチームは、言葉も違う。その方がいきなり避難所に行って、「何か困ってることないですか」という話をしたところで、初めて会って、しかも言葉も違って、どこから来たかわからない人に、自分の悩みを言うことはなかなかない。そのため、確かに入ったことは重要だけれど、地元の医療機関とか、そういった専門職と連携しながら活動することは大事なのかなと思った。

Q. 連携というのは、具体的にどんなことか？

A：例えば、小さいことからだと思う。当時でいえば、避難所を訪問することにしても、外部からの人たちだけで訪問するのではなくて、地元の医療機関も一緒に訪問するであったりとか、そういった小さなことからでいいと思う。それだけで相手を感じる印象だったりとか、話しやすさというのは多分、変わってくる。

Q. 仕事をしている中で、お年寄りの言葉、話し方はよくわからないとか、迷うことは？

A：自分はないが、周りでは、例えば、看護の職員さんとかが震災の関係などで来たりすると、たまにわからないことはあるみたいだ。そんなに多くはないと思う。

自分も一緒にそこに入って、お話とお話を仲介するとか、そのくらいはする。

正直、一緒に訪問することは、そんなに多くはなかった。なぜかというと、いろいろな地域の人が入って、それ自体はありがたいが、それがすごく多くて、行政のほうでもそれを収集しきれなかった。どこの地域の人がいつからいつまで入る、しかも、どこの地域を訪問するというのを行政のほうで把握しきれてなかったので、うまく回らなかったという印象がある。

Q. 災害時の精神面のケアの難しさは？

A：もともと精神科というのはすごく敷居が高い。こころのケアチームが避難所に行って、「こころのケアチーム」と書いた腕章をしているので、その人と話をすると、自分は例えば精神的に病んでいるんじゃないかと思われるんじゃないかとか、そういう心配もある。避難所だと100人規模の集団生活である。その中で、自分は頭がおかしいと思われるんじゃないかという心配をされていることがあったので、確かに、(全国の支援は)機能したというか、助かった面もすごく多いけれども、うまく活用しきれなかった部分もあるかなと思う。

Q. こころのケアチームの人たちが、言葉が通じなかったことは？

A：あまりない。自分の活動している地域は、そんなに言葉がわからない地域ではないので、こころのケアチーム側がわからなかったことはあまりないと思う。

逆に、相談する側が、関西弁を使うような外から来た人には、なかなかお話しできないなという人は中にはいる。うまく言えないですけど、会話のリズムであったりとか、間であったりとか、若干ニュアンス的に違ったりする。できれば近いほうが相談しやすいというのはあったと思う。

ただ、大半はそうだと思うけれど、中には、地元の人には相談しづらいとか、そんなに大きな街ではないので、ばれたくないから、「できれば遠い人がいいわ」という人も中にはいた。ケース・バイ・ケースで。

Q. その土地の方言を理解できるということは有益だと思うか？

A：そうだと思う。精神保健福祉士のような仕事だと、お年寄りの方とかと話すときに、こっちが標準語とかで話すよりも、同じような言葉を使ったほうが、関係がちょっと近くなるというか、そういう場面が少なからずあるので、それも有益だと思う。

例えば、相談支援する一つのスキルとして、相手が使った言葉をそのままこっちが使ったりとか、相手がしゃべったことをこっちが同じように返したりとかということをする場合がある。そのときも、「しんどいんだよね」という話をしたら、「ああ、しんどいんだね」と返したほうがうまく面接も進みやすい。

Q. 日常的な仕事で、方言を使う相手には方言を使うと面接が進みやすい？

A：スムーズに進めやすい。円滑に進めやすい。

今までそこについて、ほかの専門職と話をしたことはないのですが、そこは何とも言えないけれども、自分に関して言えば、人によって話し方をすごく変える。人を見る。常に方言だけでしゃべるばかりでもないですし、相手との距離を近づけるために、あえてタメ口でお話しすることもあれば、もちろん敬語でお話しすることも、方言で話すこともあれば、標準語で話すこともあれば、相手によって私は意図があって変える。

## 6.4 心のケアチーム ソーシャルワーカー

### 活動報告聞き書きとインタビュー

今村かほる

宮城県塩釜市・多賀城市で支援活動をした社会福祉士の方の活動報告を聞き、それに対して質問を行った。以下、その聞き書きを示す。

話し手：社会福祉士・30代（男性）

この震災支援は、2011年5月に職場に要請があつて参加した。宮城県塩釜市・多賀城市で行っている。支援は宮城民医連や病院、塩釜保健所や多賀城市役所、東北大学の精神科などと連絡をとって行った。

震災の支援の中心となった多賀城市は塩釜港の近くにあり、また、仙台市からも近い場所にあり、人口は約6万1,000人。震災では地元住民によれば、津波により建物の1階部分が浸水したということだった。そのため、住民は避難所生活をする事になり、総合体育館と文化センターに集まっていた。

避難所は段ボールで仕切られているものの、隣との仕切りが低いためプライバシーがなく、特に女性の着替えなどが大変なようでした。そのほかの特徴としては、被災した家の片づけや受診などで不在の方が多い一方で、歌手による歌謡ショーなどのイベントも開催されていた。

避難所での支援は、多賀城市の保健師の依頼を受けて、病院のこころのケアチームとして行った。佐賀県や岡山県の保健師中心の支援チームとともにいった。

具体的な支援としては、相談カードに記入した対象者やスタッフ側が挙げた対象者のお話を聞かせていただいて、必要があればこころのケアチーム単独で面談しました。

「こころのケアチーム」とは、近田氏によれば、

1. 震災によって障害された既存の医療システムの機能を支援すること。
2. 震災のストレスによって、新たに生じた精神的問題を抱える一般住民について対応すること。
3. 地域の医療従事者、被災者のケアを行っている職員のケアを行うチームである。

実際にこころのケアチームで面談した方の事例を挙げる。

Aさんは40代のフィリピン人女性で、適応障害の疑いがある方です。夫と娘2人の4人暮らしです。経済基盤は夫の収入です。持ち家ですが、震災で1階部分が浸水し、修繕が必要な状態です。震災時、Aさんは津波を見て、気分の落ち込みや恐怖心、動悸が出ます。その後、夫ががんで他界します。Aさんは日本語での会話が可能ですが、書類関係の解説が苦手です。夫がすべて担当してきたため、Aさんは葬儀や遺族年金の申請、震災関係の手続きなどで書類の文章が理解できず困っていました。Aさんは、震災と夫の他界で今後の生活不安が増大し、娘さんにも影響しました。そこで、書類関係だけでなく、こころのケアも必要とスタッフが判断し、お姉さんの夫をキーパーソンとして、保健師や震災支援チームが参入しました。手続き関係の側面支援と抗不安薬の処方、生活保護の申請に向けた相談、本人の話を聞くという心のケアを実施しました。

事例のAさんだけでなく、避難所にいる被災者は、津波の恐怖や避難所生活での疲労、住居や職を失い、今後の生活設計ができないことによる不安を語っていました。生活基盤を取り戻すための継続的な支援が必要だと感じました。

避難所以外でも活動しました。塩釜市内や多賀城市内、仙台市若林区荒浜を視察しました。特に、荒浜は鉄筋コンクリートの建物、新築と思われる家屋を一部残しただけで更地の状態でした。更地の中にもガレキが多数埋まっており、すぐに復興を望めるような印象は受けませんでした。最終日は「移動なんでも相談会」に参加しました。炊き出しやバザー、弁護士、医師、看護師などによる相談が行われました。

支援全体を通して感じたことは、1つ目は、こころのケアチームを必要時利用していただけるように周知することの必要性です。避難所では、対象者が支援を断る場合があり、支援の時期を待つことも必要だ

と感じたからです。また、対象に挙がっていないケースでも、こころのケアチームが活動していれば利用しやすいと感じたからです。さらに、坂総合病院のスタッフでも、実際にこころのケアチームがどんな活動を行っているのか把握できない場合があります。

2つ目は、被災者が生活基盤を取り戻すための継続的な支援の必要性です。被災者の生活上の問題は、仮設住宅への入居、再就職活動、震災関係の手続き、今後の生活不安など、今すぐ解決可能な問題ばかりではないからです。被災者の中でも、特に外国人、障害者などは手厚いサポートが必要だと感じました。

3つ目は、被災地の被害の度合いや支援の長期化などによって、支援者のメンタルヘルスを保つことも課題だと感じました。被災地のスタッフが休日返上で業務を行っていたからです。また、被災地に赴くスタッフに対しても支援が必要だと思いました。

Q. こころのケアチームは、いろいろなところから参加して形成されていたと思うけれども、そこで延べ何名ぐらいの方が何カ月ぐらいにわたって、どういった活動をしたか？

A : こころのケアチームは、全日本民主医療機関連合会（民医連）のスタッフが行っている。東北大学のほうも行っているということは聞いている。多賀城市は特に脆弱な保健体制ということで、保健師が少なく、保健精神医療のところが少ない地域になっている。手薄だった多賀城市に支援に入ることになった。多賀城市は、私が知る範囲では、民医連の組織が主にこころのケアチームとして入っていて、そのほか、保健師中心のチームは他県から来ていた。医師も他県から来ていた。

期間は、自分は3日間だった。その後のソーシャルワーカーが入っていった地域は、大体、1週間ぐらい。入った時期もそれぞれにばらばらで、ソーシャルワーカーが入っていなかった時期もある。作業療法士と事務と医師、看護師の4人でいった時期もあれば、ソーシャルワーカーと看護師と医師で行った場合もあって、さまざまある。ただ、基本的に、大体1週間を目安に組まれて行っている。

今年に入ってからボランティアという形で行っている。宮城県多賀城市、岩手県陸前高田市にもボランティアという形で行っている。全体の組織、全日本民医連の支援をやめるといったのが昨年10月だが、その10月という期限の後にも自主的にそういう活動を行っている。今まで築き上げてきた信頼関係というのがあって、医師、看護師、ソーシャルワーカーなどと交流している。今年に入ってから専門的な支援というのはやられていないですが、ボランティアを通して職員同士の交流、近況報告、情報交換などがある。

Q. 被災地に入ったときに、どんな気持ちだったか。

A : (支援したいという) 気持ちは多分一緒じゃないかなと思う。自分も機会があれば行きたいと思っていた。しかし、一人でいくと、本当にただ単に邪魔になるだけというのがある。組織的にいくということが非常に大事だと思った。私の気持ちは、病院のほうからは、要請は来ているものの、職場内では議論がありました。すごく行きたい、目的もわからないけど、とにかく行きたいという人がいたり、あるいは逆に、すごく慎重になって、何のために行くのだと、何をしに行くのだという感じで、そういう議論があった中で行きました。そのため、私としては非常に複雑で、複雑というとおかしいですが、板挟みになるような感じで、でも、私は行きたいと思っていて、そういう機会に恵まれた。できることがあれば、組織的に邪魔にならないで支援できればと思っていた。

Q. 被災者の感情表出という点から見て何か思いついたことは？

A : 私たちの病院では、医師が青森県八戸市のほうにも震災の支援に行っている。その震災の支援に行ったときに、八戸は港が近いということもあって、避難所は罵声とか怒号が飛び交っていたそうだ。それは、震災が起きて間もなくに行った話だが、やはり沿岸部の方はすぐに感情を表現していくということが感覚としてある。でも、内陸、例えば、弘前など内陸に入ると、一旦、自分の中に感情を閉じ込めてしまうという傾向があるように感じた。

Q. 生活基盤を取り戻すための継続的な支援とは、自分自身で現地に行って支援を継続するか、ボランティアやほかの機関とも連携するのか？

A : 私個人としては、ボランティアで行く機会というのは、今年に入って誘いがあった。ただ、自分自身は業務上の関係で行けなかったが、職場で企画したものに関しては、行こうと考えている。ただ、むやみに向



こうに行ってもいけない。やはり向こうのほうでも、向こうのスタッフが動き始めている。

多賀城市も仮設住宅を訪問しているし、そういう支援というのは一旦終わっている。ほぼ終わっている感じ。ただ、向こうの方とお話しする機会があったけれども、訪問する人の人材不足ということで、まだ足りないというお話をされていた。足りないということが問題になってくれば、組織的にまた活動する機会がある可能性がある。そのときは私も業務の上で活動した経験を生かして参加できればと思っている。

ただ、いつ支援を引き上げるかは、一番難しいところだと思う。現地の方々の支援をいつまでも行っているのは、現地の方々自身が自分たちの保健とか医療、福祉をどうするかということを考えて動いていけなくなるので、やはりある程度の支援で手を差し伸べるような感じができたのではないと思う。あとは、やっていく中でまた困難が出てきたときに、いつでも行けるような準備をしておくということが大事なのではないかと思う。

Q. 被災者の方のお話を聞いていく中でコミュニケーションや方言について、何か問題は？

A: 私（が相談を受けたの）は、外国人の方が多かった。フィリピン人の女性の事例を挙げたが、外国人の方が多数避難所にいらして、果たしてこちらの話していることがどこまで理解できているのかということが疑問に感じた。

方言に関しては、私の行った3日間の中では目立った方言は聞かれなくて、私でも理解できる内容だった。話の疎通がとれないとか、言っている意味がわからないというのはなかったし、私がほかのスタッフ、被災地に赴いたスタッフに話を聞いても、真っ先に方言とかそういう話題が出るということは、私が聞いた範囲ではなかった。

## 6.5 被災地支援ボランティアアンケート

今村かほる

本調査は、東北大学・中西太郎氏と福島大学・半沢康氏を中心として、5 県の研究者で検討してまとめた、支援者自記式アンケートのフォーマットを骨子として、一部、青森県用に今村が手直ししてアンケートを行った。青森県在住の被災地支援ボランティア参加の学生を対象として、アンケート用紙を配布し、回収ボックスを設けて、提出してもらった。

その際、弘前大学ボランティアセンター、弘前学院大学社会福祉研究所のご助力を得て実施した。ここに記して、感謝申し上げます。以下、その調査結果をまとめる。

Q1. あなたの所属は？

学生 30 人・未記入 1 人

Q2. おおよその年齢は？

10 代 6 人 20 代 14 人

Q3. 現在通っている大学名・学部・学類・学科などは？

弘前大学 18 人（農生 1 人，教育 1 人，人文 9 人，理工 6 人，未記入，1 人）  
弘前学院大学 12 人（文学 9，社福 3 人）未記入 1 人]

Q.4 学年は？

1 年 9 人、2 年 11 人、3 人 4 人、4 年 5 人、未記入 2 人

Q4. 性別は？

男性 15 人 ・女性 12 人 未記入 4 人

Q5. 出身地（生まれてから高校卒業までの間にもっとも長く住んだところ）は？

青森県 16 人 津軽地方：弘前市 6 人、青森市 2 人、平川市 2 人、平内市 1 人、黒石市 1 人、  
板柳町 1 人、藤崎町 1 人  
南部地方：三沢市 1 人、六ヶ所村 1 人

秋田県 2 人（由利本荘市 1 人、大仙市 1 人）

岩手県 2 人（奥州市 2 人）

北海道 8 人（札幌市 3 人、紋別郡興部町 1 人、函館市 1 人、千歳市 1 人、江別市 1 人）

神奈川県 1 人（横浜市 1 人）

静岡県 1 人（伊豆市 1 人）

未記入 1 人

Q.6 支援の際の活動は？（複数回答）

子どもの学習支援 14 人 方言調査 14 人 子どもの遊び支援 12 人 傾聴支援 3 人  
イベント・レクリエーション企画 3 人 買い物支援 2 人 調理支援 2 人  
コミュニティづくり 2 人 健康づくり 1 人

Q.7 支援活動中に、被災・避難された方と会話をする機会は？

あった 29 人 なかった 2 人

Q.8 会話を交わしたのはどこの方だったか。(複数回答可)

青森県：八戸市 3 人 三沢市 3 人 おいらせ町 2 人 六ヶ所村 2 人  
岩手県：野田村 18 人 久慈市 1 人 宮古市 3 人 陸前高田市 1 人  
宮城県：大船渡市 1 人 気仙沼市 1 人 南三陸町 1 人

Q.9 会話を交わしたのは何歳ぐらいの方か。(複数回答可)

高年層（おおよそ 60 歳代以上）26 人  
中年層（おおよそ 40～50 歳代）10 人  
若年層（おおよそ 20～30 歳代）4 人  
高校生 1 人  
中学生 2 人  
小学生 10 人  
小学生未満の子ども 7 人

Q.10 会話の中で、相手の方の方言が分からなくて困ったり、戸惑ったりしたことはあったか。

あった 9 人 なかった 22 人

Q.11 具体的に困ったことは？

- ・なんという言葉かは分からなかったがとても盛り上がっていて聞きとれなかった。
- ・東北なまりが強くて聞きとれなかった。
- ・言葉は覚えてないですが、震災当日のことや、避難所での生活のことや世間話をしているときでした。
- ・ボランティア参加者との会話で津軽出身の人は何を言っているかわからないときがありました。
- ・全体的に意味はわかるが、なんと言っているのか発音がちゃんと聞きとれなかった。
- ・具体的には覚えてないが、単語が分からなかったり話の流れ自体が分からなかった。
- ・会話の速度がかなりのもので、聞き取りづらい。
- ・具体的には覚えていないが、早口でその土地の住民同士の会話が聞き取れなかった。「お」と「こ」が聞きとれない。でも、やわらかい話し方だったと思う。
- ・早口になる部分や声のトーンによって分からない。半分ほど分からない。
- ・話している単語がわからなかった。

Q.12 相手の方の方言が分からなかった時、どのように対処したか。(複数回答可)

相手の方に聞き返した 2 人  
他の人に教えてもらった（通訳してもらった）2 人  
分からないまま会話を続けた 5 人  
会話を止めた 2 人  
その他 3 人

Q.13 被災地の方言の印象は、方言には目立った特徴があると感じるか

感じる 5 人  
感じない 17 人  
分からない 9 人

Q.14 方言以外の話し方全体について、自分の地元の人と被災地人の話し方で、違いを感じることは。

感じる 8 人  
感じない 17 人  
分からない 9 人

Q.15 方言は難しいことばだと思うか。

難しい 2人

難しくない 17人

どちらともいえない 12人

Q.16 被災地の方には、できるだけ共通語で話しかけてもらいたいかな。

共通語で話しかけてほしい 3人

方言で話しかけてほしい 6人

どちらでもよい 21人

Q.17 東日本大震災の被災地へ支援に来たボランティアや医療関係者等のために、被災地の方言を簡単に説明したパンフレットが作られている。被災地の支援活動を行う上で、こうしたパンフレットは必要なものだと思うか。

必要だ 27人

必要ではない 0人

どちらともいえない 4人

Q.18 自分自身の支援活動にとっては、方言のパンフレットは必要だったか。

必要だった 9人

必要ではなかった 16人

どちらともいえない 6人

Q.19 これからも東日本大震災で被災された方々の支援活動を続けていく予定か。

続ける予定だ 23人 続ける予定はない 0人 分からない 8人

↓

今後支援活動を続けるにあたって、ある程度は被災地域の方言を学んだほうがよいと思うか。

学んだほうがよい 13人

学ぶ必要はない 6人

分からない 4人

Q.20 あなたは方言が好きですか？

好き 19人

嫌い 0人

どちらともいえない 12人

Q. 21 津波被害や原発避難のために地域コミュニティが消滅し、その地域の方言も同時に消えてしまうのではないかという懸念があります。こうした被災地の方言を保護し、継承していくべきだという意見をどう思いますか？

保護、継承すべきだ 24人

保護、継承する必要はない 1人

どちらともいえない 6人

<支援ボランティアの感想> (自由記述)

- ・岩手県出身なので方言に関する違和感は感じなかった。岩手よりも青森の方が方言に特徴があると思う。
- ・同じボランティアでの青森県の方の方言の方が分かりませんでした。
- ・方言が通じないというのは、大きな問題だと思いますが、一人一人が相手に耳を傾ける姿勢を崩さ

ないことが大事だと思います。

- ・私の地元の北海道は、青森（津軽）ほど方言やなまりがきつくないように思います。なので方言を話す人々にとって、標準語を話すことは難しいのかどうなのかよくわかりません…。他地域の方言はあまり学んだことがありませんが、被災地の人のお話をよりリアルに聞くためにも、方言で喋ってもらえるほうが良いのかな、と思います。
- ・青森県に比べるとあまり方言は気にならなかった。もしかしたら気を使って共通語を使っているのかもしれない。
- ・津軽と南部なのに分からないものだな～と思いました。それと同時に、その違いに興味をわいたというか、関心をもちました。
- ・自分の出身が六ヶ所ということもあり、岩手や宮城の方々の声は、あまり方言があると感じなかったです。逆にきれいだなと感じました。
- ・ボランティアセンターにいる地元の職員と軽く話していた時は、方言がありながらゆっくりとした会話をしたのだが、住民の方々と話している時は、主に気持ちの面、これからのこと、今までであったことなど自分のことについて話していたから分からないが、すごい早口で方言も入っていたと思う。
- ・南部弁に近い方言（というよりも南部弁だと認識すべきなのか？）だったため、全く違う、聞いたことのない言葉だ！とは感じなかった。津軽弁とちがいが、やわらかな言葉のひびき方だったと思う。その人の気持ちを言葉の中から感じられたと思った。
- ・他の地域の方言をききとることは難しいことだと思いました。

## まとめ

弘前市は、弘前大学と協力して、岩手県北部の野田村を支援先と決めて、支援活動を継続している。そのため、支援先として、野田村をあげる学生が多かった。その中で、弘前学院大学の社会福祉学部の学生は、野田村以外の岩手県の被災地や、宮城県にボランティアに赴き、地域の方々と接していることがわかった。

また、お話をしたのが、高齢者が多数であったため、東北方言の発音の特徴であるいわゆるズーズー弁（北東北はイに近いためジージー弁）の発音や、母音の開きが狭いなどの特徴から、「はっきり聞き取れない」という感想を持つ学生が多かった。一方で、そうした方言を難しいと感じているかという問いに対しては、難しいとは感じていないという回答が多く、全体の印象と、個別具体的な場面とでは、食い違いが見られる。

興味深いのは、相手の話していることがわからなかった時の対応である。その場合の対処法としては、相手の方に聞き返した 2 人、他の人に教えてもらった（通訳してもらった）2 人、分からないまま会話を続けた 5 人、会話を止めた 2 人、その他 3 人となっており、わからないことをわかるような努力をしたという回答より、そのままわからないままだったという回答の方が多くことである。これは、若者特有の「はにかんで聞けない」という状態なのか、「相手に悪いから聞けない」という状態なのか、原因を特定するのは難しいが、コミュニケーションの進め方において、問題が生じて、それを解決する方策を、若者が十分に持ち得ていないことは、地域社会の意思疎通において不安である。

支援者用の方言パンフレットのようなツールについては、必要だという回答が 27 名であるのに対し、自身の活動には必要だったかという問いには必要だった 9 人、必要ではなかった 16 人、どちらともいえない 6 人という回答で、「あった方がいいけれど、具体的に使用する場面が思い描けない」ということになるのではないだろうか。

この点で、本当に必要な支援ツールとはどのようなものなのか、検討と開発が必要であることが明らかである。我々、方言研究者が、研究成果の社会還元を真剣に考えるならば、こうした印象と現実とのギャップについて、きちんと精査していくことが必要である。そしてそれは、方言研究者だけで行うのではなく、他の分野と協力して構築すべきであろう。

## 7. 文化としての方言・絆としての方言

### 7.1 方言意識

### 7.2 方言の活用

## 7. 文化としての方言・絆としての方言

### 7.1 方言に関する意識調査

今村かほる

震災以来、多用されるようになった「絆」について、考えてみたい。

2011年9月に行われた日本ヘルスコミュニケーション学会（於：九州大学）において、NPO法人ヘルセイドの理事長：人見氏から、首都圏で暮らす主に福島を中心とした避難者の方々の支援活動において、被災者の方々から、「集まって語り合う場所」として提供するのにふさわしい名前を考えてもらったところ、「おごごカフェ」に決まったというお話をうかがった。「おごご」は福島方言で漬物を指す。つまり、余所行きのしゃれた名前ではなく、漬物を食べながら、近所の親しい人とそれまで日常的にしていたお茶飲みの会を、取り戻したいという願いがこもった名前である。また、10月に仙台で開催された「東日本大震災と方言」研究報告会（主催：東北大学方言研究センター）の場で、志津川出身の方が、『方言は被災者を救えるのか？』というテーマに惹かれて今日は参加した。『がんばれ』って言われると腹が立つ。こんなに頑張ってるのに、もうこれ以上がんばれない。どうがんばればいいんだって思う。けれど、『がんばっぺし』とか『負けねど』って言われると、んだな、って思える。」というお話をしてくださった。このふたつの経験が、深く心に焼き付いている。

これまでは、あまりにあたりまえ・日常的過ぎて気が付かなかったことだが、その日常が根底から揺り動かされて、方言が人と人のつながりひいては地域の共同体としてのつながりそのものを支えていることが明らかになった。

この調査は、東北大学・中西太郎氏と福島大学・半沢康氏を中心として、5県の研究者で検討してまとめた、調査項目を骨子として、一部、青森県用に今村が手直しして行った。以下、青森県の被災者と自治体関係者への意識調査結果をまとめ、考察を加える。

#### 1. 方言への愛着・評価 文化としての方言

質問：ご自分の子どもさんやお孫さんに、\*\*\*市・町・村の方言を受け継いでいってほしいと思いますか？

回答：文化として大事にしたい・してほしいとは思いますが、今はあまり話さないから、段々と無くなって行ってしまうだろう。（三沢・おいらせ・八戸）

孫に方言を話しても「何それ、何言ってるの？」と言われてしまい、通じない。（三沢・おいらせ・八戸）  
生まれ育ったところのことだから、「残シテイカナキャナイ」と思うし、都会の人にも方言を使ってアピールしている。（おいらせ・自治体関係者）

質問：この地域の伝統的なお祭りや芸能と比べて、方言を残していこうという考えや具体的な取り組みはありますか？

回答：考えたことがないし、取り組みも思い当たらない。（六ヶ所・三沢・八戸の自治体関係者）

方言を残そうとして、方言集を作っている職員がいたが、個人的な取り組みだった

（おいらせの自治体関係者）

都会の修学旅行生や宿泊学習生やその学校への案内状などを、南部弁で作成して送っている（おいらせの自治体関係者）

方言は、お祭りなどと違って、いつの時点の何を残していったらいいのかわからない（六ヶ所・三沢・八戸の自治体関係者）

## 2. 方言の問題・効用

質問：震災後、「がんばろう東北」のような声掛けがいろいろなところで見られたり、放送などでも流れました。

こうした声掛けは皆さんの力になりましたか？

回答：考えたことがない（三沢）

特に感じない（おいらせ）

ありがたい、力になった（八戸）

大事なことだ（六ヶ所）

他人事みたいに聞こえる（六ヶ所・おいらせ）

質問：「けっぱれ」（がんばれ）という津軽弁・南部弁による声掛けをどう思いますか？

回答：標準語で言うよりも、なんか温かみ・温度を感じる。（六ヶ所・八戸・おいらせ）

他人事でない感じがする（六ヶ所・八戸）

完全に津軽弁なので＜注：従来、南部弁でも用いられる＞、理解できない人もいるのではないか。（八戸・自治体関係者）

質問：「がんばってや東北」とか「ちばりよ一福島」など他地域の方言を使った声掛けについてはいかがですか？

（共通語で表現されたものにくらべてどうですか？）

回答：温かみを感じる（六ヶ所・おいらせ）

親しみを感じる（おいらせ・八戸）

応援してくれてるんだなという気持ちを感じる（おいらせ）

何か違和感がある（八戸）

これはこういう意味ですよと言ってくれたら、感謝の気持ちが出てくる（六ヶ所）

特に考えたことがない（三沢）

質問：普段の業務でお年寄りと話す際、方言を使いますか？（自治体職員への質問）

回答：街中ではあまり方言だけというお年寄りが少なくなっているのので、役所の窓口ではあまり、問題だとは思わない。（八戸・三沢・六ヶ所）

言われてみれば、外回りでちょっと周辺部に行けば、方言を普通に使っているし、相手も方言で話している。（三沢）

## 3. 方言は地域を越えられるのか？

東北方言は、標準語・共通語普及教育の中で、方言撲滅や訛音矯正の問題と常に共にあった。そのため、標準語や共通語を、「いいことば」と表現し、話者の多くは文化としての方言に価値や意味が見いだせないでいる。子や孫の世代には、残してほしいという気持ちもあるが、押しとどめようもないという無抵抗ともいえるような意識が見受けられる。

特に南部地域の話者は、同じ青森県であっても、「津軽の人の言うことは訛っていてわからないけれど、南部の方がわかりやすい（訛っていない・共通語に近い）」という意識を持っているようで、調査中にも3地点で耳にした。しかし、一方で自分の話す言葉は「南部弁だから恥ずかしい」とか、「いいことばしゃべれないよ」のように、普段のことばは方言を使っていることを自覚しているが、それはアクセントや「上げ下げ」という音調の問題としてとらえられている。

これまで方言は、ある限られた地域の人々の間において通用する、だからこそ共通語にはない、微妙な表現が可能で、心が通じ合うものだと考えられてきた。

しかし、震災後の方言による声かけは、共通語のもの以外に

A：他地域の支援者が被災地の方言を用いて応援する

B：他地域の支援者が自分の方言を用いて応援する



のような、これまでとは異なる用いられ方がされている。つまり、共通語の「がんばろう」では表現しきれない、

- A：あなたの地域のことば・方言であなただに少しでも寄り添って応援したい  
「けっばれ」「がんばっぺし」  
B：自分の心が表せることば・方言で応援したい  
「ちばりよー」「がんばらんね」

のような表現である。

このような方言による声掛け・「方言エール」「方言スローガン」に対して今回の調査では、上に述べたように、被災地域の方言を用いた声掛けも、支援者の自方言を用いた（つまりは被災者にとって他方言による）声掛けに対し、「何も感じない」というものや、却って共通語より温かみを感じるとか、共通語のように突き放した感じがしない分、応援してくれてるんだなという心のこもった感じや親しみを感じていおり、特に不快感や馬鹿にされたような印象は持っていない。

つまり、ネイティブでなくてもその土地の方言を使うことが、被災者に寄り添い、尊重することになったり、方言の持つ心や気持ちを表すという機能が、地域を越えて、他の方言の地域においても果たされるという、これまでとは異なる方言の働き・役割が確認される。

方言は地域の限定とこれまでの機能・役割を越えて、新たに、共通語では表しきれない「心を伝える言葉」としての働きを獲得しつつある。

一方で、インターネット上（Yahoo 知恵袋）では、こうした被災者の意識とは異なる動きもみられる。以下、引用する。

y a h o o 知恵袋  
福島、宮城の方言を教えてください。

再来週から、被災地に行って奉仕活動ボランティアをしようと思っています。  
挨拶など現地の人々が頻繁に使っている方言などがありましたら教えてください。  
あいさつなど簡単に使える方言がいいです。  
ホームページで探したのですが、情報量が多くてどの方言が現在使われているのか分かりづらかったので  
みなさんご協力よろしく願いいたします。

補足 確かによそ者が急に行き、方言使ったら気分悪いですよね。  
考えが疎かでした。  
外人の方も一緒に参加されるボランティアなので、日本語が話せても方言が使われると分からないと思い質問させて頂きました。使うというよりは知っておくという姿勢で覚えていこうと思います。  
なので、他にも知っておくと聞き取る時に便利だよという範囲で、教えて頂ければ幸いです。

質問日時：2011/7/3 02:43:08. 解決日時：2011/7/17 11:54:52. 回答数：10.

ベストアンサーに選ばれた回答

無理して使われるよりは自分の言葉での方がいいと思います。  
挨拶に使う方言って夕方の『おぼんです』くらい。今言う人も少ないと思います。『がんばっぺ』『がんばんべ』の方言  
くらい地元の方に言ってもいいかな？  
方言は地元の方と親しく話せるようになったら聞いた方言を使ってみるとかがいいと

ベストアンサー以外の回答

- ① わか方言は往々にして小馬鹿にしているように聞こえるので…止めた方が良くと思いますよ。  
ここでいろいろ方言を文字で学習しても、イントネーションは分からないですよね？なので無理だし、逆に気分を悪く

すると思います。

よそから来られる方はいつも使われる言葉、もしくは標準語で大丈夫です。お年寄りには東北訛りがどうしても出るでしょうが、東北人だって気を付けたら普通に近い言葉で話す事は出来るのです。親しくなってから、方言を真似するのは良いかと思いますが…。

- ② あなたの考えてる事はわかりますが、やめておいたほうが良いと思います。

方言と言っても、その土地のいろんな地区で言葉が異なったり、イントネーションが違います。あいさつ程度と言っても、地元の人が自然と使う言葉と真似して使う言葉には違いが出てきて誤解が生じたり、不快な感じにとられかねませんよ。

あなたと (ママ) 言葉で普通に話すのが一番だと思います。

- ③ やめたほうがいいよ。

よそから来た人がいきなり慣れない方言なんか使ったらその土地の人をバカにしてるみたいだから。

そういうこともわからない人がボランティアなんかやめなよ。

いろいろ失礼なことしそうだから。

補足

> 外人の方も一緒に参加されるボランティアなので、日本語が話せても方言を使われると分からないと思い

あなたってどこまでも失礼な人だね。

福島、宮城の人は標準語がまったくできないと思ってるの？

そりゃなまりはあるだろうし、アクセントも違うかもしれないけど、相手が東北の人でなければ、極力東北弁を使わず話そうとするものですよ。ましてや相手が外人ならなおさらです。

あなたは「東北人は無神経だから相手が外人でもかまわず東北弁でしゃべりまくるだろう」くらいに思ってる印象を受けます。無意識のうちに東北人を見下してるんです。

とても失礼です。

あなたみたいな人は行かないでほしいです。

きっと、被災者の神経を逆なですることばかりして、ボランティアのイメージを悪くして帰ってくる気がします。

- ④ よそ者がにわか方言を使うと地元民の神経を逆なでします。

やめましょう。

[http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question\\_detail/q1365764873](http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1365764873)

2012.10.30 最終閲覧

これがどのような属性を代表する意見なのか、識別は難しいが、少なくとも被災地の高齢者や、自治体関係者とは異なる意見である。

## 7.2 方言の活用 ー調査・研究の中で考えることー

今村かほる

これまで、被災地で調査をすること自体について、方言研究者の中でも意見や議論があった。我々にとって「話者」の方々は、被災者であり、お辛い状況であることは間違いない。そのことに鑑み、方言調査を自粛すべきというような考え、逆に思いっきり話していただくための支援の一つとして調査は行うべきという考えや、これから起こることが予想されている災害への準備のために、今、調査は実施すべきという考え方などである。事実、今村自身も、その点については常に、悩みながら調査・研究を行ってきた。

その上で、本研究において、地域の文化としての方言の保存・継承という研究の柱のほかに、今現在、用いられている方言の活用という側面に注目したいと考えた。

本研究の調査を準備している際、話者の紹介やインタビューの依頼をしたある自治体関係者から、「この調査を引き受けるとどんな得というかメリットがありますか？それがはっきりわからなければ、はっきり言ってこの調査は引き受けたくない」という厳しいお返事をいただいた。ただでさえ人手が足りない、仕事が山積みの被災地という特別な状況で調査することの意味を、改めて問う必要があるだろう。つまり、調査のための調査ではない調査が必要なのである。

方言研究の研究成果を、直接、活かすことが望まれている分野として、医療・看護・福祉の現場における方言問題がある。地域社会の医療や福祉の現場で、方言が一定の役割を果たしていることは、日本各地で医療関係語の方言集が編まれていることから明らかである。しかし、今村や岩城らの研究グループが明らかにしてきたように、現実には、ノンネイティブの医療・福祉従事者が患者・施設利用者の話す方言が理解できないために、患者や施設利用者の訴えを理解できず、事実そのものを取り違えたり、意思疎通やコミュニケーションが円滑に進まない事例がある。

また、日高(2007)、今村(2008)、岩城(2008)、岩城・今村(2008)、今村(2012)などの指摘のように、ネイティブの医療・福祉従事者であったとしても、世代差や地域差が原因と考えられる問題が存在する。さらに、ある地域方言の問題が、一地方内の問題にとどまらず、地域を越えた問題となることもあることも既に明らかになっている。その一例として、外国人看護師・介護士の就労時の方言理解の問題などは、既に有名である。当該地域にも、インドネシアの介護福祉士たちが働いている。

さらに、東日本大震災においては、地域の医療者や福祉従事者そのものが被災者となってしまうたり、地震や津波、またそれに伴う停電や物資・エネルギーの不足により、病院機能が失われた地域が広範囲にわたったことが、報道等で明らかになっている。日本医師会や日本看護協会をはじめ、関係各団体がD-MATやJ-MATとして被災地に入ったほか、自治体職員も被災地支援に臨んでいる。

いっぺんに他地域出身者を抱えることとなった被災地では、支援者が地域の方言が理解できないという事態が起こった。しかも、それは、ある限定的な所だけに止まらなかった。

前述の日本ヘルスコミュニケーション学会の懇親会の際に、ある医師から、岩手県に支援に入ろうと思ったが、岩手の方言がわからないと、来てもらっても通訳を付けなければならなくなるので、支援を断りたいという対応がなされたとお聞きした。(ただし、岩手県の災害対策本部に確認したところ、こうした事実は確認・承知されていないという)

これまで、今村は、本事業も共同して行っている東北の方言研究者：竹田晃子(岩手県担当)・武田拓(宮城県担当)・半沢康(福島県担当)の協力を得て、2011年7月から「被災地医療関係方言集」(青森県津軽方言・岩手県盛岡方言・宮城県仙台市方言・福島県福島市方言)を作成し、9月に日本ヘルスコミュニケーション学会で医療関係者を中心に配布した。2012年3月にはそれを改定し、「方言身体語彙図」と「医療関係方言語彙」を作成・配布した。

そのため、今回の調査では、そうした研究成果を基に、4地点で調査を行い、地域に還元できる方言ツール

の研究と開発を行った。次から、避難所などでポスターのように一枚で張り出す方言身体語彙図4枚(六ヶ所・三沢・おいらせ・八戸)を掲げる。これは、被災地に配布して準備するだけでなく、今回のように津波や地震で失われても、将来的には、災害派遣に応じる医師や看護師・薬剤師・事務員の方々や、災害ボランティアのみなさんが、被災地に入る前にプリントアウト(将来的にはダウンロード)して、さまざまな大きさに被災地に持参することができるようにすることを目指している。

実際、今回の自治体職員へのインタビューによれば、災害時、当該自治体では、避難所の設置や情報収集などで手いっぱい、とてもここまで準備できないし、津波災害などでは、事前に準備していても流失してしまう危険があるという回答を得ている。また、宮城県登米市で災害ボランティアの活動をしている方から、被災地の方言を学ぶための教材などはないのか、なければ作れないのかというおたずねをいただいた。さらには、医療関係者からもタブレット型のパソコンなどで持って行けると便利であるという要望がある。

さらに、今村(2012)で報告したように、災害派遣として、日本各地から被災地に入った自治体の応援職員が活動する中で、その地域の地名がわからないし、方言も聞き取れないから、罹災証明書の発行に難儀したとか、震災ボランティアの方からラジオで天気予報を聞いても、地名や地域区分の仕方がわからないので、自分のいる地域の天気予報かどうかともわからないという状態であるという情報を得た。こうした支援者に有益で、必要としている情報を備えた支援ツールの開発が、日本全国で必要なのである。

これとは異なる問題だが、六ヶ所村には原燃施設が複数存在し、三沢市には米軍基地がある。今回の調査でも、震災時やその後の津波の避難などの連絡が、停電という事態の中で円滑に行われるためには、問題があったことがわかった。「やさしい日本語」を含め、難しい課題だが、世代・地域差だけでなく、言語や国による違いをも見越した地域社会の意思伝達のための工夫が必要とされている。

#### <参考文献>

今村かほる(2009)「方言がわかりません」『看護学雑誌』医学書院

(2008)~(2010)「医療と方言」(1)~(7)『Ortho Community』No. 29~35 メディカルレビュー

(2010)「医療・福祉と方言 ―津軽の社会問題として―」『地域学』第8巻

(2012)「東日本大震災と方言」『地域学』10巻

岩城裕之・今村かほる(2008)「看護と方言 今、なぜ方言なのか」『ナース・トゥデイ』10月号日本看護協会出版会

岩城裕之・今村かほる・工藤千賀子(2012)『医療・看護・福祉と方言』科学研究費補助金成果報告書

岩城裕之(2008)「富山県における体調を表す語彙の地域性」― 『第87回 日本方言研究会発表原稿集』

日高貢一郎(2007)「福祉社会と方言」『シリーズ方言学3 方言の機能』岩波書店







おいらせ方言 身体語彙図





## あとがき

南部方言は、その内部地域差が、つまびらかにされていない方言である。今回の調査では、そうした基本的事項を調査記録して、比較することは叶わなかった。今後の研究の進展が待たれる。

また、方言を活用し、地域の人々の生活を安全で安心なものにするための方言支援ツールの開発は、まだ緒についていた段階である。おいらせ町で行われているような、方言を資源として位置づけ、地元のPRの材料として使うような方言活用も、方言は直すべきものであるという偏った位置づけとは異なるものとして、興味深い。

本研究をなすにあたって、多くの方々にお世話になりました。六ヶ所村・三沢市・おいらせ町・八戸市の話者のみなさま、自治体職員のみなさま、自衛隊第九師団の方々、支援者の皆様には、多くのことを学ばせていただきました。また、鈴木仁也氏（文化庁）・小林隆氏（東北大学）・大野眞男氏（岩手大学）・半沢康氏（福島大学）・杉本妙子氏（茨城大学）をはじめとする東北・関東の方言研究者のみなさんには、貴重な助言やご助力を数々、いただきました。心から感謝申し上げます。

なお、自然談話と場面別談話の採録や意識調査の調査項目は、東北大学および半沢康氏を中心とする、5 県共同の調査票を使用しました。文字化に際しても、東北大学からマニュアルの提供を受けました。合わせて感謝申し上げます。

最後に、被災地のみなさんを、学生という立場から、自分にできること（学問）をとおして助けたいという、ひたむきな志から、熱心にこの研究に取り組んでくれた本学の学生諸君、卒業生の菊池祥光・種市洋平両君にも心から感謝する。

今村かほる

文化庁委託事業

東日本大震災において危機的な状況が危惧される方言の  
実態に関する調査研究事業（青森県）報告書

平成 25（2013）年 2 月 15 日 印刷  
2 月 20 日 発行

編集・発行：弘前学院大学 文学部 今村かほる

〒036-8577 弘前市稔町 13-1 弘前学院大学 TEL 0172-34-5211（代）